

屋上防水システム

リベットルーフ®



建築文化を守る…

 **アーキヤマデ**

屋上防水システム
リベットルーフ
カタログ 2024
2024年6月改訂

多様なニーズに応える

リベットルーフ 防水システム

「リベットルーフ」は、塩ビ樹脂を主原料として特殊配合を施すことで、温度変化や紫外線などによる物性の変化が少なく、耐久性に優れた防水シートです。さまざまな屋上の形状や下地種類に対応したシステムを用意し、多様な防水ニーズにお応えします。



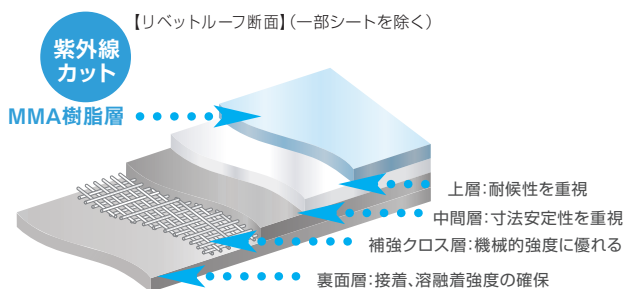
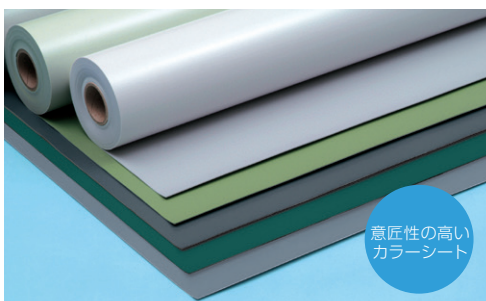
施工事例：ラーバン港南台

高品質
ルーフィング

「リベットルーフ」は耐久性・耐候性に優れた高品質防水シート

「リベットルーフ」は1枚のシートが多層構造となっています。それぞれの層が役目を担い、一体となって高品質な防水シートを形成しています。

■ハイブリッド防水シート



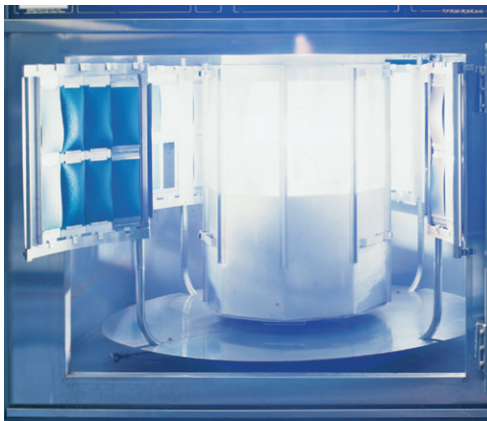
■高い水密性



「リベットルーフ」相互の接合部を熱風や溶着剤で溶融着して一体化させるため、抜群の接合強度を発揮。接合幅や溶融着の手法にも配慮し、高い水密性を確保します。



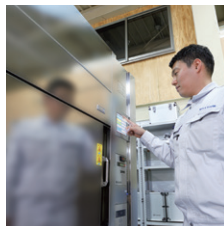
■各種試験で実証された高い品質



人工促進暴露試験
(サンシャインカーボンアークランプ)



促進耐候性試験
(キセノンアークランプ)



超促進耐候性試験
(メタルハライドランプ)

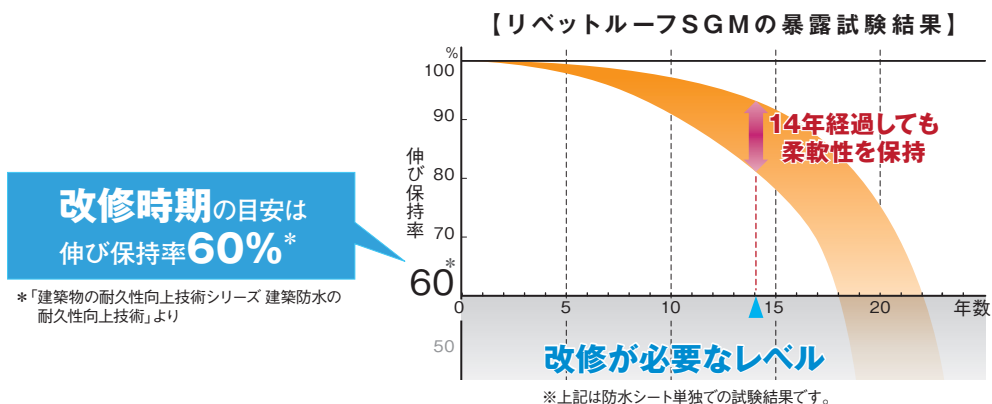


屋外暴露試験

屋上からのサンプリング、人工光源を用いた促進暴露試験、屋外暴露試験など、さまざまな耐候性についての試験を実施し、品質を検証しています。

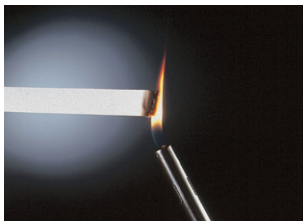
■各種暴露評価を行い、耐久性に優れた製品設計

実暴露試験を行い、新品と14年経過したリベットルーフを比較したのが下のグラフです。多少の劣化はあるものの、防水機能に必要な柔軟性を保持しています。また、防水シート自体が耐候性に優れるため、定期的にトップコートを塗り替える必要がありません。

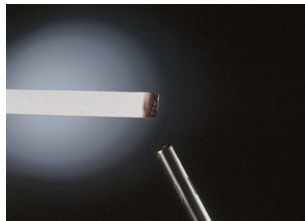


■延焼しにくい素材

「リベットルーフ」は自己消火性を持ち、近隣からの「飛び火」などに対し、延焼しにくい材料です。



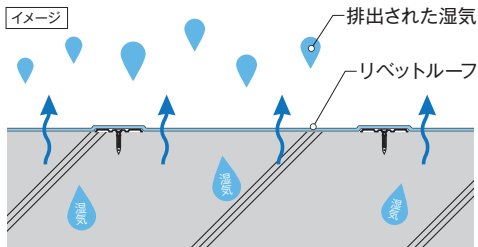
バーナーの火を近づけると着火するが…



火を止めると消火

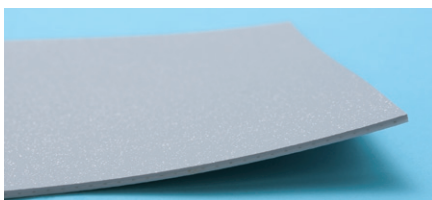
■透湿性に優れた素材

リベットルーフには透湿性があり、下地面に含まれた湿気は時間経過とともに外気へと放出されていきます。



■均一な仕上がり

品質管理された工場において製造されているため、物性・寸法が一律で、均一な厚みを持つ防水層が確保できます。



■50年以上の施工実績で、「鳥害」被害報告はゼロ

50年以上の施工実績において、カラスなどに防水層が突かれ、穴が空けられたり、引き裂かれたりした被害報告はありません。



改修前



改修後6年経過

高反射 防水シート

太陽光を効率よく反射する「リベットルーフCOOL」

「リベットルーフCOOL」は、太陽光を効率よく反射し、シート面の温度上昇を抑制する効果のある防水シートです。シート自体の温度上昇を抑制し、夏季における室内への熱流入を抑制。空調負荷の軽減効果が得られます。

■赤外線を効率よく反射する

熱作用の高い赤外線領域の波長を効率良く反射します。日射反射率70%(*1)は、一般の建築仕上げ材料(*2)に比べ高い値を保持しています。

*1

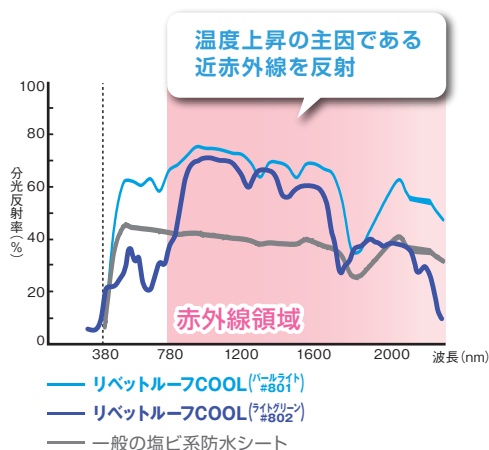
	パールライト#801	ライトグリーン#802
近赤外線領域	71.4%	60.0%
全波長領域	64.4%	41.2%

数値は検証時の測定値です。

*2 コンクリートの反射率は、約10~40%(建築設計資料集成より)

70%
以上

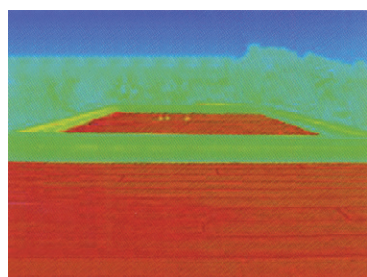
■【分光反射率】大阪市立工学研究所にて測定



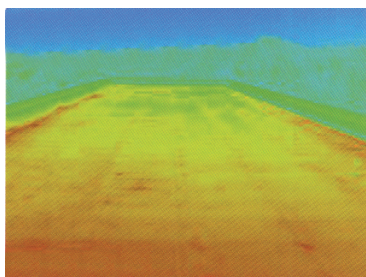
■表面温度を下げ、熱流入を抑制

未改修棟(露出アスファルト防水)の表面温度が約57~62℃を示しているのに対し(左下写真)、リベットルーフCOOLの表面温度は約46~52℃を示し(右下写真)、約10℃の温度差があります。

■兵庫県神戸市の学校屋上にてサーモグラフィで撮影



未改修

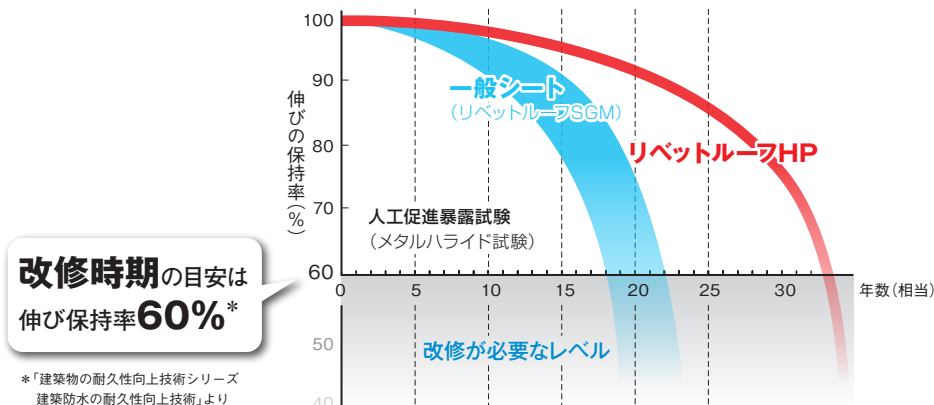


リベットルーフCOOLで改修

高耐久 防水シート

長寿命シート「リベットルーフHP」

「リベットルーフHP」は、長寿命を目的に特殊配合で製造された高耐久グレードの防水シートです。紫外線や熱による物性の変化が少なく、変退色もわずかという特長があります。人工促進暴露試験において30年相当経過しても伸び保持率が60%を上回っており、防水機能を十分保持していると評価しています。



※上記は防水シート単独での試験結果です。

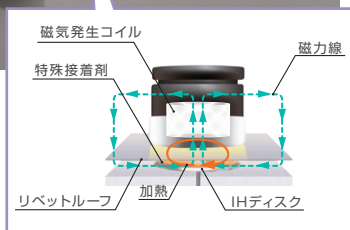
アンカー 固定工法

誘導加熱装置を用いて専用ディスクでシートを固定

リベットルーフは、専用金具で下地と部分的に留め付けるアンカー固定工法が多く採用されています。



IHによる
加熱固定



工期短縮と施工品質向上

誘導加熱装置「IHジョイント」を用いて、あらかじめ下地へ固定したIHディスクにリベットルーフを接合する工法です。施工上の重要な部分を機械化し、安定した施工品質を提供しています。

アンカー固定工法のメリット

- ① 防水層に穴を空けない
- ② 下地を選ばない
- ③ 工期の短縮化
- ④ 施工品質の均一化

接着工法

接着剤を用いて、下地に対して全面的にシートを接着

長年蓄積された知見に裏打ちされた、全面的に下地に固定する伝統的な工法です。



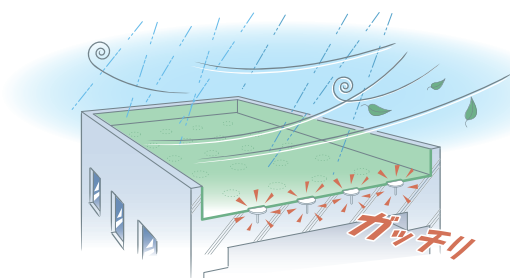
高い固定力。多様な仕様も用意

下地に対してリベットルーフを全面的に接着するため、しっかりとした固定力で、風荷重への配慮が必要な場所に適した工法です。断熱材を用いた仕様など幅広いラインナップを用意しています。

接着工法のメリット

- ① 下地に全面的に接着するため固定力が強い
- ② 伝統的な固定工法
- ③ 断熱材を用いた多様な仕様も用意

建築条件に応じた「耐風圧設計」をご用意



強風地域や高い建物などの防水施工では、固定ディスクや固定バーを増やすなど、建築条件に応じて安全性に配慮した「耐風圧設計」を行っています。風荷重への対応には接着工法も有効です。

※詳細はP73以降をご参照ください

[システム一覧表とシステム記号の解説]

リベトルーフ防水システムは用途や機能・下地・部位などの要求に対応すべく、様々なシステムを用意しています。




適応下地	工法	システム記号 (標準防水仕様)	機能	歩行仕様	断熱仕様	公共建築工事 標準仕様書 仕様 (改修を含む)	日本建築 学会 JASS 8 仕様	関連飛び火認定 (条件により下記飛び火認定 が必要な場合があります)	掲載 ページ	
RC	アンカー固定工法	MIH-SGM15NU		非歩行	外断熱	SI-M2	S-PMT	DR-1949(3)	P07 P08	
		MIH-SGM15S						DR-1819-1		
		MIH-SW15NU						DR-1949(3)		
		MIH-SW15S						DR-1819-1		
		MIH-COOL15NU	高反射					DR-1949(3)		
		MIH-COOL15S	高反射					DR-1819-1		
		MIH-HP15NU	高耐久					DR-1949(3)		
		MIH-HP20NU	高耐久					DR-1949(3)		
		MIH-HP15S	高耐久					DR-1819-1		
		MIH-HP20S	高耐久					DR-1819-1		
ALC	アンカー固定工法	MIH-SGM15/20		非歩行	非断熱	S-M2 ※2	S-PM	DR-1934(5)	P09 P10	
		MIH-SW15/20		歩行※1				DR-1934(5)		
		MIH-COOL15/20	高反射	コリドール 一般歩行 可能				DR-1934(5)		
		MIH-HP15/20	高耐久	DR-1934(5)						
RC・PC・PCa	アンカー固定工法	MIH-SGM20NUV		歩行	外断熱	SI-M2 相当	S-PMT 相当	DR-1968(2)	P11 P12	
		MIH-SGM20SV						DR-1964(2)		
		MIH-SW20NUV						DR-1968(2)		
		MIH-SW20SV						DR-1964(2)		
		MIH-COOL20NUV	高反射					コリドール 一般歩行 可能		DR-1968(2)
		MIH-COOL20SV	高反射					DR-1964(2)		
		MIH-HP20NUV	高耐久					DR-1968(2)		
		MIH-HP20SV	高耐久					DR-1964(2)		
ALC	接着工法	F-SGM20NUV		歩行	外断熱	SI-F2 相当	S-PFT 相当	DR-1968(2)	P13 P14	
		F-SGM20SV						DR-1964(2)		
		F-COOL20NUV	高反射					コリドール 一般歩行 可能		DR-1968(2)
		F-COOL20SV	高反射					DR-1964(2)		
		F-HP20NUV	高耐久					DR-1968(2)		
ALC	接着工法	F-HP20SV	高耐久					DR-1964(2)		
		F-SGM15/20E		非歩行	SI-F2	S-PFT	---	P15		
		F-COOL15/20E	高反射							
F-HP15/20E	高耐久									
ALC	接着工法	F-SGM15/20GF		非歩行	SI-F2	S-PFT 相当	DR-1918	P16		
		F-COOL15/20GF	高反射				DR-1918			
		F-HP15/20GF	高耐久				DR-1918			
ALC	接着工法	F-N15/20		非歩行	非断熱	S-F2	S-PF	---	P17	
		F-SGM15/20		歩行※1				DR-1934(5)		
		F-COOL15/20	高反射	コリドール 一般歩行 可能				DR-1934(5)		
RC		PF-OS		一般歩行	外断熱			---	P18	

各仕様書仕様において「相当」と表記がある場合、当該仕様と同等の水準を有する防水システムであることを示します。

※1 特記があれば厚さ2.0mmのシートを用いて歩行仕様とする事が可能です。下地がAYパネルVを用いない断熱仕様、または床用ALC以外のALC下地の場合、いずれのシートを用いても非歩行仕様となります。

※2 下地がALCの場合、S-M2相当となります。

工法	アンカー固定工法 FL鋼板やIHディスクを使用してリベトルーフを固定する工法。	接着工法 接着剤でリベトルーフを下地に全面接着する工法。
	RC・PC・PCa 鉄筋、プレストレスト、プレキャストコンクリートを下地とした構造。	【新築】金属 耐火デッキプレート下地、耐火断熱サンドイッチパネルなどを下地とした構造。
下地種別	ALC ALCパネルを下地とした構造。	【改修】金属 折板下地や瓦棒下地などの鋼板を下地とした構造。主に改修向き。
	木・ボード下地 木・ボードなどを下地とした構造。	

歩行用途	 非歩行仕様 立入りを前提としない仕様。防水層を傷つけない履物(運動靴等)で防水層等の点検・清掃を行う程度。
	 歩行仕様 常時歩行を前提とせず、該当建物の専任者、あるいは専門者に限定し、防水層を傷つけない履物(運動靴等)で歩行する仕様。リベトルーフ直下がコンクリートや硬質のボードであること。
	 一般歩行仕様 屋上利用で特定者が集う場所などの常時歩行を前提とした仕様。コリドールやルーフブロック等による保護仕様かつ、リベトルーフ直下がコンクリートや硬質のボードであること。

適応下地	工法	システム記号 (標準防水仕様)	機能	歩行仕様	断熱仕様	公共建築工事 標準仕様書 仕様 (改修を含む)	日本建築 学会 JASS 8 仕様	関連飛び火認定 (条件により下記飛び火認定 が必要な場合があります)	掲載 ページ
〔新築〕金属	LCS工法	MIHFD-SW15NU		非歩行	外断熱	—	参考と なる仕様(2) 面材固定 防水工事	DR-1884-1	P19 P20
		MIHFD-SW15S						—	
		MIHFD-COOL15NU	高反射					DR-1884-1	
		MIHFD-COOL15S	高反射					—	
		MIHFD-HP15NU	高耐久					DR-1884-1	
		MIHFD-HP15S	高耐久					—	
〔改修〕金属	LCS工法	MIHD-SW15NU		非歩行	外断熱	—	—	—	P21 P22
		MIHD-SW15S						—	
		MIHD-COOL15NU	高反射					—	
		MIHD-COOL15S	高反射					—	
		MIHD-HP15NU	高耐久					—	
		MIHD-HP15S	高耐久					—	
〔新築〕金属	LCS工法	FFD-SGM15MS		非歩行	外断熱	—	—	DR-1623-1	P23
		FFD-COOL15MS	高反射					DR-1623-1	
		FFD-HP15MS	高耐久					DR-1623-1	
〔改修〕金属	LCS工法	FD-SGM15MS		非歩行	外断熱	—	—	—	P24
		FD-COOL15MS	高反射					—	
		FD-HP15MS	高耐久					—	
〔新築〕金属	LCS工法	FFD-SGM15NP		非歩行	外断熱	—	—	—	P25 P26
		FFD-COOL15NP	高反射					—	
		FFD-HP15NP	高耐久					—	
木・ボード下地	アンカー固定工法	MIHW-SGM15/20NU		非歩行	外断熱	—	—	DR-1949(1)	P27 P28
		MIHW-SGM15/20S						DR-0243-1	
		MIHW-SW15/20NU						DR-1949(1)	
		MIHW-SW15/20S						DR-0243-1	
		MIHW-COOL15/20NU	高反射					DR-1949(1)	
		MIHW-COOL15/20S	高反射					DR-0243-1	
		MIHW-HP15/20NU	高耐久	DR-1949(1)					
		MIHW-HP15/20S	高耐久	DR-0243-1					
		MIHW-SGM20NUV		歩行 コリドール 一般歩行 可能				DR-1968(1)	P31 P32
		MIHW-SGM20SV						DR-1964(1)	
		MIHW-SW20NUV						DR-1968(1)	
		MIHW-SW20SV						DR-1964(1)	
		MIHW-COOL20NUV	高反射					DR-1968(1)	
		MIHW-COOL20SV	高反射					DR-1964(1)	
		MIHW-HP20NUV	高耐久	DR-1968(1)					
		MIHW-HP20SV	高耐久	DR-1964(1)					
		MIHW-SGM15/20		非歩行 歩行※1				DR-1934(2)	P29
		MIHW-SW15/20						DR-1934(2)	
MIHW-COOL15/20	高反射	DR-1934(2)							
MIHW-HP15/20	高耐久	DR-1934(2)							
FW-SGM20NUV		歩行 コリドール 一般歩行 可能	DR-1968(1)		P33 P34				
FW-SGM20SV			DR-1964(1)						
FW-COOL20NUV	高反射		DR-1968(1)						
FW-COOL20SV	高反射		DR-1964(1)						
FW-HP20NUV	高耐久		DR-1968(1)						
FW-HP20SV	高耐久		DR-1964(1)						
FW-SGM15/20		歩行	DR-1934(2)	P30					
FW-COOL15/20	高反射		DR-1934(2)						
FW-HP15/20	高耐久		DR-1934(2)						

外断熱/非断熱

リベットルーフと下地の間に断熱材を設置し、断熱性能を向上させる外断熱仕様。表中に非断熱と記載があれば非断熱仕様です。

● システム記号について

■ 露出仕様

M IH FD - SW 15 NU

■ 保護コンクリート仕様

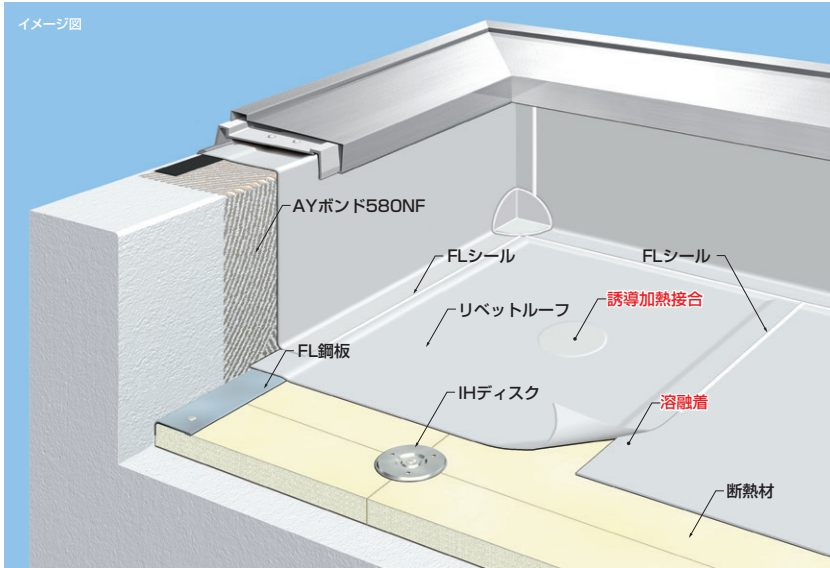
P F - O S

① 保護仕様	P : 保護コンクリート仕様
② 固定工法	M : アンカー固定工法(機械的固定工法) F : 接着工法
③ IH工法	IH : 誘導加熱による固定仕様
④ 下地種別	FD : 金属下地(新築用) D : 金属下地(改修用) W : 木・ボード下地

⑤ 防水シート名	SGM : リベットルーフSGM	SW : リベットルーフSW	
	COOL : リベットルーフCOOL	HP : リベットルーフHP	
⑥ 防水シート厚	15 : 1.5mm	20 : 2.0mm	
⑦ 保護用シート	O : AYオーバーシート		
⑧ 断熱材 (露出仕様)	S : FLボードS	NU : FLボードNU	NP : FLボードNP
	SV : ポリスチレンフォーム3種+AYパネルV	E : ポリエチレンフォーム	
	NUV : FLボードNU+AYパネルV	MS : FLボードMS	
	GF : アクリレスボードGF		

非歩行・アンカー固定断熱工法

イメージ図




公共建築(改修含む)工事
標準仕様書仕様

〔SI-M2〕

日本建築学会公共建築工事
標準仕様書仕様 JASS 8

〔S-PMT〕

各仕様との適合関係詳細はP68以降参照

システム記号	MIH-SGM15NU	MIH-SGM15S	MIH-SW15NU	MIH-SW15S
適応下地	RC・PC・PCa			
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフSGM (1.5mm)		リベットルーフSW (1.5mm)	
歩行用途	 非歩行			
飛び火 認定 番号	告示1365号の適応範囲内			
断熱材の厚さ 使用できる 総厚さ 50mmまで 総厚さ 25mm以上 150mmまで	DR-1949(3)	DR-1819-1 ※1	DR-1949(3)	DR-1819-1 ※1

工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など			
1 断熱材敷設 (絶縁シート敷設)	※2 公共建築(改修含む)工事標準仕様書仕様は防湿フィルムの敷設は特記によります。また、JASS8仕様は防湿フィルムの敷設が必要な場合があります。			
	FLボードNU	FLボードS	FLボードNU	FLボードS
2 FL鋼板、 IHディスク固定	FL鋼板 IHディスク アンカー類 FLアルミテープ			
3 リベットルーフ敷設	リベットルーフSGM		リベットルーフSW	
4 リベットルーフと FL鋼板の溶着接合	AY溶着剤			
5 リベットルーフ 相互の接合	【溶剤による溶着／熱風溶接機による融着】			
6 リベットルーフと IHディスクの 誘導加熱接合	【IHジョインター】でIHディスクとリベットルーフを誘導加熱接合			

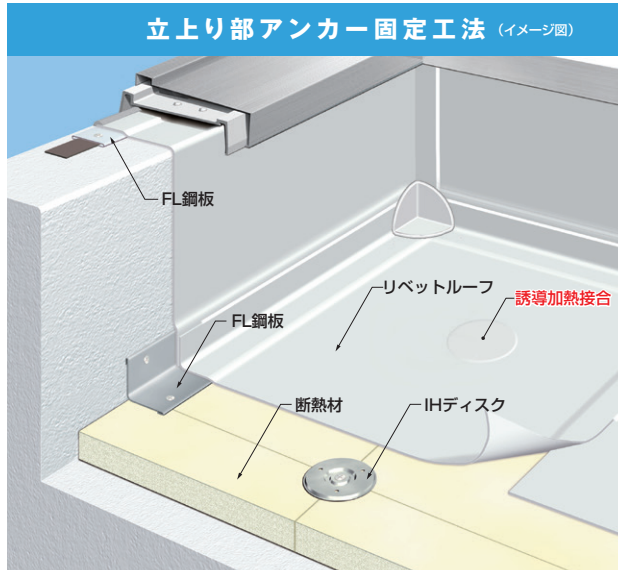
※1 記載の飛び火認定番号を使用する際は、断熱材上に絶縁シートGPの敷設が必要です。また、断熱材の総厚さ50mm以上150mmまでとなります。

※2 詳細はP69以降を参照。

システムの注意事項

- 風荷重は建物の立地条件、建物高さ、部位や下地によって異なります。条件により標準・強風・超高層仕様を設定しています。P73以降の 카테고리 資料または耐風圧ガイドブックをご確認ください。
- シート厚さ1.5mmの代わりに2.0mmを使用する事も可能です(ただし、2.0mmを使用しても歩行仕様にはなりません)。
- 強風仕様の場合、リベットルーフの固定(平場)に、FL鋼板を併用する仕様もあります。
- リベットルーフの固定(平場)に、ディスクの後付け工法もあります。
- SI-M2仕様の場合、防湿フィルムの使用は特記によります。
- S-PMT仕様の場合、一部地域では断熱材下に防湿フィルムの使用が必要です。詳細はP71をご確認ください。

■ 立上り部のシステム図



・左記は一例になります。バラベットの形状などによっては他の納め方をご提案させていただきます。ご了承ください。

システム記号	MIH-COOL15NU	MIH-COOL15S	MIH-HP15/20NU	MIH-HP15/20S
適応下地	RC・PC・PCa			
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフCOOL (1.5mm)		リベットルーフHP (1.5/2.0mm)	
歩行用途	 非歩行			
飛び火 認定 番号	告示1365号の適応範囲内			
断熱材の厚さ 使用できる 総厚さ 50mmまで				
断熱材の厚さ 25mm以上 150mmまで	DR-1949(3)	DR-1819-1 ※1	DR-1949(3)	DR-1819-1 ※1

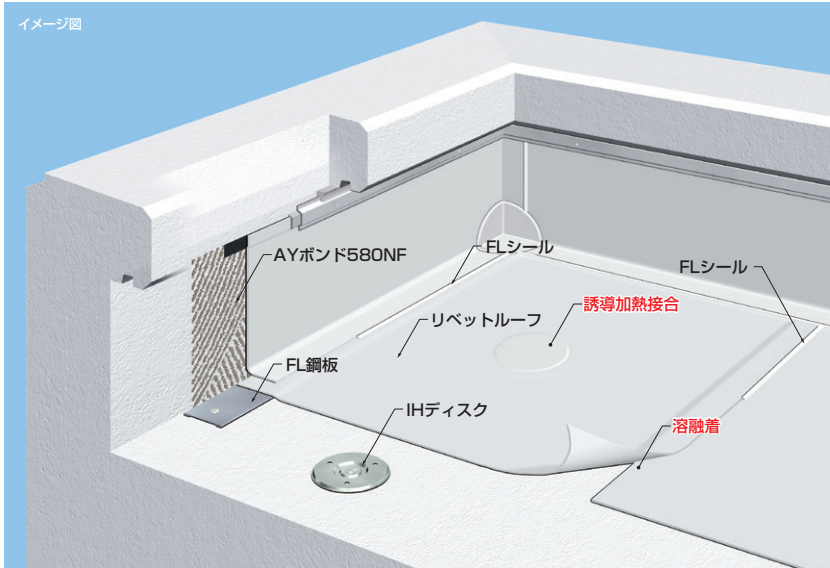
工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など			
1 断熱材敷設 (絶縁シート敷設)	※2 公共建築(改修含む)工事標準仕様書仕様は防湿フィルムの敷設は特記によります。また、JASS8仕様は防湿フィルムの敷設が必要な場合があります。			
	FLボードNU	FLボードS	FLボードNU	FLボードS
2 FL鋼板、 IHディスク固定	FL鋼板 IHディスク アンカー類 FLアルミテープ			
3 リベットルーフ敷設	リベットルーフCOOL <small>高反射シート</small>		リベットルーフHP <small>高耐久シート</small>	
4 リベットルーフと FL鋼板の溶着接合	AY溶着剤			
5 リベットルーフ 相互の接合	【溶剤による溶着 / 熱風溶接機による融着】			
6 リベットルーフと IHディスクの 誘導加熱接合	【IHジョインター】でIHディスクとリベットルーフを誘導加熱接合			

◆ リベットルーフ接合端部の処理：FLシール（左ページの工程も同様）

- FLボードSのかわりに面材のないポリスチレンフォームを使用する場合は、絶縁シートとIHディスク緩衝スペーサーを使用してください。
- PC、PCa下地の場合、ディスク類を固定するアンカーと鋼線が干渉しないようにご注意ください。施工条件によっては本システムを採用いただけない場合があります。
- アンボンド工法、ポイドスラブ工法などの特殊下地では、アンカー固定工法で施工できない場合があります。
- デッキコンクリートのスラブ厚が薄い下地では、アンカー固定工法で施工できない場合があります。

非歩行 / 歩行・アンカー固定工法

イメージ図



公共建築(改修含む)工事
標準仕様書仕様

〔 S-M2 〕

日本建築学会公共建築工事
標準仕様書仕様 JASS 8

〔 S-PM 〕

各仕様との適合関係詳細はP68以降参照

※ ALC下地の場合、S-M2相当となります。

コリドール
一般歩行
可能

コリドールを採用した一般歩行
仕様はP35参照。

システム記号	MIH-SGM15/20	MIH-SW15/20	MIH-COOL15/20	MIH-HP15/20
適応下地	RC・PC・PCa	RC・PC・PCa・ALC ※床用ALC以外のALC下地の場合、シートの厚さに関わらず非歩行仕様となります		
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフSGM (1.5/2.0mm)	リベットルーフSW (1.5/2.0mm)	リベットルーフCOOL (1.5/2.0mm)	リベットルーフHP (1.5/2.0mm)
歩行用途	非歩行 ▶ 各種1.5mm / 歩行 ▶ 各種2.0mm 選択 シートの厚さで用途が変わります			
飛び火認定番号	告示1365号の適応範囲内			

工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など			
1 FL鋼板、 IHディスク固定	FL鋼板 IHディスク アンカー類 FLアルミテープ			
2 リベットルーフ敷設	リベットルーフSGM	リベットルーフSW	リベットルーフCOOL <small>高反射シート</small>	リベットルーフHP <small>高耐久シート</small>
3 リベットルーフと FL鋼板の溶着接合	AY溶着剤			
4 リベットルーフ 相互の接合	【 溶剤による溶着 / 熱風溶接機による融着 】			
5 リベットルーフと IHディスクの 誘導加熱接合	【 IHジョインター 】でIHディスクとリベットルーフを誘導加熱接合			

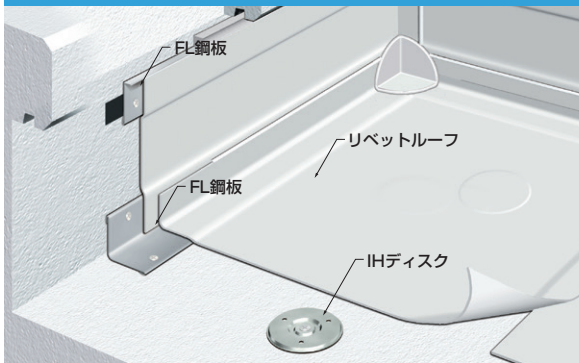
◆ リベットルーフ接合端部の処理：FLシール

システムの注意事項

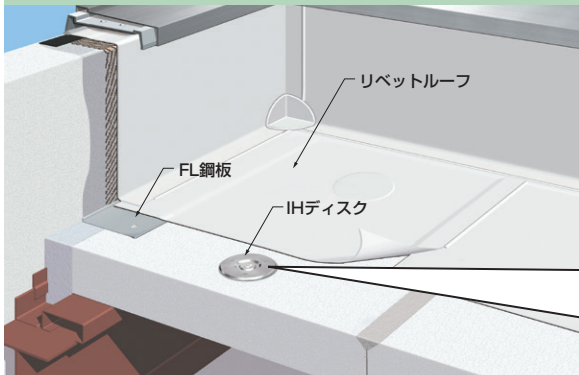
- 改修工事の場合、既存下地とリベットルーフとの間に絶縁シートが必要です。
- 風荷重は建物の立地条件、建物高さ、部位や下地によって異なります。条件により標準・強風・超高層仕様を設定しています。P73以降のカテゴリリー資料または耐風圧ガイドブックをご確認ください。
- 下地勾配によっては、FL鋼板付近に水が溜まる場合があります。
- PC、PCa下地の場合、ディスク類を固定するアンカーと鋼線が干渉しないようにご注意ください。施工条件によっては本システムを採用いただけない場合があります。
- アンボンド工法、ボイドスラブ工法などの特殊下地では、アンカー固定工法で施工できない場合があります。
- デッキコンクリートのスラブ厚が薄い下地では、アンカー固定工法で施工できない場合があります。
- シートの厚さが1.5mmの場合は点検歩行に限ります。
- 特記があれば厚さ2.0mmのシートを用いて歩行仕様とする事が可能です。

■ 立上り部のシステム図

立上り部アンカー固定工法 (イメージ図)

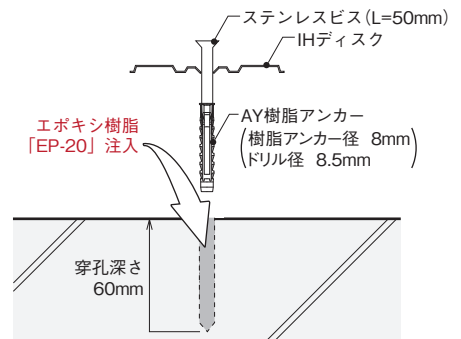


ALCに施工時のシステム図例 (イメージ図)



・左記は一例になります。パラペットの形状などによっては他の納め方をご提案させていただく場合があります。

〔ALC下地に施工時は、下穴にエポキシ樹脂〔EP-20〕を注入〕



※下穴をあける際は、必ず回転式ドリルを用いてください。
●ALC下地の場合、AYφ6.5樹脂アンカーは使用できません。

詳細はP36参照

※ ALC下地の場合、厚さが100mm以上に限ります。

※ ALC下地の場合、リベットルーフSGMは使用できません。

※ 床用ALC以外のALC下地の場合、ALCパネルの厚さに関わらず非歩行仕様となります。

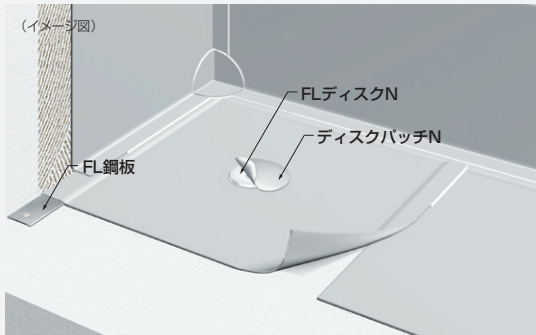
●ALC下地の場合は対応可能な範囲が設定されています。P73以降の 카테고리 資料または耐風圧ガイドブックをご確認ください。

〔 その他のシート固定工法について 〕

各種固定工法を併用することも可能です。

FLディスク工法

システム記号	適応下地
M-SGM15/20	RC/PC/PCa
M-SW15/20	RC/PC/PCa/ALC
M-COOL15/20	
M-HP15/20	

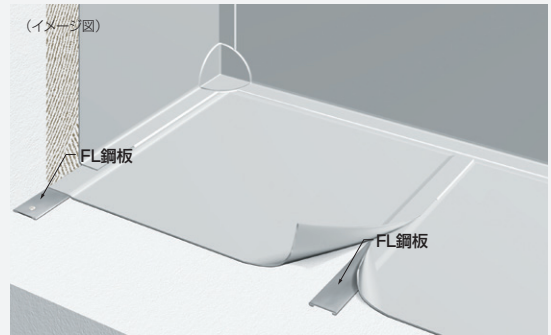


工程	各工程における施工内容
1	FL鋼板の固定
2	リベットルーフ敷設
3	リベットルーフとFL鋼板の溶着接合
4	リベットルーフ相互の接合(接合部の処理:溶融着)
5	FLディスクN取付
6	ディスクパッチN溶融着

◆リベットルーフ接合端部の処理:FLシール

FLバー工法

システム記号	適応下地
M-SGM15/20	RC/PC/PCa ★ALC下地は適用不可
M-SW15/20	
M-COOL15/20	
M-HP15/20	

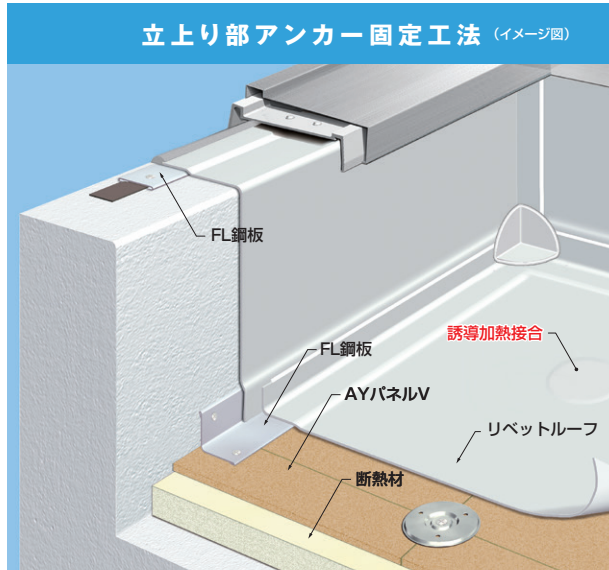


工程	各工程における施工内容
1	FL鋼板の固定(入隅部とシート相互の接合部)
2	リベットルーフ敷設とFL鋼板の溶着接合
3	リベットルーフ相互の接合(接合部の処理:溶融着)


◆リベットルーフ接合端部の処理:FLシール

※FLディスク工法・FLバー工法については、シートの厚さを2.0mmにすることも可能です。

■ 立上り部のシステム図



・左記は一例になります。パラベットの形状などによっては他の納め方をご提案させていただきます。ご了承ください。

システム記号	MIH-COOL20NUV	MIH-COOL20SV	MIH-HP20NUV	MIH-HP20SV
適応下地	RC・PC・PCa			
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフCOOL (2.0mm※歩行仕様のため左記の厚さのみ)		リベットルーフHP (2.0mm※歩行仕様のため左記の厚さのみ)	
歩行用途	 歩行			
飛び火 認定 番号	DR-1968(2)	DR-1964(2)	DR-1968(2)	DR-1964(2)
断熱材の厚さ 使用できる 総厚さ 25mmから 150mmまで				

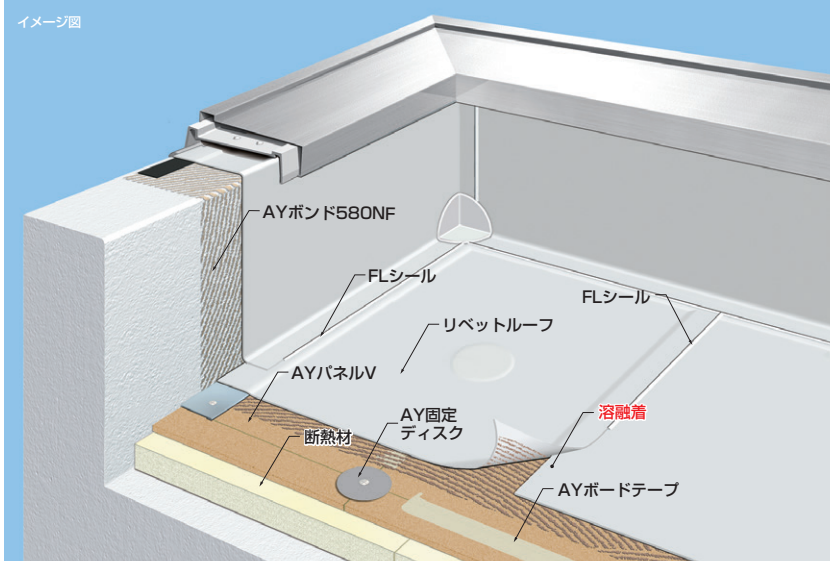
工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など			
1 断熱材敷設	FLボードNU	ポリスチレンフォーム3種	FLボードNU	ポリスチレンフォーム3種
2 歩行用パネルの敷設	AYパネルV			
3 FL鋼板、 IHディスク固定	FL鋼板 IHディスク アンカー類 FLアルミテープ			
4 リベットルーフ敷設	リベットルーフCOOL 		リベットルーフHP 	
5 リベットルーフと FL鋼板の溶着接合	AY溶着剤			
6 リベットルーフ 相互の接合	【溶剤による溶着／熱風溶接機による融着】			
7 リベットルーフと IHディスクの 誘導加熱接合	【IHジョインター】でIHディスクとリベットルーフを誘導加熱接合			

◆リベットルーフ接合端部の処理：FLシール（左ページの工程も同様）

- 改修の場合、下地の状態によっては絶縁シートの敷設が必要な場合があります。
- PC、PCa下地の場合、ディスク類を固定するアンカーと鋼線が干渉しないようご注意ください。施工条件によっては本システムを採用いただけない場合があります。
- アンボンド工法、ボイドスラブ工法などの特殊下地では、アンカー固定工法で施工できない場合があります。
- デッキコンクリートのスラブ厚が薄い下地では、アンカー固定工法で施工できない場合があります。

歩行・接着断熱工法

イメージ図



公共建築(改修含む)工事
標準仕様書仕様

〔SI-F2相当〕


日本建築学会公共建築工事
標準仕様書仕様 JASS 8

〔S-PFT相当〕

各仕様との適合関係詳細はP68以降参照

コリドール
一般歩行
可能

コリドールを採用した一般歩行
仕様はP35参照。

システム記号	F-SGM20NUV	F-SGM20SV	F-COOL20NUV
適応下地	RC・PC・PCa		
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフSGM (2.0mm※歩行仕様のため左記の厚さのみ)		リベットルーフCOOL (2.0mm※歩行仕様のため左記の厚さのみ)
歩行用途	 歩行		
飛び火 認定 番号	DR-1968(2)	DR-1964(2)	DR-1968(2)
断熱材の厚さ 使用できる 総厚さ 25mm以上 150mmまで			

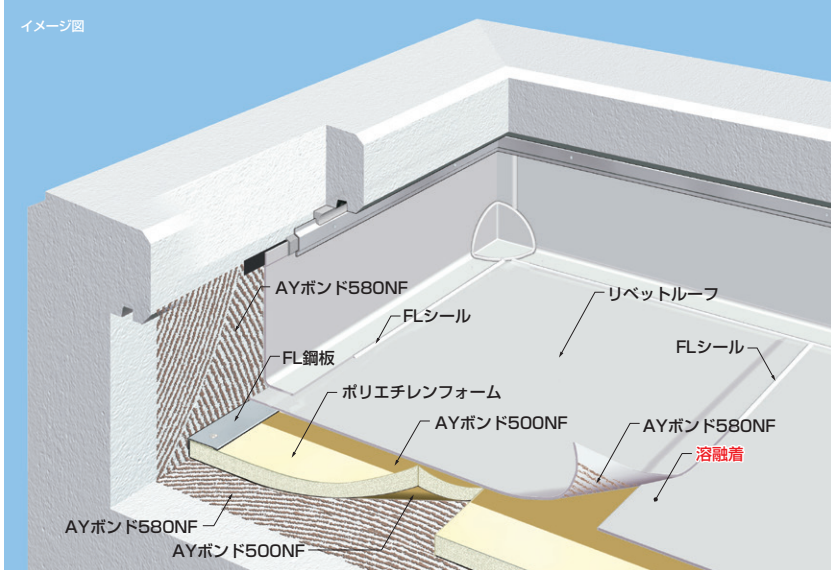
工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など		
1 断熱材敷設	FLボードNU	ポリスチレンフォーム3種	FLボードNU
2 歩行パネルの敷設	AYパネルV		
3 固定用金具の 設置・固定	FL鋼板 AY固定ディスク アンカー類 AYボードテープなど		
4 接着剤の塗布	AYボンド580NF 【AYパネルV表面に塗布】		
5 接着剤の塗布	AYボンド580NF 【リベットルーフ裏面に塗布】		
6 リベットルーフ敷設	リベットルーフSGM		リベットルーフCOOL <small>高反射シート</small>
7 リベットルーフと FL鋼板の溶着接合	AY溶着剤		
8 リベットルーフ 相互の接合	【溶剤による溶着／熱風溶接機による融着】		

システムの注意事項

- 風荷重は建物の立地条件、建物高さ、部位や下地によって異なります。条件によっては本システムを採用いただけない場合があります。
- 防湿フィルムの使用は、特記によります。
- 改修の場合、下地の状態によっては絶縁シートの敷設が必要な場合があります。
- PC、PCa下地の場合、ディスク類を固定するアンカーと鋼線が干渉しないようご注意ください。施工条件によっては本システムを採用いただけない場合があります。

非歩行・接着断熱工法

イメージ図




公共建築(改修含む)工事
標準仕様書仕様

〔 SI-F2 〕

日本建築学会公共建築工事
標準仕様書仕様 JASS 8

〔 S-PFT 〕

各仕様との適合関係詳細はP68以降参照

システム記号	F-SGM15/20E	F-COOL15/20E	F-HP15/20E
適応下地	RC・PC・PCa・ALC		
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフSGM (1.5/2.0mm)	リベットルーフCOOL (1.5/2.0mm)	リベットルーフHP (1.5/2.0mm)
歩行用途	 非歩行		
飛び火 認定 番号	告示1365号の適応範囲内		
断熱材の厚さ 使用できる 総厚さ 50mmまで			

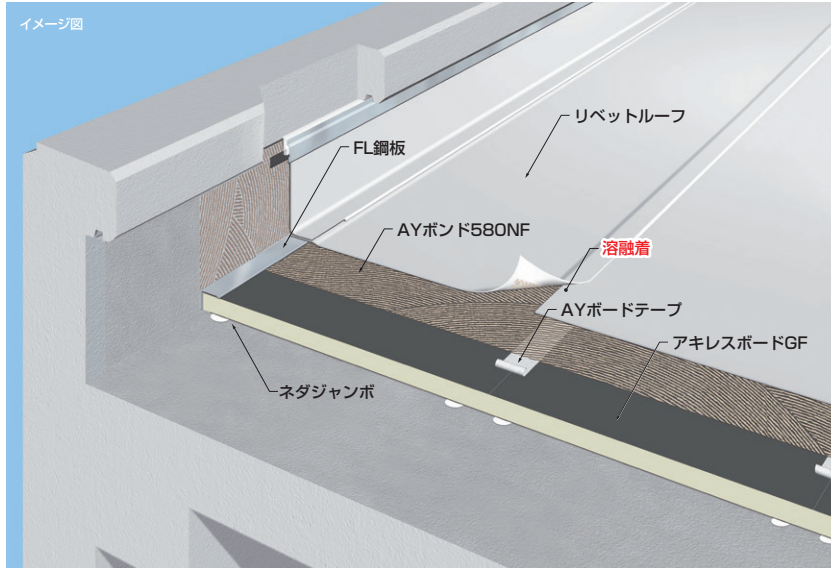
工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など		
1 接着剤の塗布	AYボンド580NF 【下地面に塗布】 (ALC下地の場合、AYプライマー685ペーストを用いて下地処理をする必要があります)		
2 接着剤の塗布	AYボンド500NF 【断熱材裏面に塗布】 (AYボンド500NFはローラーで塗布してください)		
3 断熱材敷設	ポリエチレンフォーム		
4 FL鋼板の固定	FL鋼板 アンカー類 FLアルミテープ		
5 接着剤の塗布	AYボンド500NF 【断熱材表面に塗布】 (AYボンド500NFはローラーで塗布してください)		
6 接着剤の塗布	AYボンド580NF 【リベットルーフ裏面に塗布】		
7 リベットルーフ敷設	リベットルーフSGM	リベットルーフCOOL 高反射シート	リベットルーフHP 高耐久シート
8 リベットルーフと FL鋼板の溶着接合	AY溶着剤		
9 リベットルーフ 相互の接合	【溶剤による溶着 / 熱風溶接機による融着】		

システムの注意事項

◆ リベットルーフ接合端部の処理：FLシール

- 公共建築(改修含む)工事標準仕様書仕様SI-F2の場合、厚さ1.5mmのシートを使用します(特記があれば、厚さ2.0mmのシートを使用可能です)。
- シート厚さ2.0mmを使用しても、歩行仕様にはなりません。
- オプション仕様の脱気システムは、残存水分を軽減することはできますが、完全に除去することはできません。
- ALC下地の場合、ALCの厚さが100mm以上に限ります。
- ALC下地の場合、ALCパネル短辺部の目地にはPPジョイントテープまたはAYボードテープを貼ります。
- リベットルーフSWを使用する事も可能です。

非歩行・接着断熱工法(GF仕様)



公共建築(改修含む)工事
標準仕様書仕様

〔SI-F2〕

日本建築学会公共建築工事
標準仕様書仕様 JASS 8

〔S-PFT相当〕

各仕様との適合関係詳細はP68以降参照

システム記号	F-SGM15/20GF	F-COOL15/20GF	F-HP15/20GF
適応下地	RC・PC・PCa		
使用リベトルーフ (シートの厚さ)	リベトルーフSGM (1.5/2.0mm)	リベトルーフCOOL (1.5/2.0mm)	リベトルーフHP (1.5/2.0mm)
歩行用途	非歩行		
飛び火 認定 番号	告示1365号の適応範囲内		
	DR-1918		

工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など		
1 接着剤の塗布 (断熱材裏面)	ネダジャンボ (点付け)		
2 断熱材敷設と テープ貼り付けなど	アキレスボードGF 特注FL鋼板 AYボードテープ		
3 接着剤の塗布	AYボンド580NF 【断熱材上面に塗布】		
4 接着剤の塗布	AYボンド580NF 【リベトルーフ裏面に塗布】		
5 リベトルーフ敷設	リベトルーフSGM	リベトルーフCOOL 高反射シート	リベトルーフHP 高耐久シート
6 リベトルーフと FL鋼板の溶着接合	AY溶着剤		
7 リベトルーフ 相互の接合	【溶剤による溶着／熱風溶接機による融着】		

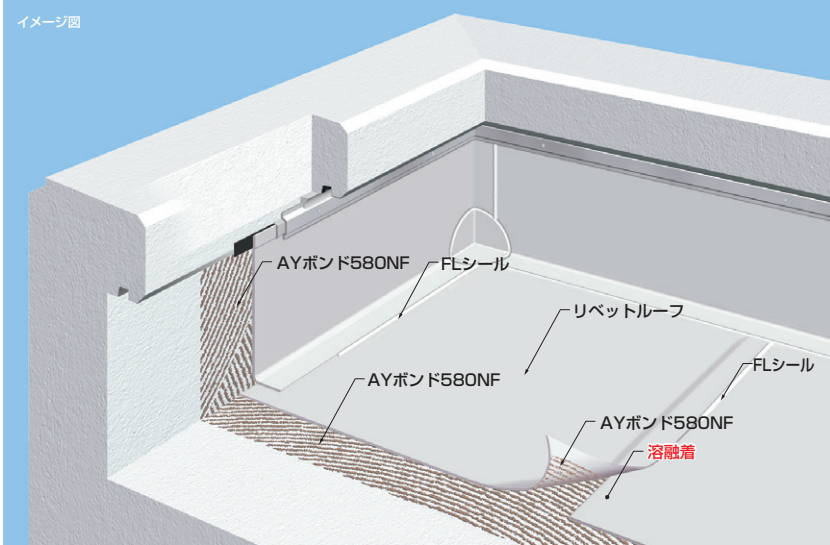
システムの注意事項

◆ リベトルーフ接合端部の処理：FLシール

- 改修時は入隅部に専用の特注FL鋼板を用いる場合があります。上記は、特注FL鋼板を用いた場合の工程です。
- 公共建築(改修含む)工事標準仕様書仕様SI-F2の場合、厚さ1.5mmのシートを使用します(特記があれば、厚さ2.0mmのシートを使用可能です)。
- シート厚さ2.0mmを使用しても歩行仕様にはなりません。
- 必要に応じて、断熱材の目ちがいを防ぐため、AY固定ディスクで固定することも可能です。
- オプション仕様の脱気システムは、残存水分を軽減することはできませんが、完全に除去することはできません。
- ネダジャンボは、接着強度の発現まで1日程度の時間が必要です。
- リベトルーフSWを使用する事も可能です。

非歩行 / 歩行・接着工法

イメージ図



公共建築(改修含む)工事
標準仕様書仕様

〔 S-F2 〕

日本建築学会公共建築工事
標準仕様書仕様 JASS 8

〔 S-PF 〕

各仕様との適合関係詳細はP68以降参照

コリドール
一般歩行
可能

コリドールを採用した一般歩行
仕様はP35参照。



AYボンド800に対応

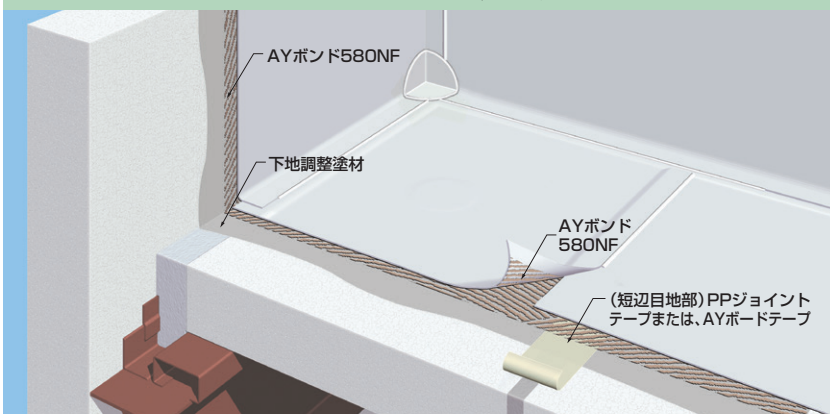
環境配慮型接着剤AYボンド800を使用できます。
ただし、S-F2相当、S-PF相当となります。

システム記号	F-N15 / 20	F-SGM15 / 20	F-COOL15 / 20	F-HP15 / 20
適応下地	RC・PC・PCa	RC・PC・PCa・ALC ※床用ALC以外のALC下地の場合、シートの厚さに関わらず非歩行仕様となります		
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフナイン (1.5 / 2.0mm)	リベットルーフSGM (1.5 / 2.0mm)	リベットルーフCOOL (1.5 / 2.0mm)	リベットルーフHP (1.5 / 2.0mm)
歩行用途	非歩行 ▶ 各種1.5mm	歩行 ▶ 各種2.0mm		選択 シートの厚さで用途が変わります
飛び火認定番号	告示1365号の適応範囲内			

工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など			
1 接着剤の塗布	AYボンド580NF 【下地面に塗布】 (ALC下地の場合、AYプライマー685ペーストを用いて下地処理をする必要があります)			
2 接着剤の塗布	AYボンド580NF 【リベットルーフ裏面に塗布】			
3 リベットルーフ敷設	リベットルーフナイン	リベットルーフSGM	リベットルーフCOOL <small>高反射シート</small>	リベットルーフHP <small>高耐久シート</small>
4 リベットルーフ 相互の接合	【溶剤による溶着 / 熱風溶接機による融着】			

◆リベットルーフ接合端部の処理：FLシール

ALC下地に施工する場合 (イメージ図)



ALCパネルの短辺部の目地には、PPジョイントテープまたはAYボードテープを貼ります。

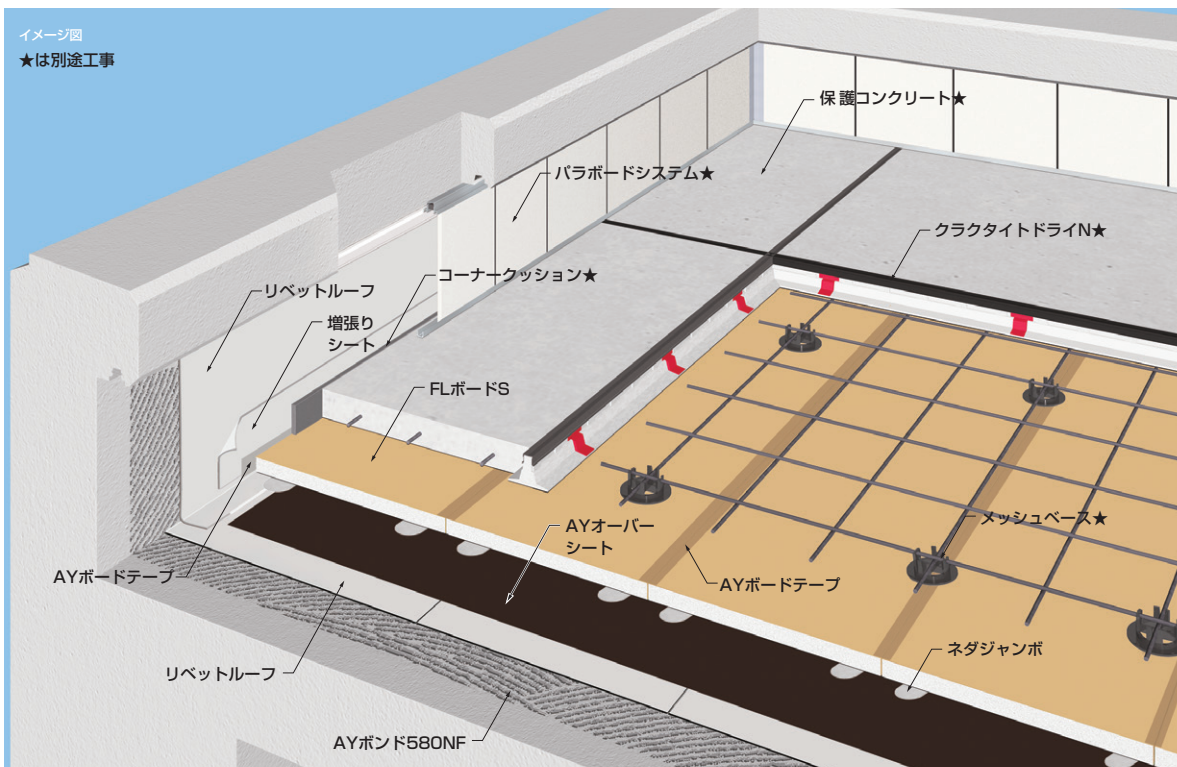
システムの注意事項

- ALC下地の場合、「リベットルーフナイン」は使用できません。
- 床用ALCパネル以外のALCパネル下地の場合、ALCパネルの厚さに関わらず非歩行仕様となります。
- オプション仕様の脱気システムは、残存水分を軽減することはできませんが、完全に除去することはできません。
- 公共建築(改修含む)工事標準仕様書仕様S-F2の場合、厚さ1.5mmのシートを使用します。
- 特記があれば厚さ2.0mmのシートを用いて歩行仕様とする事が可能です。
- シートの厚さが1.5mmの場合は点検歩行に限ります。
- リベットルーフSWを使用する事も可能です。

リベトルーフ 保護コンクリート仕様

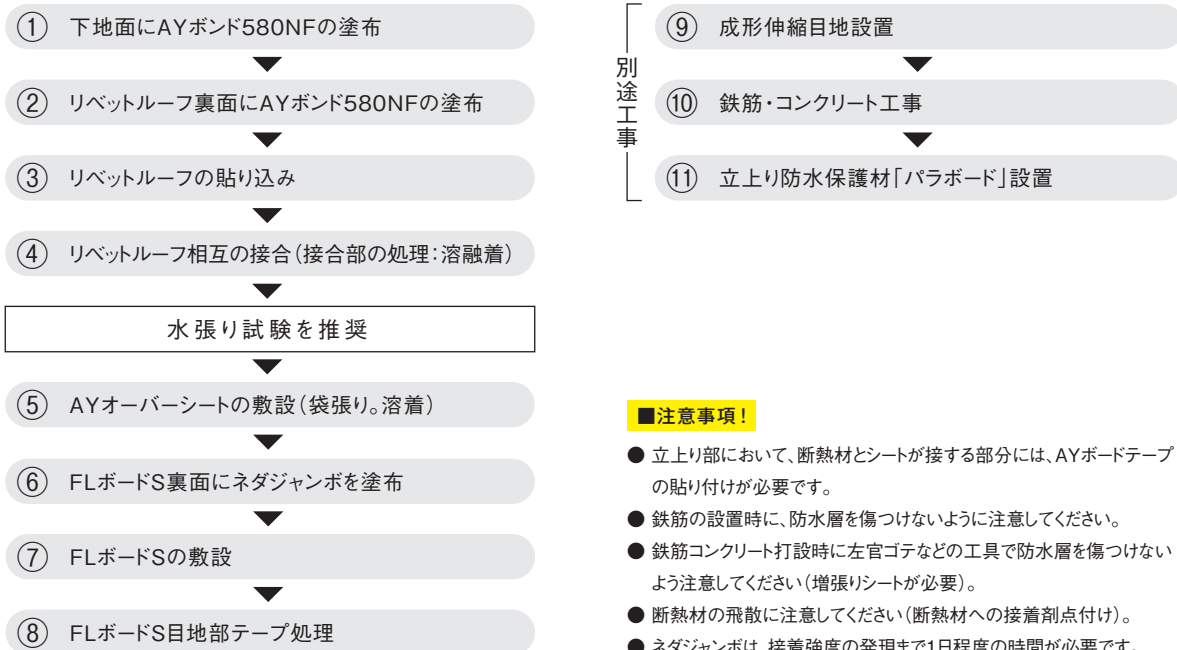


※保護コンクリート
打設後



システム記号	PF-OS
適応下地	RC
使用リベトルーフ (シートの厚さ)	リベトルーフナイン (2.0mm)

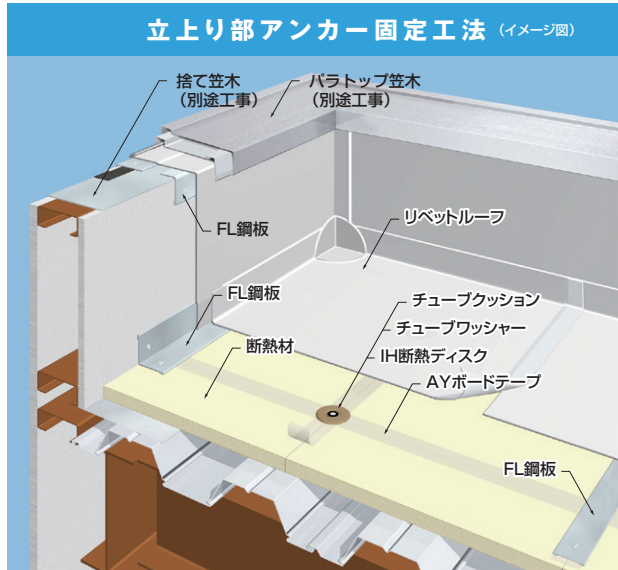
■工程



■注意事項!

- 立上り部において、断熱材とシートが接する部分には、AYボードテープの貼り付けが必要です。
- 鉄筋の設置時に、防水層を傷つけないように注意してください。
- 鉄筋コンクリート打設時に左官ゴテなどの工具で防水層を傷つけないよう注意してください(増張りシートが必要)。
- 断熱材の飛散に注意してください(断熱材への接着剤点付け)。
- ネダジャンボは、接着強度の発現まで1日程度の時間が必要です。

■ 立上り部のシステム図



・左記は一例になります。パラペットの形状などによっては他の納め方をご提案させていただきます。ご了承ください。

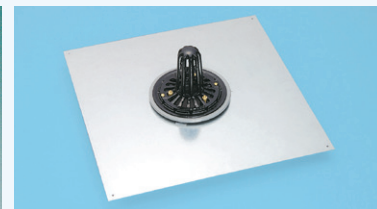
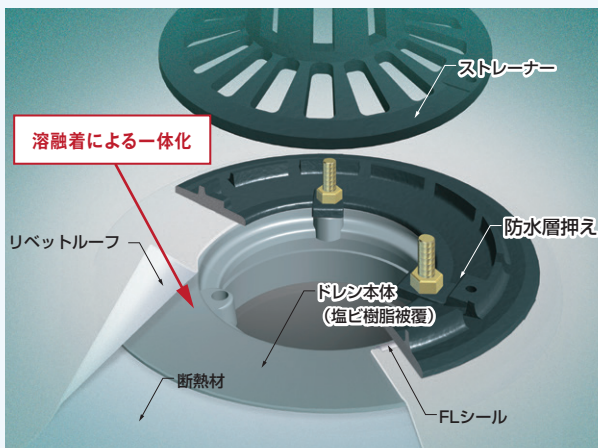
■ 使用可能デッキプレート例 (本工法に使用するデッキプレートは、屋根30分耐火認定を取得した製品となります)

品名	メーカー名	品番	耐火認定番号	形状
Zルーフ	佐渡島	I型 ^(注)	FP030RF-0233など	デッキプレート
		II型 ^(注)	FP030RF-0529/0209など	
		III型	FP030RF-0331など	
QLルーフ	JFE建材	QL99-50	FP030RF-0327/0413	
		QL99-75	FP030RF-0328/0326	
日鉄ルーフデッキ	日鉄建材	UA-R	FP030RF-0161	
		EZ50	FP030RF-0053	
		EZ75	FP030RF-0036/0103	
		HYPER	FP030RF-0123	
明治耐火屋根デッキ	明治鋼業	MA75デッキ	FP030RF-0113	
		V50デッキ	FP030RF-0139	
アイルーフ	東邦シートフレーム	アイルーフ30	FP030RF-0056	フラットデッキ
		アイルーフ75	FP030RF-1745	

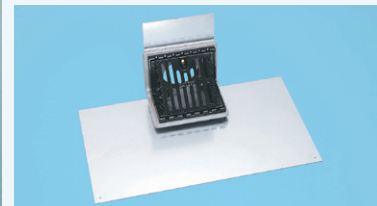
※代表的な製品を掲載しています。品番、仕様、耐火認定番号などについては、各メーカーにご確認ください。

(注)「サドシマZルーフI型・II型」は、アンカーの選定が異なりますので、ご相談ください。

〔 LCS工法専用ドレンについて 〕



LCSドレン縦型



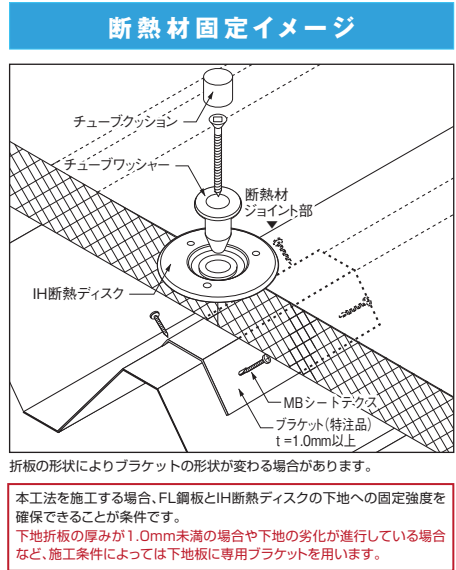
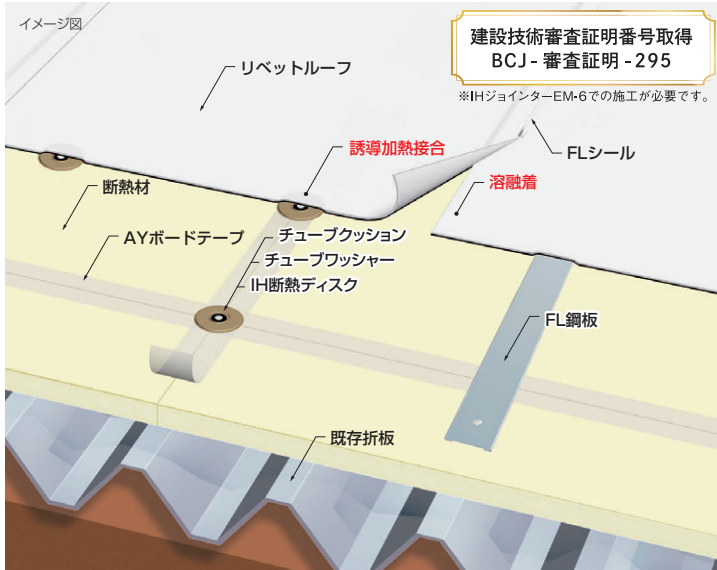
LCSドレン横型

●LCS工法専用の塩ビ被覆ドレンを必ず使用してください。
詳しくはP46をご参照ください。

【 防水層と一体化 】 ドレン本体に塩ビ樹脂をコーティングしているため、リベットルーフとドレンを直接溶融着します。

【 ドレンの確実な設置 】 LCSドレンには固定板がついているため、下地鋼板へドレンを堅固に取り付けることができます。

非歩行・LCS-R工法(折板屋根の改修)



システム記号	MIHD-SW15NU	MIHD-SW15S	MIHD-COOL15NU	MIHD-COOL15S	MIHD-HP15NU	MIHD-HP15S
適応下地	折板屋根 (改修)					
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフSW (1.5mm)		リベットルーフCOOL (1.5mm)		リベットルーフHP (1.5mm)	
歩行用途	 非歩行					

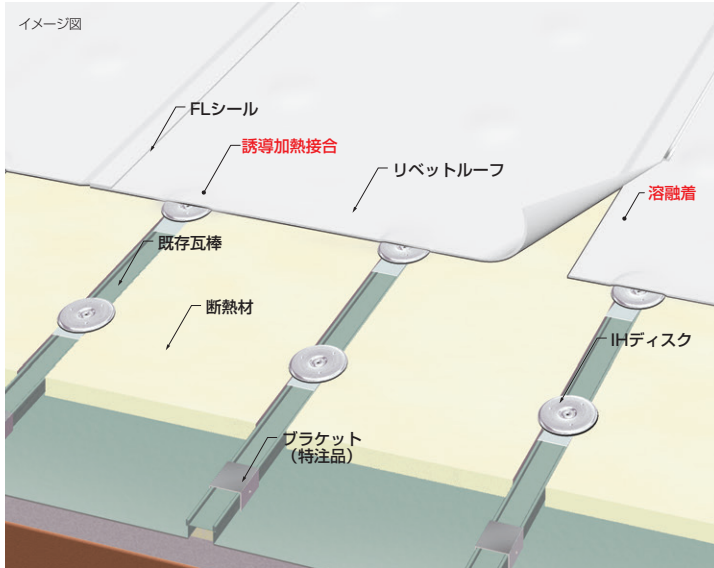
工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など					
1 断熱材敷設	(必要に応じて専用ブラケットの設置と固定)					
	FLボードNU	FLボードS	FLボードNU	FLボードS	FLボードNU	FLボードS
2 断熱材目地部処理	AYボードテープ					
3 FL鋼板、IH断熱ディスク固定	FL鋼板 IH断熱ディスク チューブワッシャー アンカー類 FLアルミテープなど					
4 リベットルーフ敷設	リベットルーフSW		リベットルーフCOOL 高反射シート		リベットルーフHP 高耐久シート	
5 リベットルーフとFL鋼板の溶着接合	AY溶着剤					
6 リベットルーフ相互の接合	【溶剤による溶着/熱風溶接機による融着】					
7 リベットルーフとIHディスクの誘導加熱接合	【IHジョインター】でIHディスクとリベットルーフを誘導加熱接合					

◆リベットルーフ接合端部の処理：FLシール

システムの注意事項

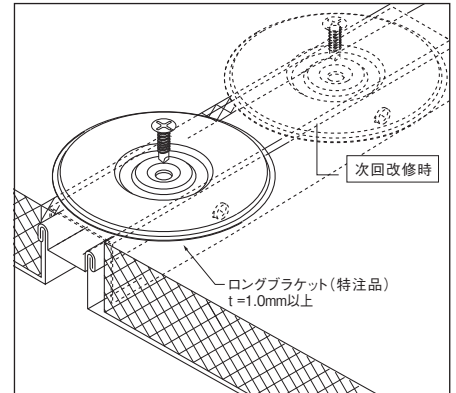
- 屋根の出入口付近やタラップの昇降部分付近は、断熱材の沈み込みや踏み抜きの対策が必要な場合がありますので、ご相談ください。
- 断熱材は下地折板の山部分でジョイントするように施工してください。
- 折板の形状により、断熱材の厚みとアンカーの固定方法が変わる場合がありますので、ご相談ください。
- 風荷重は建物の立地条件、建物高さ、部位や下地によって異なります。条件により標準・強風・超高層仕様を設定しています。強風仕様の場合、P24のLCS-R接着工法となります。P73以降のカテゴリ資料または耐風圧ガイドブックをご確認ください。
- シート厚さ1.5mmの代わりに2.0mmを使用する事も可能です(ただし、2.0mmを使用しても歩行仕様にはなりません)。
- FLボードSの代わりに面材のないポリスチレンフォームを使用する場合は、絶縁シートとIHディスク緩衝スペーサーを使用してください。
- 既存折板が著しく腐蝕しているなど、劣化状況によっては、本システムを採用いただけない場合があります。

非歩行・LCS-R工法(瓦棒屋根の改修)



次回の改修でもディスク固定が可能な ロングブラケットも用意

ロングブラケットを使用すれば、次回の改修時にブラケットを再利用し、IHディスクの固定が可能です。次回の改修費用の低減に役立ちます。

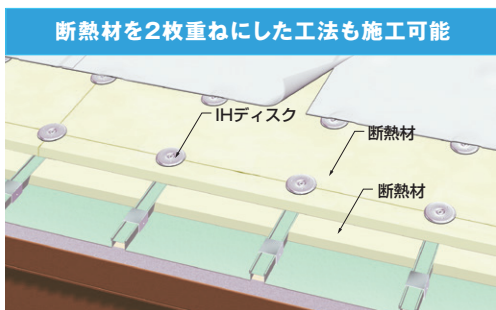


瓦棒の形状によりブラケットの形状が変わる場合があります。

システム記号	MIHD-SW15NU	MIHD-SW15S	MIHD-COOL15NU	MIHD-COOL15S	MIHD-HP15NU	MIHD-HP15S
適応下地	瓦棒屋根 (改修)					
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフSW (1.5mm)		リベットルーフCOOL (1.5mm)		リベットルーフHP (1.5mm)	
歩行用途	 非歩行					

工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など					
1 断熱材敷設	専用ブラケットの設置と固定					
2 断熱材目地部処理	FLボードNU	FLボードS	FLボードNU	FLボードS	FLボードNU	FLボードS
3 FL鋼板、IH断熱ディスク固定	FL鋼板 IHディスク アンカー類 FLアルミテープなど					
4 リベットルーフ敷設	リベットルーフSW		リベットルーフCOOL <small>高反射シート</small>		リベットルーフHP <small>高耐久シート</small>	
5 リベットルーフとFL鋼板の溶着接合	AY溶着剤					
6 リベットルーフ相互の接合	【溶剤による溶着／熱風溶接機による融着】					
7 リベットルーフとIHディスクの誘導加熱接合	【IHジョインター】でIHディスクとリベットルーフを誘導加熱接合					

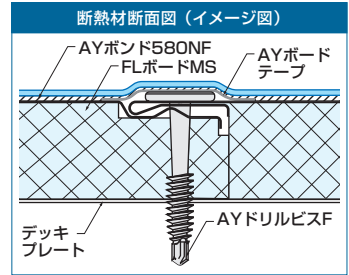
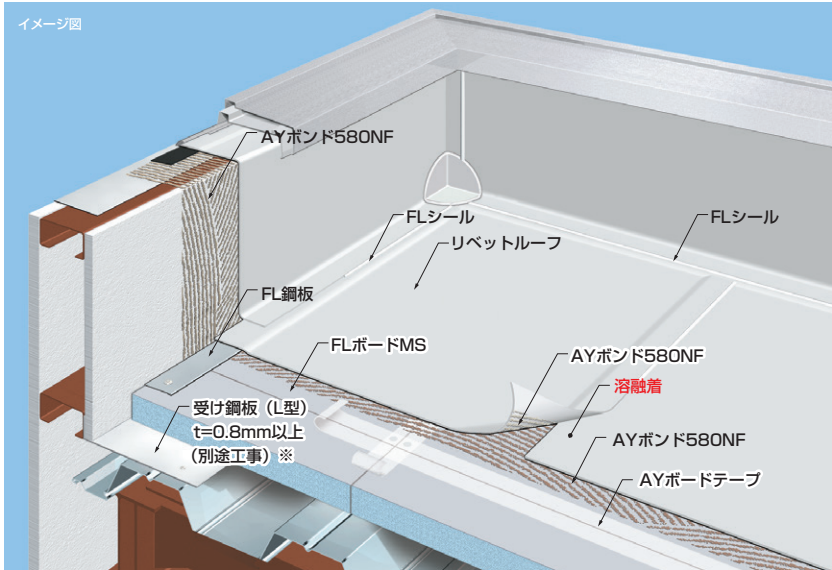
◆リベットルーフ接合端部の処理：FLシール




システムの注意事項


- 風荷重は建物の立地条件、建物高さ、部位や下地によって異なります。金属下地の場合には対応可能な範囲が設定されています。条件によっては本システムを採用いただけません場合があります。P73以降または耐風圧ガイドブックをご確認ください。
- 本工法を施工する場合、FL鋼板とIHディスクの下地への固定強度を確保できることが条件です。
- 断熱材を押し込むため、瓦棒のハゼの高さより厚い断熱材を使用してください。
- 瓦棒の形状により、断熱材の厚みとアンカーの固定方法が変わる場合がありますので、ご確認ください。
- シート厚さ1.5mmの代わりに2.0mmを使用する事も可能です。(ただし、2.0mmを使用しても歩行仕様にはなりません。)
- FLボードSの代わりに面材のないポリスチレンフォームを使用する場合は、絶縁シートとIHディスク緩衝スペーサーを使用してください。
- 既存瓦棒屋根が著しく腐蝕しているなど、劣化状況によっては、本システムを採用いただけない場合があります。

非歩行・LCS接着工法



※出入隅部の受け鋼板(L型)は0.8mm~1.2mmを使用すること。0.8mmの場合、FL鋼板はLCS工法用7穴品を使用すること。

システム記号	FFD-SGM15MS	FFD-COOL15MS	FFD-HP15MS
適応下地	耐火デッキプレート		
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフSGM (1.5mm)	リベットルーフCOOL (1.5mm)	リベットルーフHP (1.5mm)
歩行用途	 非歩行		
飛び火 認定 番号	DR-1623-1		
断熱材の厚さ 使用できる	総厚さ 25~150mm まで		

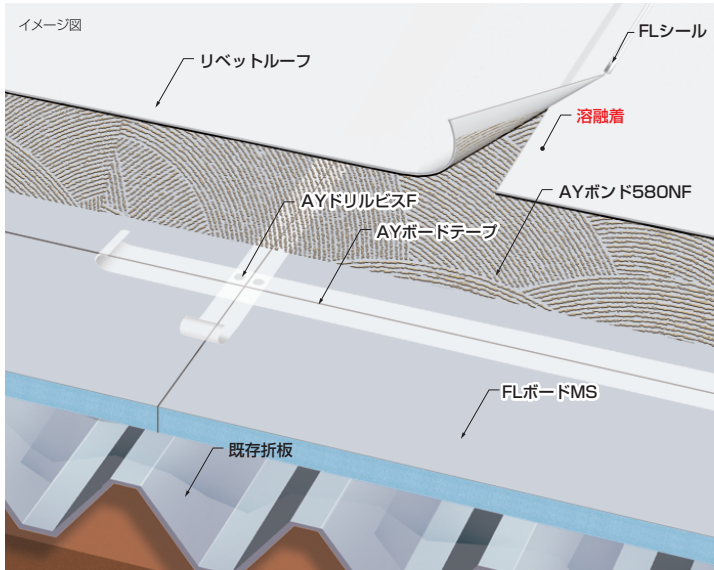
工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など		
1 断熱材敷設	FLボードMS		
2 断熱材の固定	AYドリルビスF (固定ピッチについてはP77を参照)		
3 断熱材接合部の処理	AYボードテープ		
4 入隅部 FL鋼板の固定	FL鋼板 FLアルミテープ アンカー類など		
5 接着剤の塗布	AYボンド580NF (FLボードMS表面、リベットルーフ裏面に塗布)		
6 リベットルーフの敷設	リベットルーフSGM	リベットルーフCOOL 	リベットルーフHP 
7 リベットルーフジョイント部の溶融着接合	【 溶剤による溶着 / 熱風溶接機による融着 】		

◆リベットルーフ接合端部の処理：FLシール

システムの注意事項

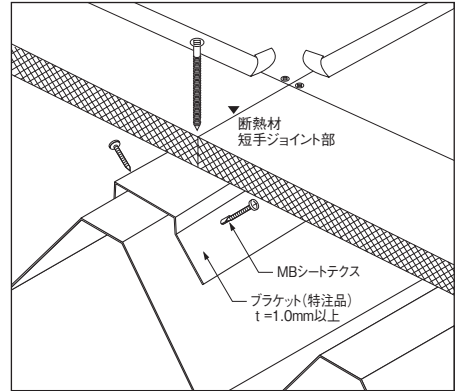
- 出入隅部には受け鋼板(L型)t=0.8mm以上が必要です。
- 下地デッキプレートの厚みは1.0mm以上とします。
- 断熱材は下地デッキプレートの山部分でジョイントするように施工してください。
- シート厚さ1.5mmの代わりに2.0mmを使用する事も可能です(ただし、2.0mmを使用しても歩行仕様にはなりません)。
- パラペット天端に捨て笠木が固定されていること。
- 立上りボード類・受け鋼板・捨て笠木は別途工事とします。
- 断熱パネル端部などには、遮炎性を満たす処置が必要です(別途工事)
- AYドリルビスFの固定ピッチは、耐風圧によって変わります(詳細はP73をご確認ください)。
- 屋根の出入口付近やタラップの昇降部付近は、断熱材の沈み込みや踏み抜きの対策が必要な場合がありますので、ご相談ください。
- 入隅のFL鋼板はデッキに固定できない場合、受け鋼板に固定してください。
- リベットルーフSWを使用する事も可能です。

非歩行・LCS-R接着工法(折板屋根の改修)




ブラケット使用時イメージ

下地折板の厚みが1.0mm未満の場合や下地の劣化が進行している場合など、施工条件によっては下地に専用ブラケットを用います。



折板の形状によりブラケットの形状が変わる場合があります。

システム記号	FD-SGM15MS	FD-COOL15MS	FD-HP15MS
適応下地	折板屋根 (改修)		
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフSGM (1.5mm)	リベットルーフCOOL (1.5mm)	リベットルーフHP (1.5mm)
歩行用途	 非歩行		

工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など		
1 断熱材敷設	(必要に応じて専用ブラケット設置と固定) FLボードMS		
2 断熱材の固定	AYドリルビスF		
3 断熱材の接合部の処理	AYボードテープ		
4 入隅部 FL鋼板の固定	FL鋼板 FLアルミテープ アンカー類など		
5 接着剤の塗布	AYボンド580NF (FLボードMS表面、リベットルーフ裏面へ塗布)		
6 リベットルーフの敷設	リベットルーフSGM	リベットルーフCOOL 	リベットルーフHP 
7 リベットルーフジョイント部の溶融着接合	【 溶剤による溶着 / 熱風溶接機による融着 】		

◆リベットルーフ接合端部の処理：FLシール

システムの注意事項

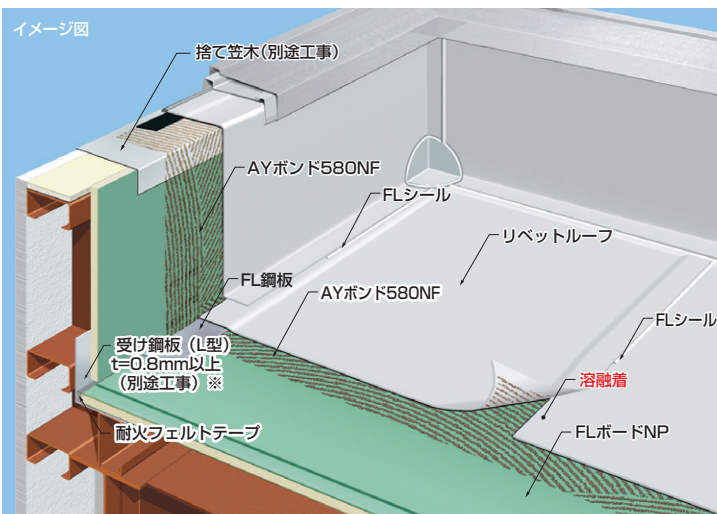
- シートの厚さ1.5mmの代わりに2.0mmを使用する事も可能です(ただし、2.0mmを使用しても歩行仕様になりません)。
- 屋根の出入口付近やタラップの昇降部付近は、断熱材の沈み込みや踏み抜きの対策が必要な場合がありますので、ご相談ください。
- 断熱材は下地折板の山部分でジョイントするように施工してください。
- 折板の形状により、断熱材の厚みとアンカーの固定方法が変わる場合がありますので、ご相談ください。
- 既存折板が著しく腐蝕しているなど、劣化状況によっては、本システムを採用いただけない場合があります。また、本システム採用時の断熱材固定ピッチはご相談ください。
- リベットルーフSWを使用する事も可能です。

非歩行・耐火断熱パネル下地防水工法


NPシステム接着工法

FLボードNP耐火番号

FP030RF-1971



※出入隅部の受け鋼板(L型)は0.8mm~1.2mmを使用すること。0.8mmの場合、FL鋼板はLCS工法用7穴品を使用すること。

システム記号	FFD-SGM15NP	FFD-COOL15NP	FFD-HP15NP
適応下地	耐火断熱パネル下地		
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフSGM (1.5mm)	リベットルーフCOOL (1.5mm)	リベットルーフHP (1.5mm)
歩行用途	 非歩行		

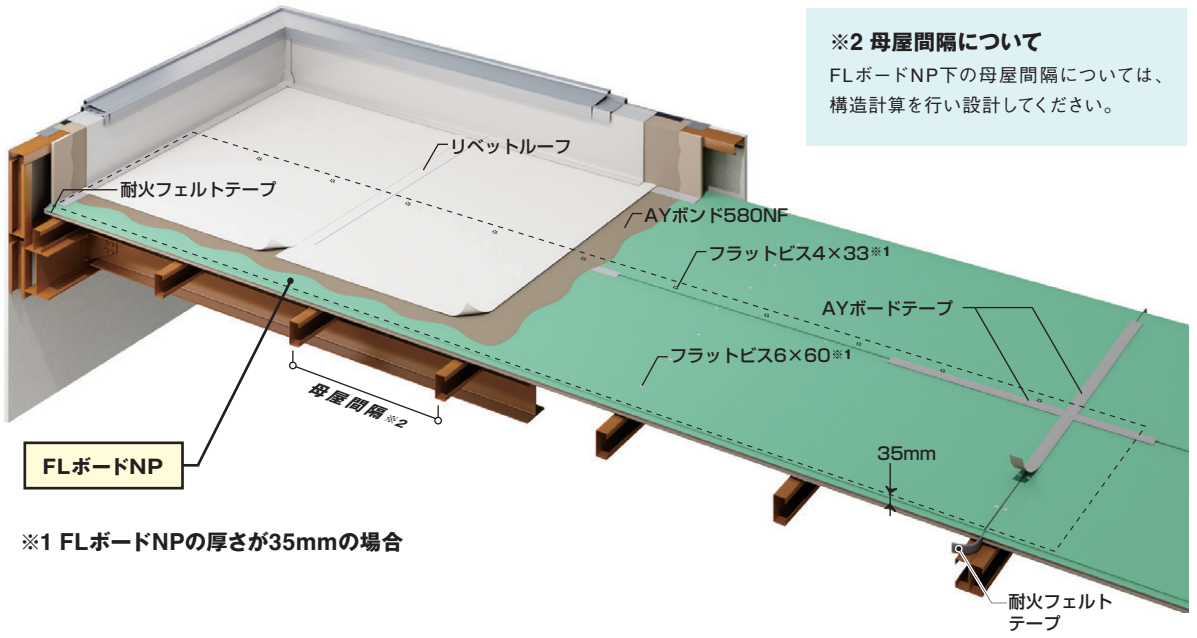
工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など		
1 断熱パネル敷設・固定	FLボードNP 耐火フェルトテープ(断熱材短辺接合部に使用) AYボードテープ(FLボードNPジョイント部に貼付け)		施工イメージは右図参照
2 FL鋼板の固定	FL鋼板 アンカー類 FLアルミテープなど		
3 下地への接着剤塗布	AYボンド580NF		
4 リベットルーフへの接着剤塗布	AYボンド580NF		
5 リベットルーフの敷設	リベットルーフSGM	リベットルーフCOOL <small>高反射シート</small>	リベットルーフHP <small>高耐久シート</small>
6 リベットルーフ相互の接合	【 溶剤による溶着 / 熱風溶接機による融着 】		

◆リベットルーフ接合端部の処理：FLシール

システムの注意事項

- 出入隅部には受け鋼板(L型)t=0.8mm以上が必要です。
- シート厚さ1.5mmの代わりに2.0mmを使用する事も可能です(ただし、2.0mmを使用しても歩行仕様にはなりません)。
- パラペット天端に捨て笠木が固定されていること。
- 立上りボード類・捨て笠木は別途工事とします。
- 断熱パネル端部などには、遮炎性を満たす処置が必要です。(別途工事)
- 入隅のFL鋼板は母屋に固定してください。母屋に固定できない場合は、受け鋼板に固定してください。
- FLボードNP下の母屋間隔については、構造計算を行い設計してください。
- リベットルーフSWを使用する事も可能です。

【 FLボードNP設置イメージ図 】

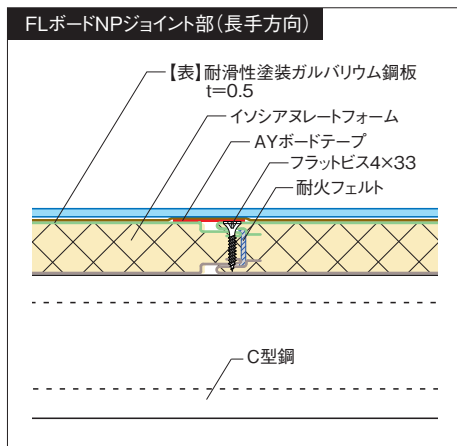
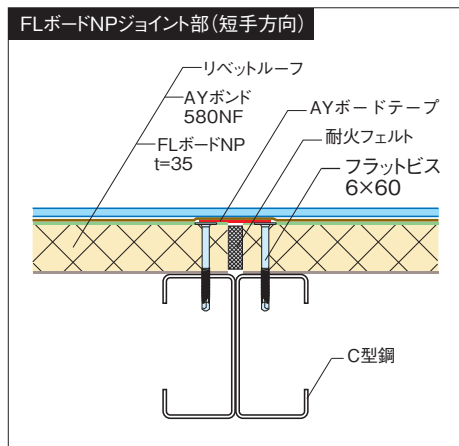


※2 母屋間隔について

FLボードNP下の母屋間隔については、構造計算を行い設計してください。

※1 FLボードNPの厚さが35mmの場合

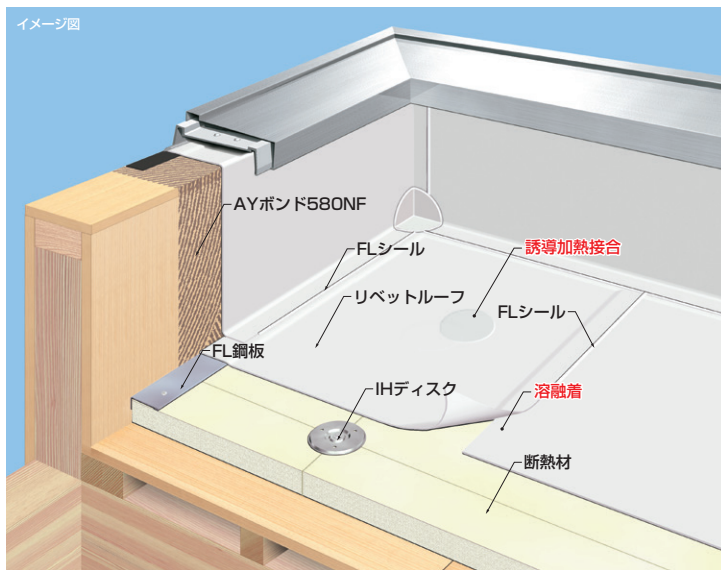
【接着工法】



[木・ボード下地防水工法]

非歩行・アンカー固定断熱工法

イメージ図



※ システム図は野地板・支持部材ともに木製のイメージ図です。

システム記号	MIHW-SGM15/20NU	MIHW-SGM15/20S	MIHW-SW15/20NU	MIHW-SW15/20S
適応下地	木・ボード			
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフSGM (1.5mm/2.0mm)		リベットルーフSW (1.5mm/2.0mm)	
歩行用途	 非歩行			
飛び火 認定 番号	DR-1949(1)	DR-0243-1 ※絶縁シートGP必要	DR-1949(1)	DR-0243-1 ※絶縁シートGP必要
断熱材の厚さ 使用できる 総厚さ 25mm以上 150mmまで				

工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など		
1 断熱材敷設	FLボードNU (または、FLボードS) (FLボードSを用いる場合、絶縁シートGPが必要です)		
2 FL鋼板、IHディスク固定	FL鋼板 IHディスク アンカー類 FLアルミテープなど		
3 リベットルーフの敷設	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">リベットルーフSGM</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">リベットルーフSW</td> </tr> </table>	リベットルーフSGM	リベットルーフSW
リベットルーフSGM	リベットルーフSW		
4 リベットルーフとFL鋼板の溶着接合	AY溶着剤		
5 リベットルーフ相互の接合	【 溶剤による溶着 / 熱風溶接機による融着 】		
6 リベットルーフとIHディスクの誘導加熱接合	【IHジョインター】でIHディスクとリベットルーフを誘導加熱接合		

システムの注意事項

- 固定金具は、垂木・母屋に固定してください。
- 固定金具のピッチは、耐風圧によって変わります。
- シート厚さ1.5mmの代わりに2.0mmを使用することも可能です(ただし、2.0mmにしても歩行仕様にはなりません)。

システム記号	MIHW-COOL15/20NU	MIHW-COOL15/20S	MIHW-HP15/20NU	MIHW-HP15/20S
適応下地	木・ボード			
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフCOOL (1.5mm/2.0mm)		リベットルーフHP (1.5mm/2.0mm)	
歩行用途	 非歩行			
飛び火 認定 番号	DR-1949(1)	DR-0243-1 ※絶縁シートGP必要	DR-1949(1)	DR-0243-1 ※絶縁シートGP必要
断熱材の厚さ 使用できる 総厚さ 20mm以上 150mmまで				

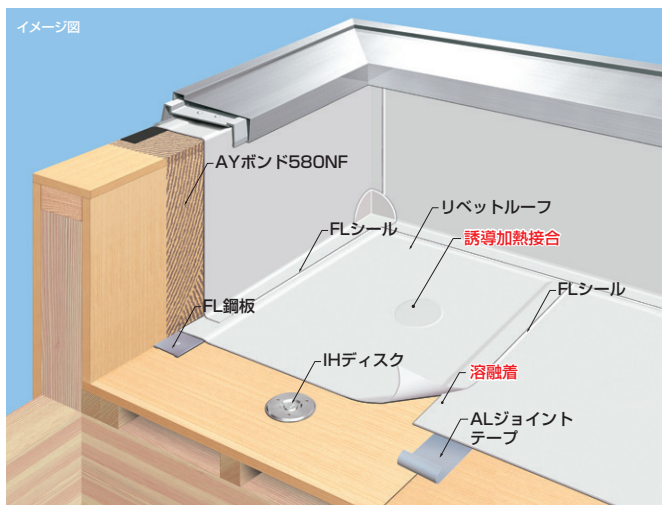
工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など			
1 断熱材敷設	FLボードNU (または、FLボードS) (FLボードSを用いる場合、絶縁シートGPが必要です)			
2 FL鋼板、 IHディスク固定	FL鋼板 IHディスク アンカー類 FLアルミテープなど			
3 リベットルーフの敷設	リベットルーフCOOL 高反射シート		リベットルーフHP 高耐久シート	
4 リベットルーフと FL鋼板の溶着接合	AY溶着剤			
5 リベットルーフ 相互の接合	【 溶剤による溶着 / 熱風溶接機による融着 】			
6 リベットルーフと IHディスクの 誘導加熱接合	【IHジョインター】でIHディスクとリベットルーフを誘導加熱接合			

◆リベットルーフ接合端部の処理：FLシール

[木・ボード下地防水工法]

非歩行/歩行・アンカー固定工法

イメージ図



システム記号	MIHW-SGM15/20	MIHW-SW15/20	MIHW-COOL15/20	MIHW-HP15/20
適応下地	木・ボード			
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフSGM (1.5mm/2.0mm)	リベットルーフSW (1.5mm/2.0mm)	リベットルーフCOOL (1.5mm/2.0mm)	リベットルーフHP (1.5mm/2.0mm)
歩行用途	非歩行 ▶ 各種1.5mm / 歩行 ▶ 各種2.0mm 選択 シートの厚さで用途が変わります			
飛び火認定番号	DR-1934(2)			

工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など			
1 FL鋼板、IHディスク固定	ALジョイントテープ FL鋼板 IHディスク アンカー類 FLアルミテープなど (改修工事の場合、既存下地の上に絶縁シートの敷設が必要です。)			
2 リベットルーフの敷設	リベットルーフSGM	リベットルーフSW	リベットルーフCOOL <small>高反射シート</small>	リベットルーフHP <small>高耐久シート</small>
3 リベットルーフとFL鋼板の溶着接合	AY溶着剤			
4 リベットルーフ相互の接合	【 溶剤による溶着 / 熱風溶接機による融着 】			
5 リベットルーフとIHディスクの誘導加熱接合	【IHジョインター】でIHディスクとリベットルーフを誘導加熱接合			

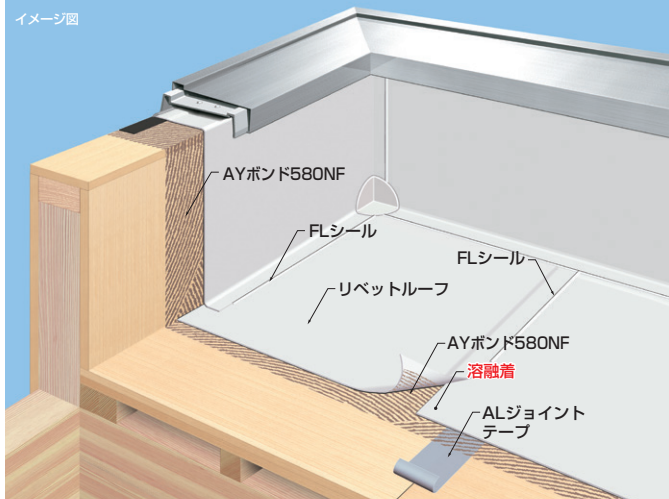
システムの注意事項

◆リベットルーフ接合端部の処理：FLシーラー

- 改修工事の場合、既存下地とリベットルーフとの間に絶縁シートが必要です。
 - 木・ボードの目地部にはALジョイントテープが必要です。
 - 固定金具は、垂木・母屋に固定してください。
 - 固定金具のピッチは、耐風圧によって変わります。
- ※ 歩行仕様の場合は、歩行可能な構造であるか確認してください。

[木・ボード下地防水工法]

非歩行／歩行・接着工法



システム記号	FW-SGM15/20	FW-COOL15/20	FW-HP15/20
適応下地	木・ボード		
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフSGM (1.5mm/2.0mm)	リベットルーフCOOL (1.5mm/2.0mm)	リベットルーフHP (1.5mm/2.0mm)
歩行用途	非歩行 ▶ 各種1.5mm / 歩行 ▶ 各種2.0mm		選択 シートの厚さで用途が変わります
飛び火認定番号	DR-1934(2)		

工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など		
1 下地面への 接着剤塗布	ALジョイントテープ 下地面にAYボンド580NFの塗布		
2 リベットルーフへの 接着剤塗布	リベットルーフ裏面にAYボンド580NFの塗布		
3 リベットルーフの 敷設	リベットルーフSGM	リベットルーフCOOL <small>高反射シート</small>	リベットルーフHP <small>高耐久シート</small>
4 リベットルーフ 相互の接合	【 溶剤による溶着／熱風溶接機による融着 】		

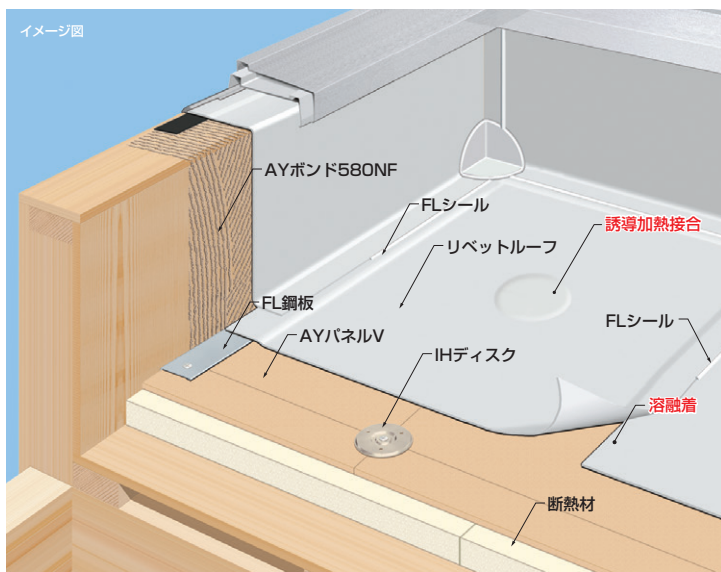
システムの注意事項

◆リベットルーフ接合端部の処理：FLシール

- 木・ボードの目地部にはALジョイントテープが必要です。
 - 下地と垂木・金属垂木の規格によって、飛び火認定番号が変わります。
 - リベットルーフSWを使用する事も可能です。
- ※ 歩行仕様の場合は、歩行可能な構造であるかをご確認ください。

[木・ボード下地防水工法]

歩行・アンカー固定断熱工法



コリドール コリドールを採用した一般歩行
一般歩行 仕様はP35参照。
可能

※ システム図は野地板・支持部材ともに木製のイメージ図です。

システム記号	MIHW-SGM20NUV	MIHW-SGM20SV	MIHW-SW20NUV	MIHW-SW20SV
適応下地	木・ボード			
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフSGM (2.0mm※歩行仕様のため左記の厚さのみ)		リベットルーフSW (2.0mm※歩行仕様のため左記の厚さのみ)	
歩行用途	 歩行			
飛び火 認定 番号	DR-1968(1)	DR-1964(1)	DR-1968(1)	DR-1964(1)
断熱材の 厚さ	総厚さ 25~150mm			

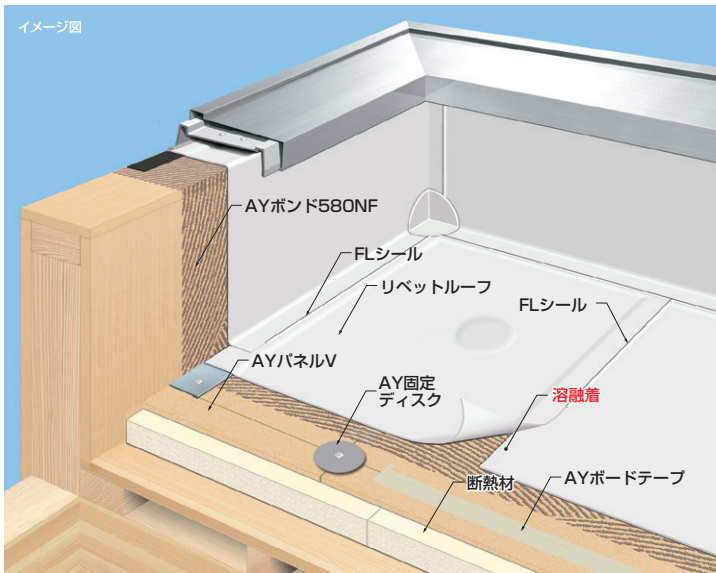
工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など			
1 断熱材の敷設	FLボードNU	ポリスチレンフォーム3種	FLボードNU	ポリスチレンフォーム3種
2 歩行用パネルの敷設	AYパネルV			
3 FL鋼板、 IHディスク固定	FL鋼板 IHディスク アンカー類 FLアルミテープなど			
4 リベットルーフ敷設	リベットルーフSGM		リベットルーフSW	
5 リベットルーフと FL鋼板の溶着接合	AY溶着剤			
6 リベットルーフ 相互の接合	【溶剤による溶着／熱風溶接機による融着】			
7 リベットルーフと IHディスクの 誘導加熱接合	【IHジョインター】でIHディスクとリベットルーフを誘導加熱接合			

システムの注意事項

- 固定金具は、垂木・母屋に固定してください。
 - 固定金具のピッチは、耐風圧によって変わります。
- ※歩行可能な構造であるか確認してください。


[木・ボード下地防水工法]

歩行・接着断熱工法



コリドール コリドールを採用した一般歩行
一般歩行 仕様はP35参照。
可能

※ システム図は野地板・支持部材ともに木製のイメージ図です。

システム記号	FW-SGM20NUV	FW-SGM20SV	FW-COOL20NUV
適応下地	木・ボード		
使用リベットルーフ (シートの厚さ)	リベットルーフSGM (2.0mm※歩行仕様のため左記の厚さのみ)		リベットルーフCOOL (2.0mm※歩行仕様のため左記の厚さのみ)
歩行用途	 歩行		
飛び火 認定 番号	DR-1968(1)	DR-1964(1)	DR-1968(1)
断熱材の厚さ 使用できる 総厚さ 25mm以上 150mmまで			

工程(平場部)	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など		
1 断熱材敷設	FLボードNU	ポリスチレンフォーム3種	FLボードNU
2 歩行パネルの敷設	AYパネルV		
3 固定用金具の 設置・固定	FL鋼板 AY固定ディスク アンカー類 AYボードテープなど		
4 接着剤の塗布	AYボンド580NF 【AYパネルV表面に塗布】		
5 接着剤の塗布	AYボンド580NF 【リベットルーフ裏面に塗布】		
6 リベットルーフ敷設	リベットルーフSGM		リベットルーフCOOL <small>高反射シート</small>
7 リベットルーフと FL鋼板の溶着接合	AY溶着剤		
8 リベットルーフ 相互の接合	【溶剤による溶着 / 熱風溶接機による融着】		

システムの注意事項

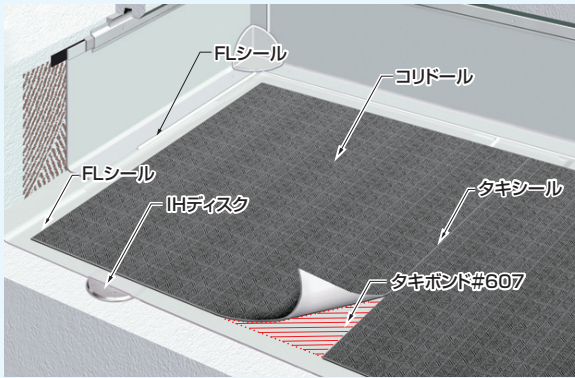
- 固定金具は、垂木・母屋に固定してください。
- 固定金具のピッチは、耐風圧によって変わります。
- リベットルーフSWを使用する事も可能です。

※ 歩行可能な構造であるか確認してください。



一般歩行用途に

リベツトルーフ防水 プラス コリドール仕上げ工法



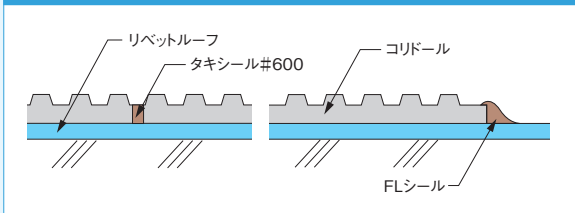
防滑性保護材「コリドール」を追加することで、一般歩行仕様に変更する事が可能です。追加可能なシステムについては各システムの掲載ページ、ならびに本ページ下部をご確認ください。

このマークをご確認ください

コリドール
一般歩行
可能

各システムの掲載ページで、左のマークがあれば、コリドールを追加可能です。
※ただし、使用可能シートが限られる場合があります。

コリドール接合部・端部処理



工程	使用する主要な製品・部材、施工上の注意点など
+1	リベツトルーフ施工完了後、接着剤の塗布
+2	コリドールの貼り込み
+3	コリドール接合部に継ぎ目用シール材 端部に端部用シール材を打設

システムの注意事項

- リベツトルーフ防水に本工法を組み合わせることで、一般歩行仕様になります。対応可能なリベツトルーフのシステムを選定してください。
- コリドールの色・柄についてはP54または「コリドールカタログ」をご覧ください。
- 敷設するコリドールの幅などについては、施工状況により異なります。

継ぎ目用シール材：タキシール#600
端部用シール材：FLシール

コリドール追加可能システム一覧

下地	工法	断熱仕様	システム記号
R C C P C C P C C 下地	固定 工法	非断熱	MIH-SGM15/20など
		断熱	MIH-SGM20NUV、MIH-SGM20SVなど
	接着 工法	非断熱	F-SGM15/20など
		断熱	F-SGM20NUV、F-SGM20SVなど
木 ・ ポ ー ド 下地	固定 工法	非断熱	MIHW-SGM15/20など
		断熱	MIHW-SGM20NUV、MIHW-SGM20SVなど
	接着 工法	非断熱	FW-SGM15/20など
		断熱	FW-SGM20NUV、FW-SGM20SVなど



コリドール

YMX(遮熱・赤外線反射タイプ)・
YRA・YNA・YMR・YLB・YMT

■ 飛び火認定番号について

コリドールを追加する場合、別途飛び火認定番号が必要となる場合があります。取得状況についてはお問い合わせください。

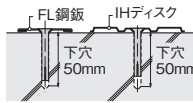
● 詳しくはコリドールカタログをご覧ください。

リベットルーフ防水システムのアンカー選定基準

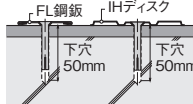
使用アンカーについては、下地の種別、取付け物厚さ、下地の強度を十分に確認してから、最適なアンカーを選定し使用してください。アンカーの選定を誤ると、所定の強度が得られず、風圧力によって防水システムに不具合が生じる場合があります。

FLアンカー 下穴径(ドリル径) φ: 6.5mm

- PCa部材
- コンクリート
- × ALCパネル
- × 断熱工法への適用

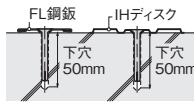


取付最大厚: 10mm以下
FLアンカー: 40mm
下穴深さ: 50mm

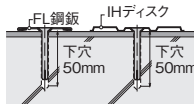


ASアンカー-N 下穴径(ドリル径) φ: 6.0mm

- PCa部材
- コンクリート
- × ALCパネル
- × 断熱工法への適用



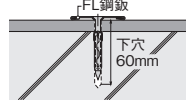
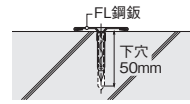
取付最大厚: 10mm以下
ASアンカー-N: 43mm
下穴深さ: 50mm



FLφ6樹脂アンカー 下穴径(ドリル径) φ: 6.0mm

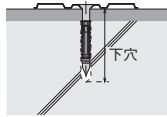
- PCa部材
- コンクリート
- × ALCパネル
- × 断熱工法への適用

取付最大厚: 5mm未満
ステンレスビス: 40mm
下穴深さ: 50mm



※IHディスクの固定には用いません。

AY樹脂アンカー 下穴径(ドリル径) φ: 8.5mm RC下地 ※樹脂アンカー径φ: 8.0mm

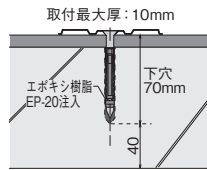
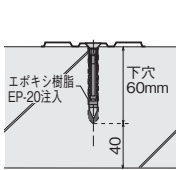


取付最大厚	5mm未満	~10mm	11mm ~30mm	31mm ~40mm	41mm ~55mm	56mm ~70mm	71mm ~100mm	101mm ~120mm
ステンレスビス	50mm	60mm	80mm	90mm	105mm	120mm	150mm	170mm
下穴深さ	60mm	70mm	90mm	100mm	115mm	130mm	160mm	180mm

AY樹脂アンカー 下穴径(ドリル径) φ: 8.5mm ALCパネル下地 ※樹脂アンカー径φ: 8.0mm

取付最大厚: 5mm以下
ステンレスビス: 50mm
下穴深さ: 60mm

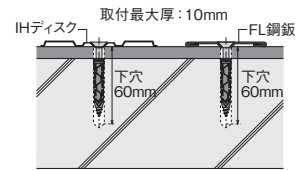
取付最大厚: 10mm以下
ステンレスビス: 60mm
下穴深さ: 70mm



- 注意事項!
- 下穴を開ける際は、必ず回転ドリルを使用し、ハンマードリル及び振動ドリルは使用しないでください。ハンマードリルや振動ドリルを使うとALCパネルが破損する恐れがあります。打撃・回転切替スイッチがあるハンマードリル・振動ドリルを使用する場合は、回転のみのモードにして使用してください。
 - エポキシ樹脂EP-20を注入してください。
 - ALCパネルの厚さが100mm未満の場合は、原則として施工不可。

AYφ6.5樹脂アンカー 下穴径(ドリル径) φ: 6.5mm RC下地 ※樹脂アンカー径φ: 6.0mm

取付最大厚: 10mm以下
ステンレスビス: 50mm
下穴深さ: 60mm



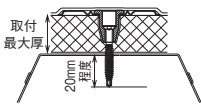
DPアンカー (金属下地専用: LCS工法用)

- 金属下地
- 断熱工法への適用

● IH断熱ディスクに用いる場合

DPアンカーの長さ	50mm	60mm	75mm	60mm	75mm	90mm	105mm		
チューブワッシャー長	26mm								
チューブワッシャー仕様の取付最大厚(改修時は既存防水層及び既存断熱材含む)	30mm	35mm	40mm	50mm	60mm	70mm	80mm	90mm	100mm

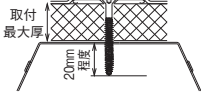
- ※改修の場合、表中の断熱材の厚さは、既存防水層及び既存断熱材に新規に敷設する断熱材の厚さの合計値となります。
- ※チューブワッシャーを用いた場合ビス頭がディスク面より下がるため「FL鋼板に用いる場合」の表に記載されている取付最大厚とは数値が異なります。
- ※金属下地の厚さは、1.0mm以上1.6mm以下
- ※(株)佐渡島製デッキプレート「サドシマZルーフI型-II型」の場合、アンカーの選定が異なりますので、ご相談ください。



● 平場部に設置する補強用FL鋼板に用いる場合

DPアンカーの長さ	75mm	90mm	105mm	120mm	特注DPアンカー(注)				
取付最大厚	30mm	35mm	40mm	50mm	60mm	70mm	80mm	90mm	100mm

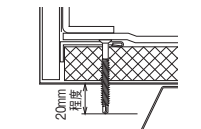
- ※改修の場合、表中の取付最大厚は、既存防水層、既存断熱材、新規に敷設する断熱材の合計値となります。
- ※金属下地の厚さは1.0mm以上、1.6mm以下
- ※(株)佐渡島製デッキプレート「サドシマZルーフI型-II型」の場合、アンカーの選定が異なりますので、ご相談ください。
- (注)特注DPアンカーについては、納期、ロットともに要相談となります。



● 入隅FL鋼板に用いる場合

DPアンカーの長さ	25mm	50mm	60mm	75mm	90mm	105mm	120mm
取付最大厚	5mm	30mm	40mm	55mm	70mm	85mm	100mm

※金属下地の厚さは、1.0mm以上1.6mm以下

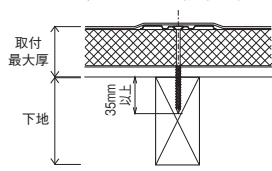


タップコン (木・ボード下地専用)

- 木下地
- 断熱工法への適用

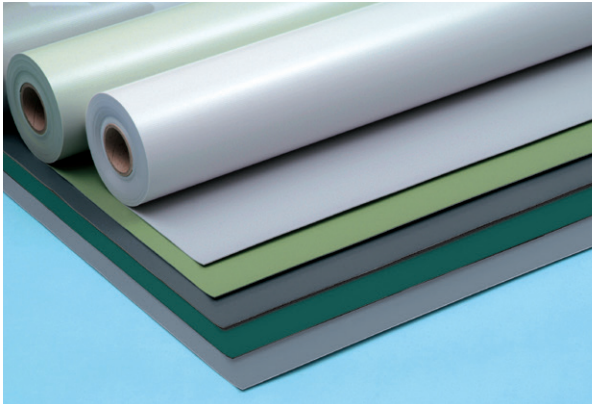
直径	6mm		
長さ	50mm	75mm	100mm
取付最大厚	15mm	40mm	65mm

● 木・ボード下地防水工法



ドライバービット対応表

+3号	・AY樹脂アンカー
+2号	・AYφ6.5樹脂アンカー ・FLφ6樹脂アンカー ・DPアンカー(L=25mm)
□3号	・DPアンカー(L=50mm~) ・タップコン



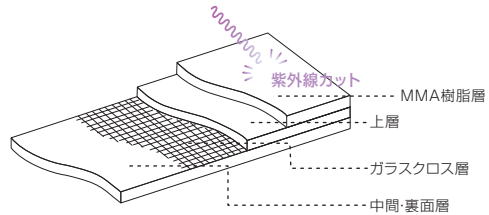
紫外線を遮断するMMA樹脂層を積層しているため、長期の変退色がほとんどありません。ガラスクロス積層で寸法安定性に優れているなど、アンカー固定工法に適します。また、耐熱性能に優れているため、熱の影響を受けやすい断熱工法にも適しています。

リベットルーフSGM

JIS A 6008 認証品

塩ビ樹脂系シート

規格	厚さ (mm)	幅×長さ (m)	重量 (kg/本)
	1.5	1.2×10	27
2.0	1.2×10	35	
適合	JIS A 6008 一般複合タイプ		
色	ライトグレー #401 ライトグリーン #402 グレー #403 グリーン #405 スカイグレー #406		



リベットルーフCOOL

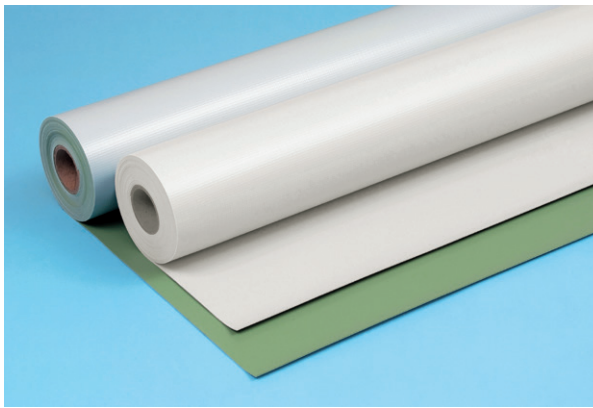
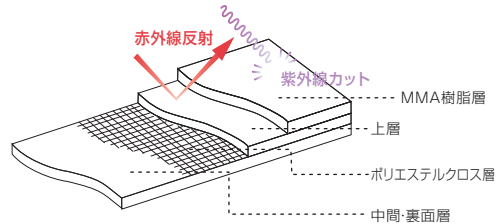
JIS A 6008 認証品

太陽光高反射塩ビ樹脂系シート

規格	厚さ (mm)	幅×長さ (m)	重量 (kg/本)
	1.5	1.2×10	27
2.0	受注生産品	1.2×10	35
適合	JIS A 6008 補強複合タイプ		
色	パールライト #801 ライトグリーン #802 受注生産品		
性能	パールライト #801 日射反射率	近赤外域(780~2500nm) 71.4% 全波長域(300~2500nm) 64.4%	
	ライトグリーン #802 日射反射率	近赤外域(780~2500nm) 60.0% 全波長域(300~2500nm) 41.2%	
必要性能:近赤外域の日射反射率50%以上*1 上記は検証時の測定値*2であり、保証値ではありません			

*1 合成高分子系ルーフィング工業規格「高反射率防水シート」による

*2 試験方法はJIS K 5602:2008に準じる

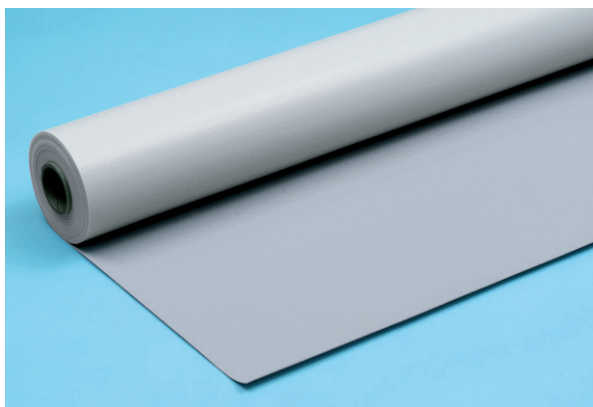


 **グッドデザイン賞受賞製品**

グリーン購入法 (高日射反射率防水) に適用

リベットルーフCOOLは、太陽光を効率よく反射し屋上スラブへの蓄熱を軽減させます。特殊顔料(着色剤)を配合しているため、赤外線波長領域の光を効率良く反射します。また、ポリエステル樹脂製の補強クロスを積層しているため、優れた寸法安定性、引張・引裂性能を実現します。

受注生産品 マークのあるリベットルーフの納期については、お問い合わせください。



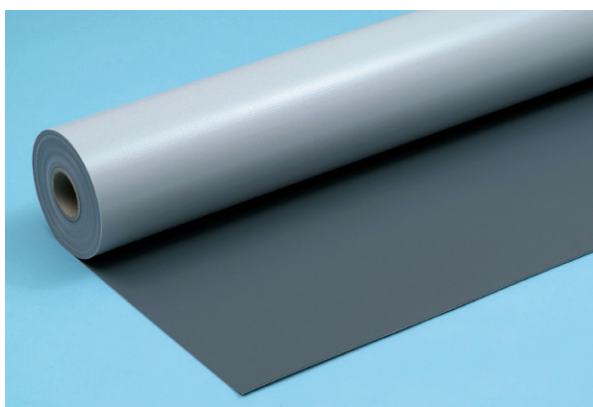
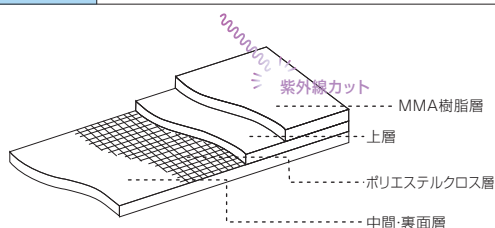
紫外線を遮断するMMA樹脂層を積層しているため、長期の変退色が少なく、また耐熱性能に優れています。ポリエステル樹脂製の補強クロスが積層されているため、優れた引張・引裂強度を実現。特に柔軟性に優れ、繰り返し疲労に対して優れた性能を示しており、LCS工法に適しています。

リベットルーフSW

JIS A 6008 認証品

塩ビ樹脂系シート

規格	厚さ (mm)	幅×長さ (m)	重量 (kg/本)
	1.5	1.2×10	27
2.0	1.2×10	35	
適合	JIS A 6008 補強複合タイプ		
色	ライトグレー #401 *その他の色は 受注生産品		



リベットルーフHPは、高品質の副資材を組み合わせることで実現できた高耐久防水システム専用の防水シートです。紫外線や熱による物性の変化が少ない高耐久グレード品です。

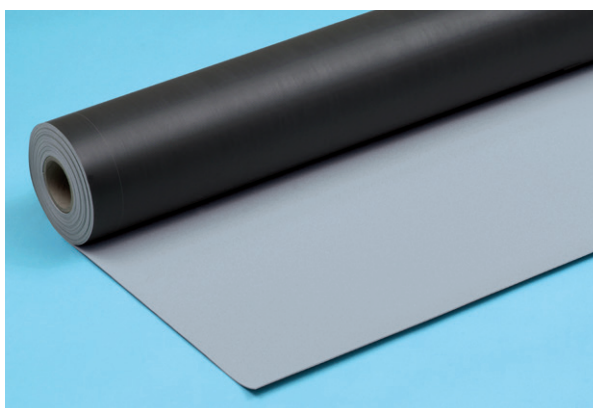
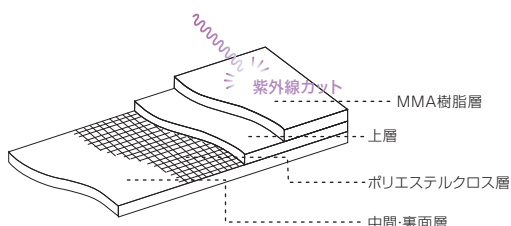
リベットルーフHP

JIS A 6008 認証品

高耐久塩ビ樹脂系シート

受注生産品

規格	厚さ (mm)	幅×長さ (m)	重量 (kg/本)
	1.5	1.2×10	27
2.0	1.2×10	35	
適合	JIS A 6008 補強複合タイプ		
色	グレー #403		



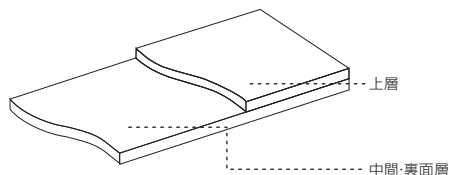
リベットルーフナインは、引張・引裂強度、寸法安定性、耐摩耗性に優れているなど、耐久性に優れており、接着工法に適しています。

リベットルーフナイン

JIS A 6008 認証品

塩ビ樹脂系シート

規格	厚さ (mm)	幅×長さ (m)	重量 (kg/本)
	1.5	1.2×10	29
2.0	1.2×10	37	
適合	JIS A 6008 一般複合タイプ		
色	ライトグレー #201		





絶縁シート

ポリエチレン繊維補強発泡シート

規格	厚さ (mm)	幅×長さ (m)
	1.0	1.2×100

劣化した既存防水層からリペットルーフを保護。また、リペットルーフと発泡ポリスチレン系断熱材との絶縁のためにも使用。



アルミ箔付き絶縁シートN

アルミ箔付きポリエチレンクロス **受注生産品**

規格	厚さ (mm)	幅×長さ (m)
	1.0	1.0×100

探傷検査用の絶縁シート。



絶縁シートGP

受注生産品

ポリエチレンフィルム付きガラスクロス

規格	厚さ (mm)	幅×長さ (m)
	0.18	1.0×50

断熱工法においてリペットルーフの延焼防止に使用。



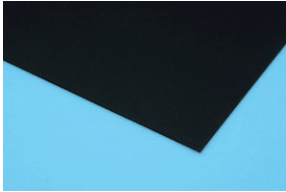
防湿フィルム

受注生産品

ポリエチレンフィルム

規格	厚さ (mm)	幅×長さ (m)
	0.15	2.0×50

改修工事の断熱工法の際、既存下地からの湿気を防止するために使用。



AYオーバーシート

受注生産品

防水層保護用軟質塩ビシート

規格	厚さ	幅×長さ
	1.0mm	1,030mm×25m

保護コンクリート仕様における防水層保護用シート。



PPジョイントテープ

ポリプロピレン製粘着テープ

規格	幅50mm×長さ100m
----	--------------

断熱材、絶縁シート、ALCパネルのジョイント処理。



ALジョイントテープ

受注生産品

アルミテープ

規格	幅50mm×50m巻
----	------------

アルミ箔付き絶縁シートNのジョイント処理、LCSドレン廻りの断熱材勾配調整部分、木・ボード下地の目地処理などに使用。

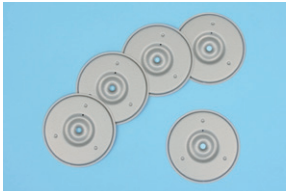


AYボードテープ

ポリエチレン製粘着テープ

規格	幅 (mm)	長さ (m)
	50	50

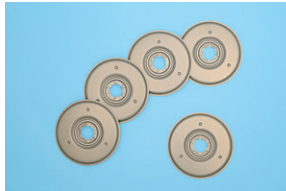
断熱材ジョイント部処理などに使用。



IHディスク

接着層付ステンレスディスク

規格	厚さ0.65mm×直径86mm
穴径	φ6.5 通常
	φ3.0 エアガン用
梱包	50個/袋



IH断熱ディスク

接着層付ステンレスディスク

規格	厚さ0.65mm×直径86mm
穴径	17mm
梱包	50個/袋

LCS工法またはLCS-R工法に使用。
※チューブワッシャーとチューブクッションを組み合わせて使用。



FLディスクN

塩ビ被覆高耐食鋼板ディスク

規格	厚さ1.0mm×直径86mm
梱包	50個/袋

FLディスク工法専用。



FL断熱ディスク

塩ビ被覆高耐食鋼板ディスク

規格	厚さ1.0mm×直径86mm
穴径	17mm
梱包	50個/袋

LCS工法またはLCS-R工法専用の後付けディスク。補修、補強工事に使用。
※チューブワッシャーとチューブクッションを組み合わせて使用。



IHディスク緩衝スペーサー

緩衝スペーサー

規格	厚さ1.0mm×直径110mm
梱包	200枚/袋

断熱工法でポリスチレンフォームを使用する場合に使用。



AY固定ディスク

ステンレス鋼板ディスク

厚さ	0.8mm
直径	80mm
梱包	50個/袋

AYパネルVを用いた接着工法などにおいて断熱材を下地に固定する専用固定金具。



ディスクパッチN

塩ビ成形加工品

規格	厚さ1.5mm×直径176mm
色	リペットルーフ標準色、#801
梱包	50枚/袋

FLディスクN増張り用。



チューブワッシャー

樹脂製スリーブ

寸法	長さ26/46mm
材質	ポリアミド樹脂
梱包	50個/袋



チューブクッション

樹脂製バックカー

寸法	長さ11/30mm
材質	ポリエチレン
梱包	50個/袋



AYボンド580NF

ニトリルゴム系接着剤

容量	15kg/缶
施工量の目安	25~30m ² /缶
塗布量の目安	両面塗布:0.5Kg/m ² シート裏面:0.25Kg/m ² 下地面:0.25Kg/m ²

リベットルーフ専用の接着剤。
JIS F☆☆☆☆認定取得



AYボンド800

水性アクリル系接着剤

容量	13kg/プラスチック缶
施工量の目安	27~32m ² /缶
塗布量の目安	片面塗布:0.4kg/m ² (下地面0.4kg/m ²)
適応下地	RC、PC、PCa、ALC

リベットルーフ専用の環境配慮型水性アクリル系接着剤。
JAIA F☆☆☆☆認定取得



AYボンド600

アクリル系エマルジョンタイプ接着剤

容量	10kg/缶
施工量の目安	片面塗布:350~500m ² /組
梱包	2缶/組

絶縁シートなどの仮止め用接着剤。
JAIA F☆☆☆☆認定取得



ボンドエフレックス

弾性エポキシ樹脂系接着剤

容量	333ml/本
外觀	ペースト状
色	グレー
比重	1.40
梱包	10本/箱

水廻り役物処理用接着剤。常温で硬化型。
JAIA F☆☆☆☆認定取得



AYボンド100

変成シリコン系マステック接着剤

容量	333ml/本
色	ホワイト
塗布量の目安	M-6の場合(3.0mm×10.0mm)
	10m/本
	10.0mm×15.0mmの場合
	2m/本
梱包	10本/箱(プライマー同梱)

簡易水切M-6の接着及びFL鋼板の固定補助。
湿気硬化型。

JAIA F☆☆☆☆認定取得



AYボンド500NF

受注生産品

クロロプレンゴム系接着剤

容量	主剤	添加剤
	15kg/缶	1kg/缶
配合比(重量比)	15(1缶)	0.5(0.5缶)
施工量の目安	20~30m ² /セット	
塗布量の目安	両面塗布:0.5Kg/m ² (断熱材表面:0.25Kg/m ²) (断熱材裏面:0.25Kg/m ²)	

ポリエチレンフォーム用接着剤。
※砂骨ローラー塗りの為、目安より多く塗布されます。



ネダジャンボ

受注生産品

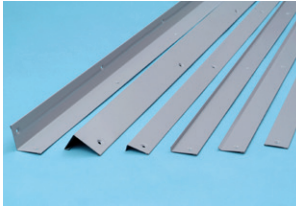
ウレタン樹脂系接着剤

容量	850ml(1,300g)/本
塗布量の目安	断熱材10枚/本 (4点固定、1箇所32g程度)
梱包	12本/箱

アキレスボードGFのRC下地に対する接着などで使用。

JIS F☆☆☆☆認定取得
※専用ガンも別途販売。

FL鋼板



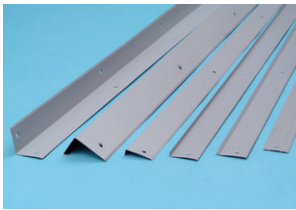
FL鋼板 ※ その他の形状も加工が可能です。(受注生産)

塩ビ被覆高耐食鋼板

規格	長さ	2,000mm
	厚さ	1.0mm (樹脂層0.3mm+ 高耐食めっき鋼板0.6mm+ 裏面樹脂層0.1mm)
原板規格	1,219mm×2,000mm 1,000mm×2,000mm	

▼印方向は、塩ビ被覆面を示す。

FLP-4 7穴/本 	FLP-100 10穴/本 受注生産品 	FLA-2N 7穴/本 	FLA-5N 5穴/本
FLA-6N 5穴/本 	FLA-7 12穴/本 	FLA-8RN 12穴/本 	FLA-13N 5穴/本
FLA-14R 5穴/本 	FLA-15 5穴/本 受注生産品 	FLP-4LCS LCS工法用 φ=1,795mm 7穴/本 	FLA-13LCS LCS工法用 7穴/本



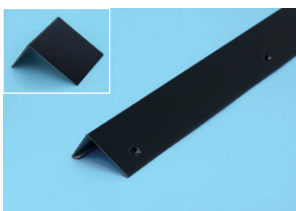
FLステンレス鋼板

塩ビ被覆ステンレス鋼板

規格	長さ	2,000mm
	厚さ	0.75mm (樹脂層0.25mm+ ステンレス鋼板0.5mm)

※ その他の形状の加工が可能です。
(受注生産)

			FLPS-4 7穴/本
FLAS-2 7穴/本 	FLAS-5 5穴/本 	FLAS-6 5穴/本 	FLAS-7 12穴/本 受注生産品
FLAS-8R 12穴/本 	FLAS-13 5穴/本 	FLAS-16 12穴/本 受注生産品 	FLAS-17 6穴/本 受注生産品



FL鋼板ブラック

塩ビ被覆高耐食鋼板

規格	長さ	2,000mm
	厚さ	1.0mm (樹脂層0.3mm+高耐食めっき鋼板0.6mm+ 裏面樹脂層0.1mm)
原板規格	1,219mm×2,000mm (厚さ1.0mm)	
色	ブラック	

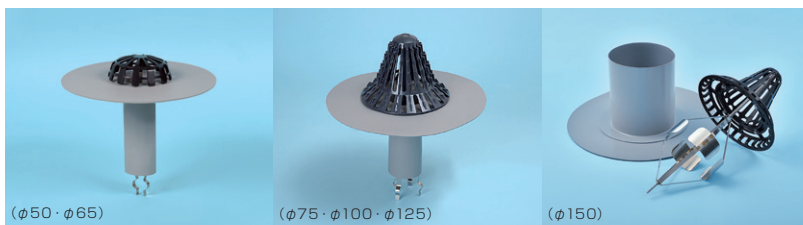
※ その他の形状の加工が可能です。(受注生産)

受注生産品

●引き締まった印象を生むFL鋼板ブラック



ルーフトレン (縦型)

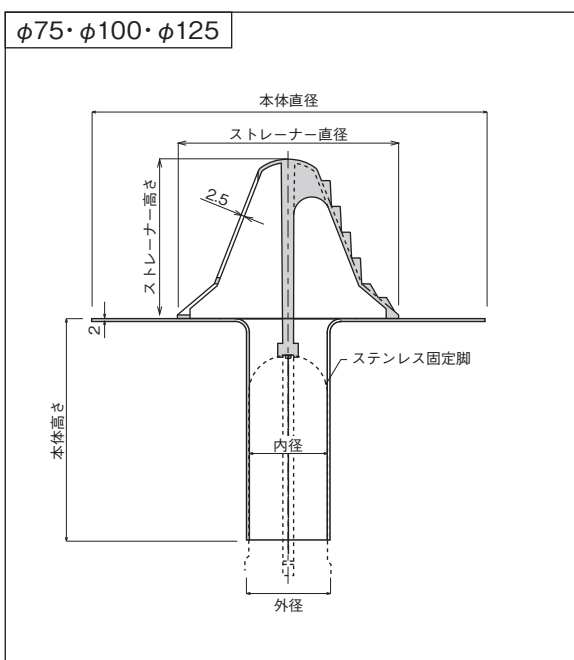
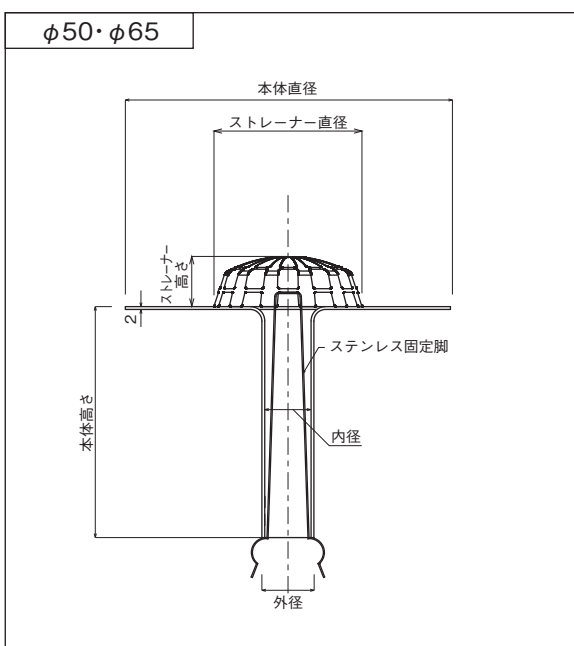


AYドレン 縦型

塩ビ成形ドレン

ドレン径	φ50	φ65	φ75	φ100	φ125	φ150
ドレン本体	塩ビ製					
外径	φ36.7mm	φ48.8mm	φ61mm	φ84.5mm	φ101.1mm	φ142mm
内径	φ30.7mm	φ44.8mm	φ55mm	φ78.5mm	φ97.1mm	φ138mm
本体直径	228mm	248mm	288mm	318mm	340mm	340mm
本体高さ	162mm					
ストレーナー	アルミダイキャスト製					
ストレーナー直径	φ105mm		φ160mm		φ190mm	
ストレーナー高さ	35mm		115mm		133mm	

※AYドレンはストレーナーとセットです。
 ※ストレーナーのみの発注も可能です。



AYドレン鋼板 (縦型)

塩ビ被覆鋼板 縦型ドレン用 (各径)

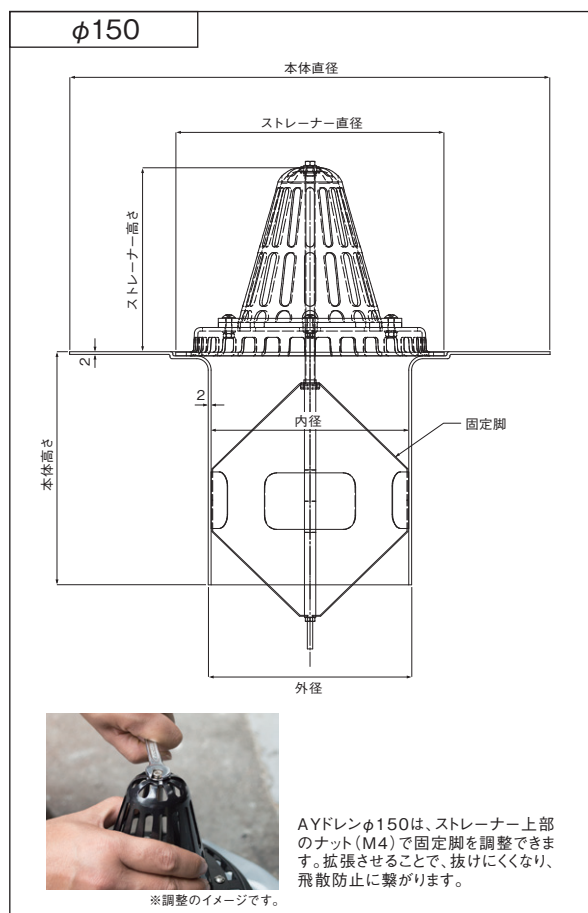
寸法	455mm×455mm
梱包	3枚/組 (φ75・φ100)

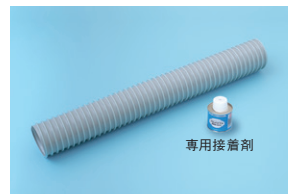
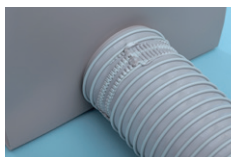
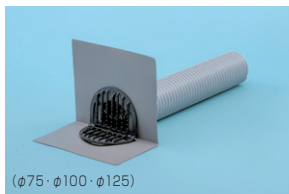
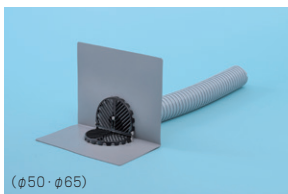
※φ50, φ65, φ125, φ150は 受注生産品

AYハウスドレン縦型 (φ50mm用) オーバーフロー管兼用タイプ

塩ビ成形ドレン	
塩ビパイプ管外径	φ48mm
塩ビパイプ管内径	φ44mm
筒長	115mm (OF01)・343mm (OF11)

ストレーナー: ステンレス製
 ※ストレーナーは別売です。
 ※オーバーフロー管に使用。





AYドレン 横型

塩ビ成形ドレン

ドレン径	φ50	φ65	φ75	φ100	φ125
ドレン本体	塩ビ製				
フレキシブルホース 外径	φ46mm	φ57.9mm	φ70mm	φ92mm	φ110.5mm
内径	φ32.7mm	φ44.8mm	φ58.5mm	φ80.5mm	φ97.1mm
フレキシブルホース 長さ	500mm / 1m				
横巾	250mm			280mm	
本体高さ	202mm		213mm		237mm
本体奥行き	148mm		157mm		182mm
ストレーナー	アルミダイキャスト製				

接合部

ドレン本体とフレキシブルホースを高周波ウェルダーで一体化させました。

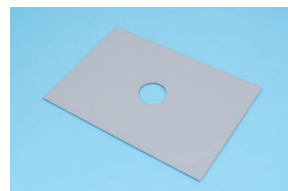
AYフレキシブルホース

縦型・横型ドレン用フレキシブルホース

規格	φ50用	φ65用	φ75用	φ100用	φ125用
外径(mm)	φ46	φ57.9	φ70	φ92	φ110.5
内径(mm)	φ38	φ50.8	φ63	φ85	φ101.3
筒長	500mm・1m・6m 受注生産品				

※専用接着剤は別途注文。
AYドレンとAYフレキシブルホースを一緒に注文された場合は、専用接着剤同梱。

※フレキシブルホースの長さが1m以上必要な場合は「AYフレキシブルホース(6m)」を必要な長さにカットし、「AYドレン横型(ホース無しタイプ)」に接合してご利用ください。
※AYドレンはストレーナーとセットです。
※ストレーナーのみの発注も可能です。

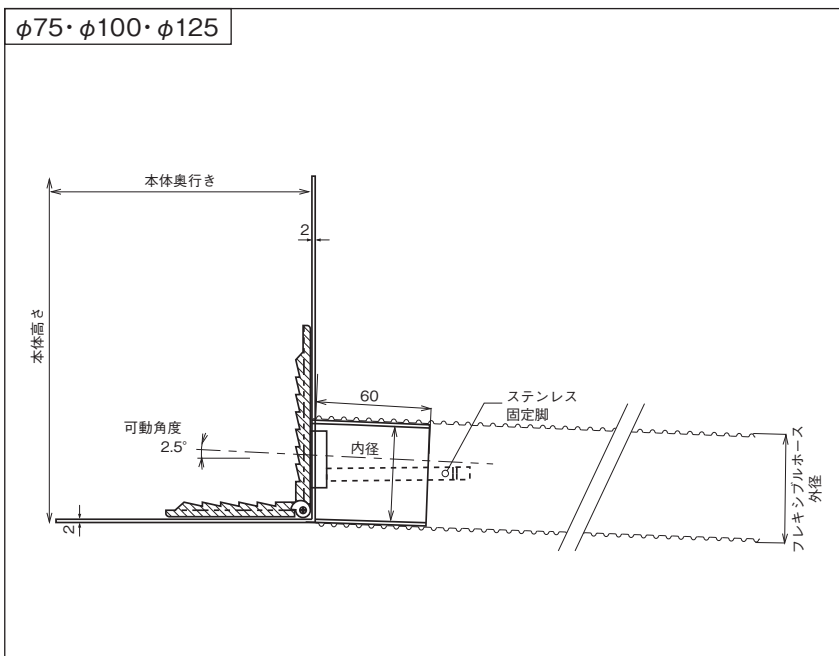
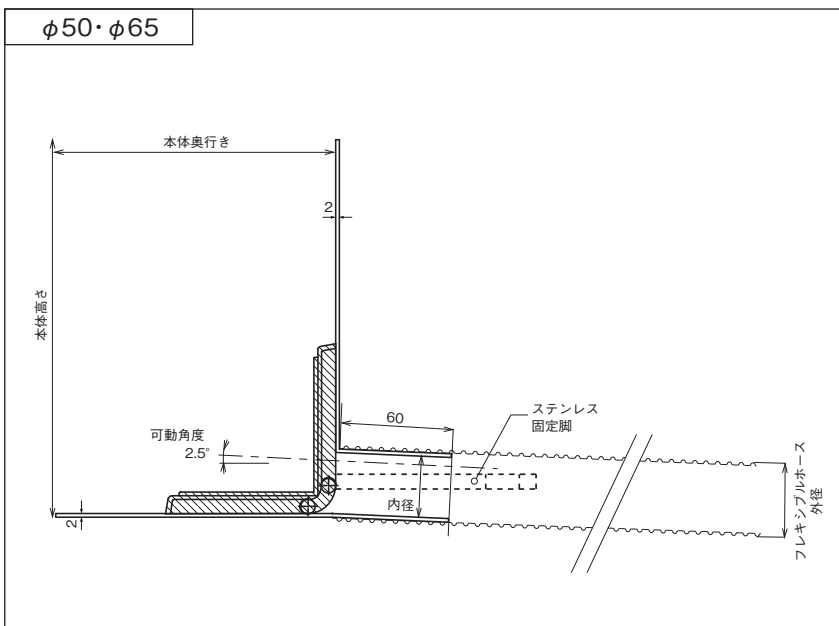


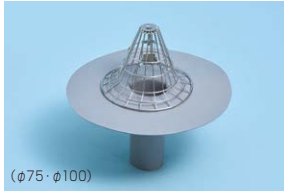
AYドレン鋼板 (横用)

塩ビ被覆鋼板 横型ドレン用(各径)

寸法	455mm×650mm
梱包	3枚/組(φ75・φ100)

※φ50、φ65、φ125は **受注生産品**。
※ドレン廻りをアンカー固定する際に使用。





AYハイパードレン 縦型

塩ビ成形ドレン

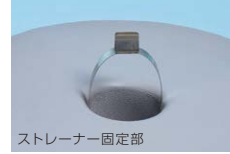
受注生産品

ドレン径	φ75	φ100
ドレン本体	塩ビ製	
外径	61.0mm	84.5mm
内径	55.0mm	78.5mm
本体直径	288mm	
本体高さ	162mm	
ストレーナー	ステンレス(SUS304)	
ストレーナー直径	φ160	
ストレーナー高さ	120mm	

※AYハイパードレン縦型はストレーナーとのセットです。
 ※ストレーナー単体での発注はできません。

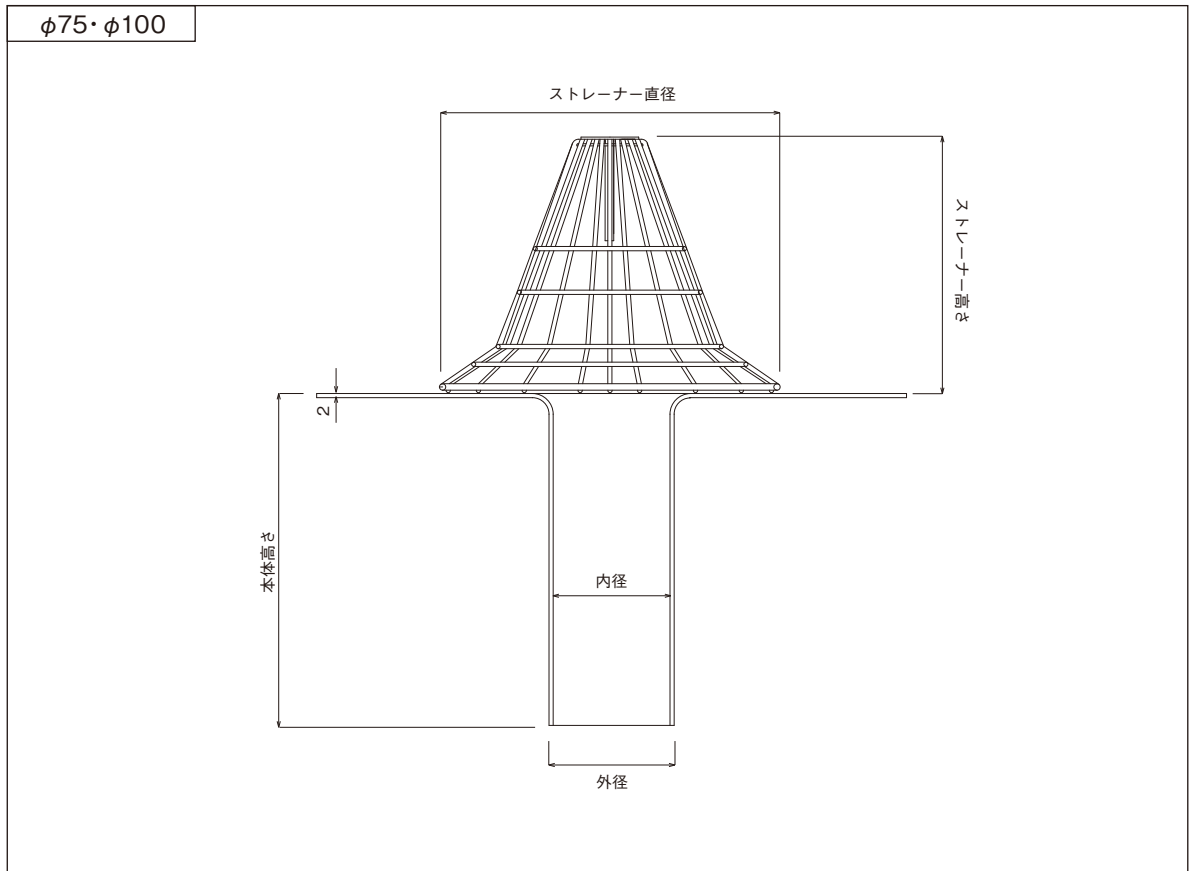


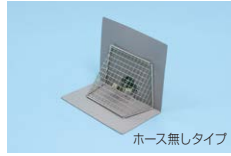
水を通し、ゴミを止める。流水性の高い網目構造。



ストレーナーの金具を挟み込んで固定します。

AYハイパードレンは2024年8月中旬から
一時販売中止しております。





フレキシブルホースの長さが501mm以上必要な場合は「AYフレキシブルホース (1m・6m)」を必要な長さにカットし、「ホース無しタイプ」に接合してご利用ください。

AYハイパードレン 横型

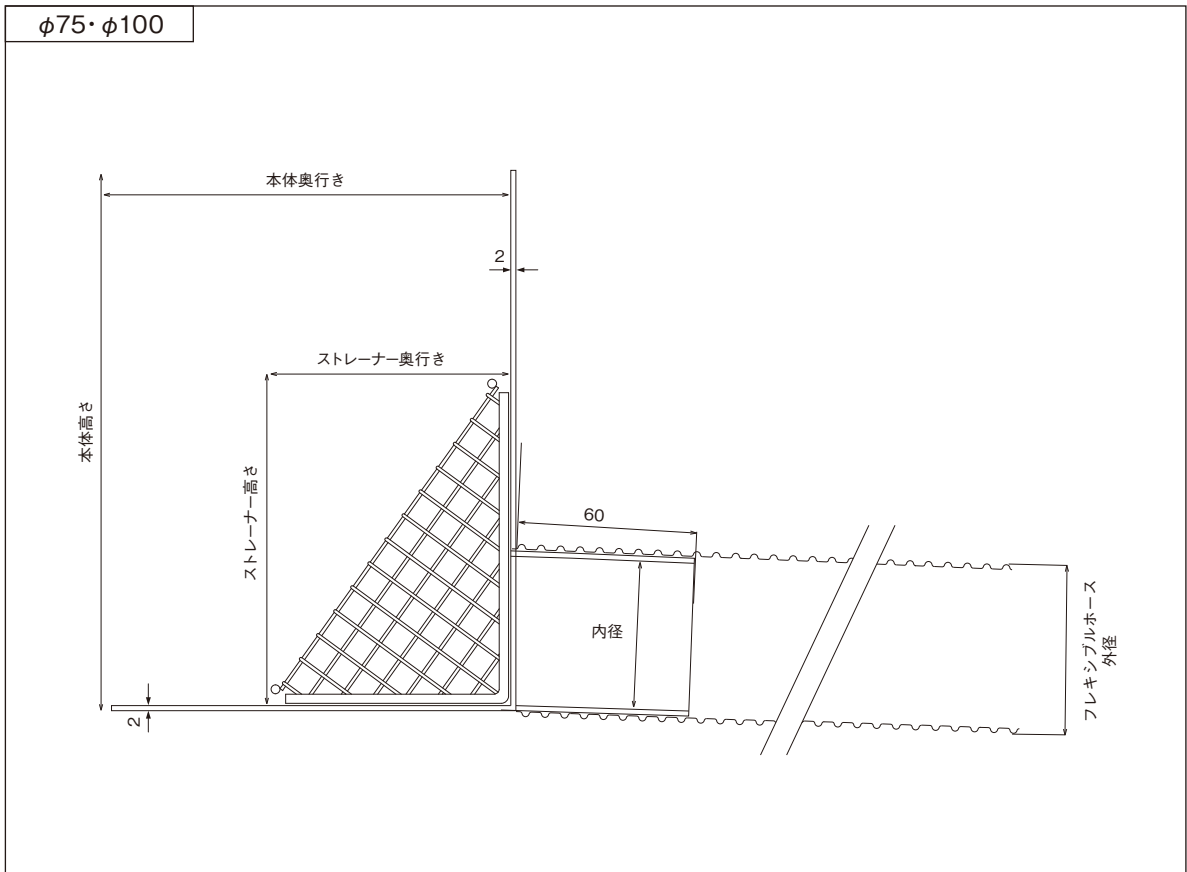
塩ビ成形ドレン

受注生産品

ドレン径	φ75	φ100
ドレン本体	塩ビ製	
フレキシブルホース外径	φ70mm	φ92mm
内径	φ58.5mm	φ80.5mm
フレキシブルホース長さ	500mm	
横幅	250mm	
本体奥行き	213mm	
本体奥行き	157mm	
ストレーナー	ステンレス(SUS304)	
ストレーナー横幅	165mm	
ストレーナー奥行き	100mm	
ストレーナー高さ	140mm	

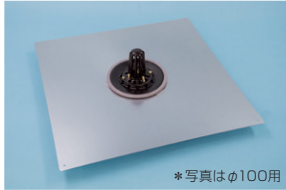
※AYハイパードレン縦型はストレーナーとのセットです。
※ストレーナー単体での発注はできません。

AYハイパードレンは2024年8月中旬から
一時販売中止しております。



LCSドレン（縦型）

ドレン本体に塩ビ被覆処理をしているので、リベットーフと一体化することができ、より水密性が向上しました。



LCSドレン縦型

受注生産品

塩ビ被覆ドレン

ドレン径	φ50mm、φ75mm、φ100mm、 φ125mm、φ150mm、φ200mm
ドレン本体	鋳鉄製（塩ビ被覆加工）
ストレーナー	鋳鉄製（ステンレス製も対応可 ^① ）
固定板	寸法 600×600mm t=1.6mm
接続管取付け方法	ねじ込み式
下地加工寸法 φG (mm)	φ50 φ75 φ100 φ125 φ150 φ200
右図参照	195 190 215 245 270 415

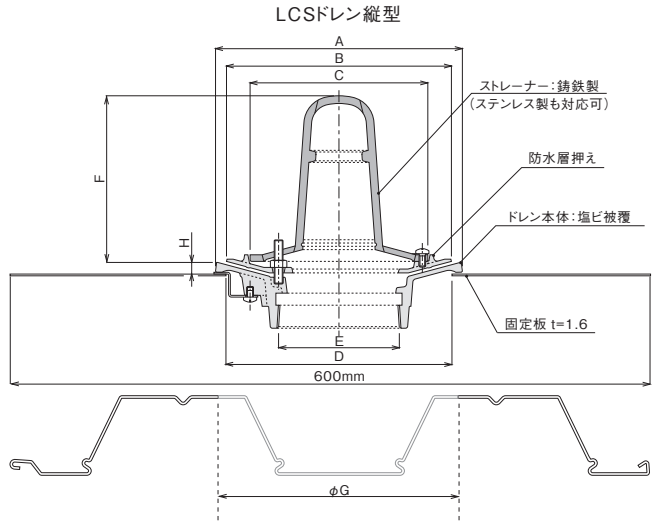
(注) φ50・φ200は対応不可

寸法表

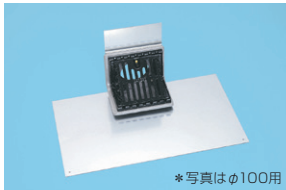
(mm)

呼称	A	B	C	D	ねじ径E	F	H
50	200	180	102	186	Rc2	101	10.4
75	200	180	137	180	Rc3	131	10.4
100	225	205	162	206	Rc4	149	10.4
125	255	235	192	231	Rc5	174	10.4
150	280	260	217	256	Rc6	193	10.4
200	430	375	286	406	PT8	183	10.4

右図参照



LCSドレン（横型）



LCSドレン横型

受注生産品

塩ビ被覆ドレン

ドレン径	φ75mm用、φ100mm用、 φ125mm用、φ150mm用
ドレン本体	鋳鉄製（塩ビ被覆加工）
ストレーナー	鋳鉄製
固定板（下面）	寸法 600×350mm t=1.6mm
固定板（上面）	寸法 168×90mm t=1.6mm(φ75mm用) 寸法 198×90mm t=1.6mm(φ100mm用) 寸法 228×90mm t=1.6mm(φ125mm用) 寸法 248×90mm t=1.6mm(φ150mm用)
接続管取付け方法	ねじ込み式

※φ50用・φ200用についてはお問い合わせください。

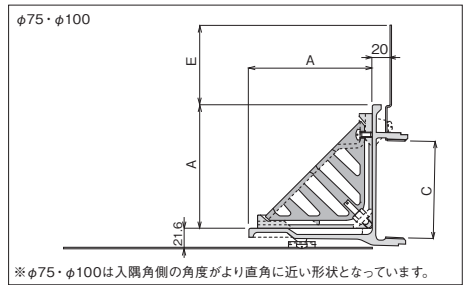
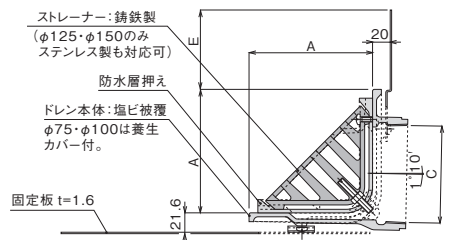
寸法表

(mm)

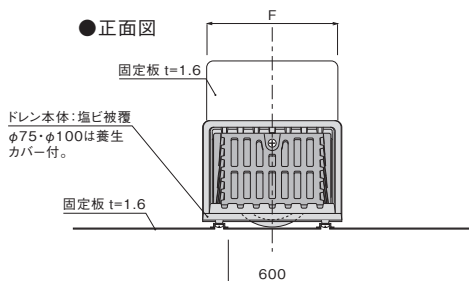
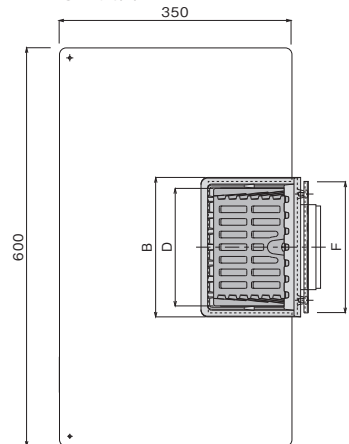
呼称	A	B	ねじ径C	D	E	F
75	115	180	Rc3	147	90	168
100	140	210	Rc4	177	90	198
125	165	240	Rc5	205	90	228
150	190	260	Rc6	225	90	248

右図参照

LCSドレン横型



●上面図





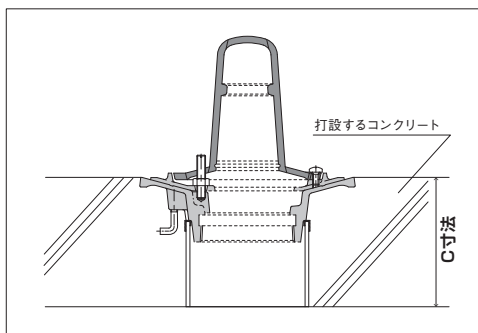
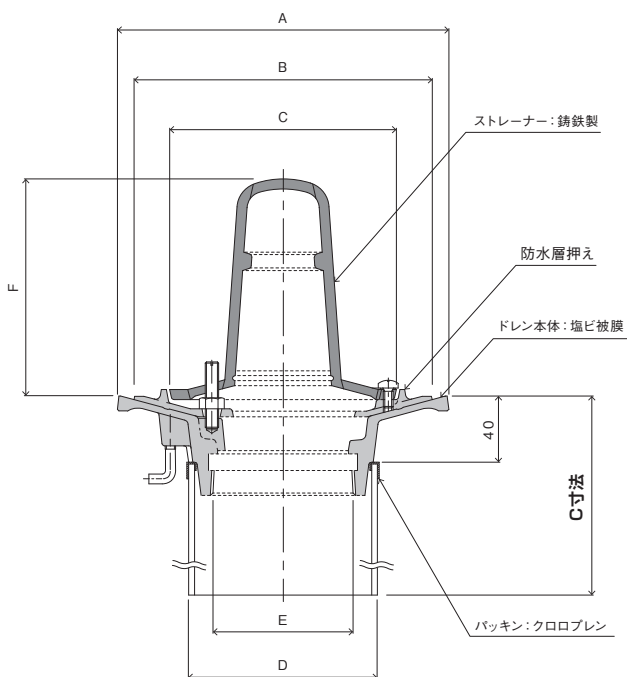
本体と養生蓋を組み付けたイメージ写真。
防水施工時に養生蓋を外します。

AY塩ビ被覆ドレン(RC)縦型

塩ビ被覆ドレン 受注生産品

ドレン径	φ75mm、φ100mm、
ドレン本体	鋳鉄製(塩ビ被覆加工)
ストレーナー	鋳鉄製(ステンレス製も対応可)
接続管取付け方法	ねじ込み式

AY塩ビ被覆ドレン(RC)縦型



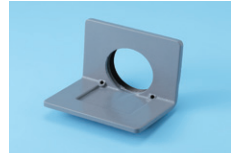
商品の発注時は打設するコンクリートの厚みによってC寸法(スラブ厚さ)を変更する必要があります。
C寸法は80mm～500mmの範囲内で5mm単位での発注が可能です。

寸法表 (mm)

呼称	A	B	C	D	ねじ径E	F
75	200	180	137	114	Rc3	131
100	225	205	162	140	Rc4	149



本体施工時のイメージ写真。

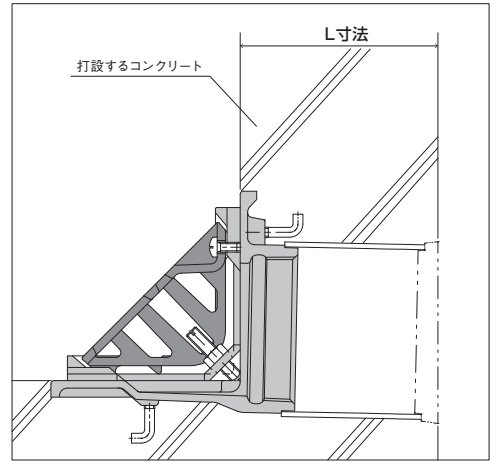
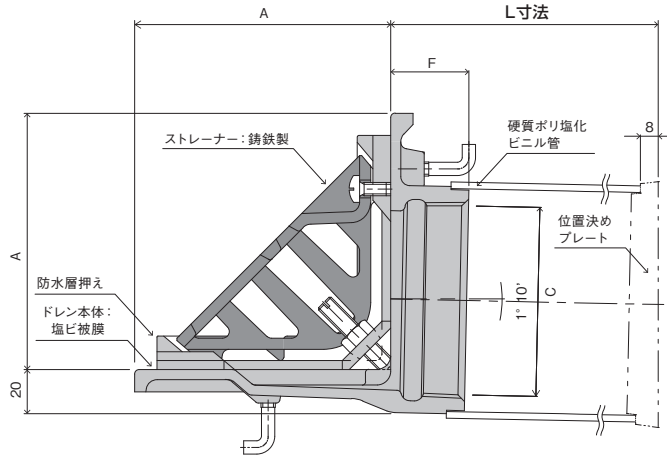


防水施工時に養生カバーを外すと塩ビ被覆ドレン本体が現れます。

AY塩ビ被覆ドレン(RC)横型

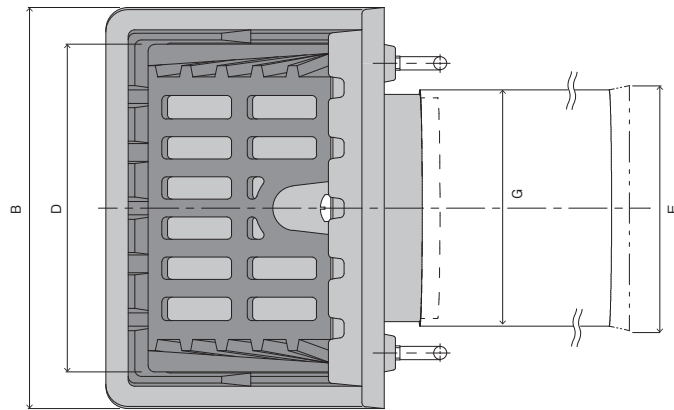
塩ビ被覆ドレン ● 受注生産品	
ドレン径	φ75mm、φ100mm、
ドレン本体	鋳鉄製(塩ビ被覆加工)
ストレーナー	鋳鉄製
接続管取付け方法	ねじ込み式

AY塩ビ被覆ドレン(RC)横型



商品の発注時は打設するコンクリートの厚みによってL寸法(パラペット厚さ)を変更する必要があります。L寸法は80mm~500mmの範囲内で5mm単位での発注が可能です。

上面図



寸法表 (mm)

呼称	A	B	ねじ径C	D	E	F	G
75	115	180	Rc3	147	110	35	106
100	140	210	Rc4	177	135	40	134



AY溶着剤

THF：テトラヒドロフラン

容量	1kg/缶
施工量の目安	約60~75m ² /缶
塗布量の目安	約13~15g/m ²

リベットルーフとFL鋼板の溶着およびリベットルーフ相互の溶着に使用。



FLシール

不定形シール材

容量	1kg/缶
色	リベットルーフ標準色
施工量の目安	約75~85m ² /缶
塗布量の目安	約12~13g/m ²

シート相互の接合端部シール用。



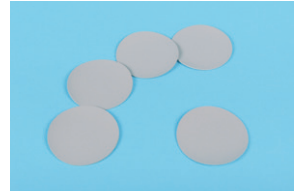
FLシール#ブラック

受注生産品

不定形シール材

容量	1kg/缶
色	ブラック
施工量の目安	約75~85m ² /缶
塗布量の目安	約12~13g/m ²

シート相互の接合端部シール用。

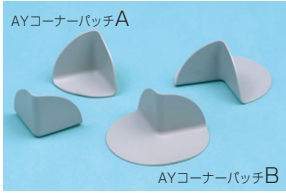


AY丸パッチ#01

塩ビ加工品

長さ	1.5mm
寸法	φ100
色	ライトグレー

役物廻りの増張り用。

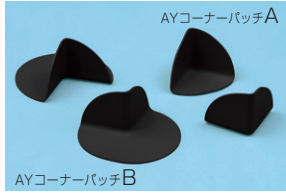


AYコーナーパッチA・B

塩ビ成形役物

色	リベットルーフ標準色
梱包	各50個/袋

入隅角および出隅角部の増張り用。



AYコーナーパッチA・B (ブラック)

塩ビ成形役物

受注生産品

色	ブラック
梱包	A20個/袋・B10個/袋

入隅角および出隅角部の増張り用。

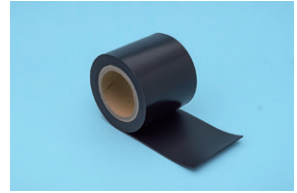


帯シート #01

塩ビ樹脂系シート加工品

厚さ	1.5mm
寸法	幅110mm×長さ10m/巻
色	ライトグレー

FLA-2Nのジョイント部に使用します。



帯シート (ブラック)

受注生産品

塩ビ樹脂系シート加工品

厚さ	2.0mm
寸法	幅110mm×長さ3m/巻
色	ブラック

端末FL鋼板(ブラック)のジョイント部に使用します。



ジョイントシート (FLA-5N用)

ターボリンシート

寸法	幅110mm×長さ3m/巻
----	---------------

あご下納めでFLA-5Nを用いる際、ジョイント部に使用します。



AYシールMS-1 (通常タイプ)

変成シリコン系不定形シール材

容量	333ml/本		
色	グレー		
施工量の目安	10.0mm×10.0mm	3.2m	
	10.0mm×15.0mm	2.1m	
	15.0mm×15.0mm	1.4m	
梱包	20本/セット(プライマー同梱)		

防水層端部のシール及びドレンやパイプ廻りなどのシール用。

JSAIA F☆☆☆☆認定取得



AYシールMS-1 (エコカートタイプ)

容量	320ml/本		
色	グレー		
施工量の目安	10.0mm×10.0mm	3m	
	10.0mm×15.0mm	2m	
	15.0mm×15.0mm	1.3m	
梱包	20本/セット(プライマー同梱)		

*エコカート用ホルダーは別途注文。

JSAIA F☆☆☆☆認定取得



EP-20

エポキシ樹脂系注入剤

容量(1セット)	主剤4kg/缶・硬化剤2kg/本	
配合比(重量比)	主剤	硬化剤
	2	1
施工量の目安	約1,000穴/1セット	

ALCパネルのアンカー固定補強用。

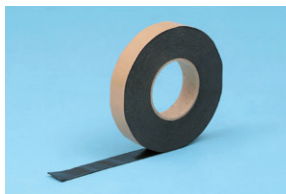
JSAIA F☆☆☆☆認定取得
セット販売のみ。



AY汚れ落し剤

容量	3kg/缶
色	無色透明

シートに付着した汚れ等を落とす際に使用。



AYプチルテープ

定形シール材

規格	厚さ1.0mm×幅30mm×長さ15m巻
----	----------------------

防水層端部用定形シール材。



耐火フェルトテープ

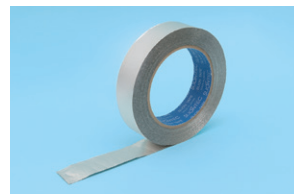
受注生産品

ロックウールフェルト

規格	厚さ6mm×幅35mm [*] ×長さ20m/巻
----	-----------------------------------

FLボードNP・NCの幅方向の継ぎ目に使用。
※上記製品の幅サイズは、厚さ35mmのFLボードNP(NC)専用です。その他の厚さ用耐火フェルトテープについてはお問い合わせください。

NPシステム専用



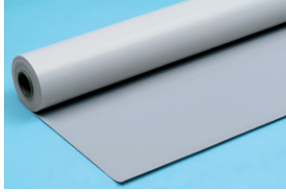
FLアルミテープ

アルミテープ

規格	幅25mm×長さ50m/巻
----	---------------

FL鋼板の接合部及び現場での切り使い部に使用。

役物シート

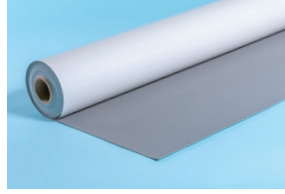


役物シート#401

塩ビ加工品

厚さ	1.5mm
寸法	幅1.2m×長さ10m巻
色	ライトグレー

役物廻り以外には使用できません。



役物シート#406

塩ビ加工品

厚さ	1.5mm
寸法	幅1.2m×長さ10m巻
色	スカイグレー

役物廻り以外には使用できません。

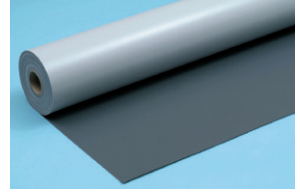


役物シート#801

塩ビ加工品

厚さ	1.5mm
寸法	幅1.2m×長さ10m巻
色	パールライト

役物廻り以外には使用できません。



役物シートHP

塩ビ加工品

厚さ	2.0mm
寸法	幅1.2m×長さ10m巻
色	グレー

役物廻り以外には使用できません。

アンカー



FLφ6樹脂アンカー

樹脂アンカー

樹脂アンカー	
直径	6mm
長さ	32mm
穴径	6mm
ステンレスビス	
軸径	3.6mm
長さ	40mm 50mm
取付最大厚	5mm未満 10mm以下
梱包	100組(本)/箱 ※樹脂アンカーとステンレスビスは、セットになります。

*IHディスクは使用不可
*ALC下地は使用不可



AYφ6.5樹脂アンカー

樹脂アンカー

樹脂アンカー	
直径	6mm
長さ	32mm
穴径	6.5mm
ステンレスビス	
軸径	4.0mm
長さ	50mm
取付最大厚	10mm以下
梱包	100組(本)/箱 ※樹脂アンカーとステンレスビスは、セットになります。

IHディスク・FL鋼板専用ビス
*ALC下地は使用不可



AY樹脂アンカー

樹脂アンカー

樹脂アンカー	
直径	8mm
長さ	40mm
穴径	8.5mm
ステンレスビス	
軸径	5.6mm
長さ	50mm 60mm 80mm 90mm
取付最大厚	5mm未満 11~30mm 31~40mm
長さ	105mm 120mm 150mm 170mm
取付最大厚	41~55mm 56~70mm 71~100mm 101~120mm
梱包	100組(本)/箱 ※150・170mmは50組(本)/箱になります。



ハンマーフィックス N5×30/5P
ハンマーフィックス N5×30/5PA2

打込み用アンカー

長さ	30mm
穴径	5mm
取付最大厚	10mm
梱包	100本/箱

YK押え金物固定に使用。
※取付物厚が10mmを超える場合はご相談ください。



ASアンカーN

アルミニウム拡張アンカー

直径	6mm
長さ	43mm
穴径	6mm
取付最大厚	10mm以下
梱包	100本/箱



FLアンカー

ステンレス拡張アンカー

直径	6mm
長さ	40mm
穴径	6.5mm
取付最大厚	10mm以下
梱包	100本/箱

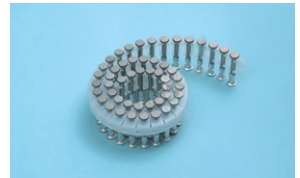


サミットスクリュー

側溝用ショートビス

長さ	25mm
穴径	4.3mm
取付最大厚	5mm
梱包	100本/箱

保護コンクリートの改修時、側溝部に使用できます。
※側溝部に用いる場合AYボンド100を併用します。



エアガンピン (MAX用)

エアガン用ステンレスアンカー

直径	3.8mm
長さ	30mm 35mm 40mm
梱包	50本/巻



エアガンピン (エアロスミス用)

エアガン用ステンレスアンカー **受注生産品**

直径	3.6mm
長さ	30mm 35mm 40mm
梱包	100本/袋

アンカー



DPアンカー

セルフドリルアンカー

直径	7mm		
長さ	25mm	50mm	60mm
取付最大厚	5mm	30mm	40mm
梱包	500本/箱	200本/箱	200本/箱
長さ	75mm	90mm	105mm
取付最大厚	55mm	70mm	85mm
適応板厚	0.8mm~1.6mm		
梱包	100本/箱		



MBシートテクス(座金パッキンなし)

ブラケット固定用

受注生産品

直径	4.5mm
長さ	19mm
梱包	500本/箱



ボードテック平サラφ5

ボード留付け用ビス

受注生産品

直径	5mm			
長さ	35mm	45mm	50mm	
取付最大厚	22.5mm	32.5mm	37.5mm	
梱包	250本/箱	200本/箱	150本/箱	
長さ	60mm	70mm	80mm	90mm
取付最大厚	47.5mm	57.5mm	67.5mm	77.5mm
梱包	150本/箱	100本/箱	100本/箱	50本/箱

野地板をC型鋼などの鋼材に固定する場合などに使用。



AYテクスビスH

C型鋼用ビス

直径	5mm
長さ	19mm
取付最大厚	8mm
梱包	500本/箱

受け鋼板、FL鋼板などをC型鋼などの鋼材に固定する場合に使用。



AYシートテクスφ4.5

デッキプレート用ビス

直径	4.5mm
長さ	19mm
取付最大厚	11mm
梱包	500本/箱

受け鋼板などを下地デッキプレートに固定する場合に使用。



AYドリルビスF

セルフドリルアンカー

直径	7mm		
長さ	FLボードMS 30mm用	FLボードMS 40mm用	FLボードMS 75mm用
梱包	60mm	75mm	105mm
梱包	100本/箱		

FLボードMSを下地に固定する際に使用。



NPスクリュー6×60

スクリュービス

直径	6mm
長さ	60mm
梱包	200本/箱

FL鋼板をC型鋼に固定する際に使用。



フラットビス6×60

受注生産品

鉄骨下地ビス

直径	6mm
長さ	60mm*
許容留付強度	980N/本
梱包	100本/箱

母屋にFLボードNP・NCを固定する際に使用。
*上記長さは、厚さ35mmのFLボードNP (NC) 専用です。その他の厚さ用ビスについてはお問い合わせください。



フラットビス4×33

受注生産品

鋼板留付けねじ

直径	4mm
長さ	33mm*
梱包	100本/箱

FLボードNP・NC相互の緊結に使用。
*上記長さは、厚さ35mmのFLボードNP (NC) 専用です。その他の厚さ用ビスについてはお問い合わせください。



タップコン

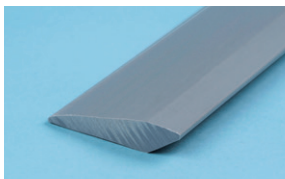
長さ75・100mmは受注生産品

木・ボード下地用ステンレスアンカー

直径	6mm		
長さ	50mm	75mm	100mm
取付最大厚	15mm	40mm	65mm
梱包	100本/箱		

FL鋼板、IHディスクを垂木・母屋(木製)へ固定する際に使用。

勾配屋根専用部材



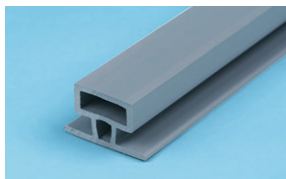
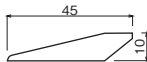
YKラインD

受注生産品 (納期約1ヶ月)

化粧用塩ビ成形品

タイプ	勾配平行型
長さ	2,000mm
色	ライトグレー#01、ライトグリーン#02 グレー#03、グリーン#05、スカイグレー#06

屋根勾配(流れ方向)に対して直角に取り付ける。
(1ロット200m以上)



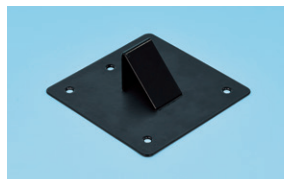
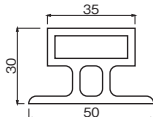
YKラインE

受注生産品 (納期約1ヶ月)

化粧用塩ビ成形品

タイプ	勾配直交型
長さ	2,000mm
色	ライトグレー#01、ライトグリーン#02 グレー#03、グリーン#05、スカイグレー#06

屋根勾配(流れ方向)に対して平行に取り付ける。
(1ロット200m以上)



AY雪止金具

受注生産品

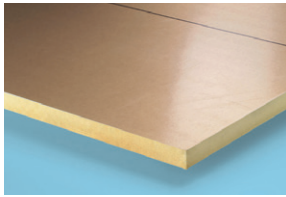
リベトルーフ専用雪止金具

サイズ	200mm×200mm×65mm
材質・厚さ	鉄製(厚さ:2.3mm)
被膜層	塩化樹脂被覆
色	ブラック
ビス穴	5ヶ所

適応範囲
適応下地: RC専用
取付最大厚: 50mm以下
取付屋根角度: 30°以下

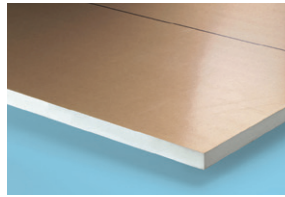
*別途リベトルーフを現場にて加工し増張りシートを作製してください。
*固定時はAY樹脂アンカーを使用

断熱材・パネル材 ★ 断熱材は特注加工が多いため、生産に時間が掛かります。早めに注文を頂けるようご協力お願い致します。



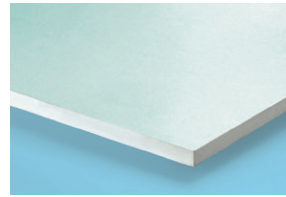
FLボードNU ● 受注生産品

硬質ウレタンフォーム	
厚さ(mm)	20・25・30・35・40・45・50
寸法(mm)	幅1,000×長さ1,800
熱伝導率	0.024 W/m・K以下
[JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 A] JIS A9521 F☆☆☆☆等級	
絶縁シート機能付断熱材	



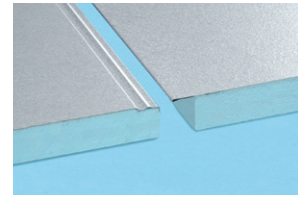
FLボードS ● 受注生産品

面材付ポリスチレンフォーム	
厚さ(mm)	25・30・35・40・50
寸法(mm)	幅1,000×長さ1,800
熱伝導率	0.028 W/m・K以下
[JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A]に上下クラフト紙を貼り合わせ JIS A9521 F☆☆☆☆等級	
絶縁シート機能付断熱材	



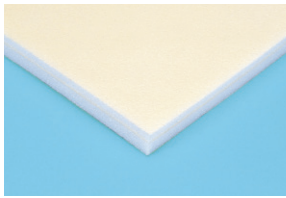
ポリスチレンフォーム3種 ● 厚さ40・50mmは受注生産品

厚さ(mm)	25・30・35・40・50
寸法(mm)	幅910×長さ1,820
熱伝導率	0.028 W/m・K以下
[JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A] JIS A9521 F☆☆☆☆等級	



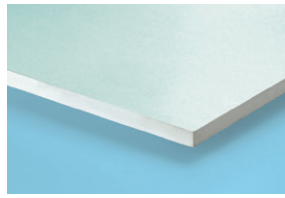
FLボードMS ● 受注生産品

片面銅板付断熱材	
ガルバリウム鋼板厚さ(mm)	0.35
断熱材厚さ(mm)	30 40 50 75
重量(kg/m ²)	4.0 4.3 4.5 5.2
寸法(mm)	幅900×長さ1,800
熱伝導率	0.028 以下W/m・K
圧縮強度	0.3N/mm ²
[JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A]に銅板を貼り合わせ JIS A9521 F☆☆☆☆等級	



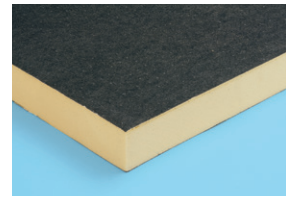
ポリエチレンフォーム ● 受注生産品

厚さ(mm)	20・25・30
寸法(mm)	幅1,000×長さ2,000
熱伝導率	0.042 W/m・K以下
[JIS A9521 ポリエチレンフォーム断熱材1種1号]相当	



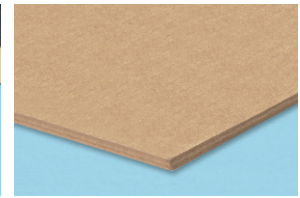
ポリスチレンフォーム1種 ● 受注生産品

厚さ(mm)	20・25・30・35・40・45・50
寸法(mm)	幅910×長さ1,820
熱伝導率	0.036 W/m・K以下
※隙間埋めや勾配調節に使用。 [JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材1種b C] JIS A9521 F☆☆☆☆等級	



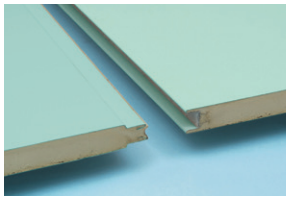
アキレスボードGF

硬質ウレタンフォーム 厚さ40・60mmは受注生産品	
厚さ(mm)	25・30・35・40・50・60
幅(mm)	605
長さ	厚さ25mm～50mm 厚さ60mm 910 850
熱伝導率	0.023W/m・K以下
面材の材質	パルプ混入ガラス繊維層
[JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材3種1号D]相当	



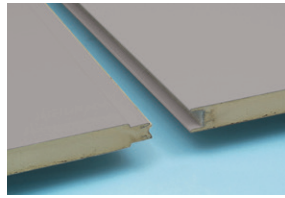
AYパネルV ● 受注生産品

火山性ガラス質複層板	
厚さ(mm)	9
寸法(mm)	幅910×長さ1,800
重量	約10.3kg/枚 (約6.3kg/m ²)
熱伝導率	0.13W/m・K
圧縮強度	0.3N/mm ²
試験方法はJIS A 5440 火山性ガラス質複層板に準拠	



FLボードNP ● 受注生産品

耐火断熱(インシアムレートフォーム)パネル	
厚さ(mm)	35*
重量(kg/m ²)	9.5
寸法(mm)	幅910×長さ4,495
熱伝導率	0.019 W/m・K以下
備考	(表面)ライトブルー色(裏面)アイボリー色
※他の厚さについてはお問い合わせください。	



FLボードNC

耐火断熱(インシアムレートフォーム)塩ビ被膜パネル	
厚さ(mm)	35
重量(kg/m ²)	9.8
寸法(mm)	幅910×長さ4,495
熱伝導率	0.019 W/m・K以下
備考	(表面)グレー色(裏面)アイボリー色
※現在庫がなくなり次第、販売終了といたします。	

受注生産品 マークのある断熱材の納期については、お問い合わせください。

劣化診断システム 表示物



劣化診断システム用 硬質塩ビ板・表示シート

硬質塩ビ板	
規格	厚さ5mm 660mm×760mm
表示シート	
規格	300mm×650mm
色	#401 ライトグレー

*硬質塩ビ板と表示シートは各々注文。

リベトルーフ防水 劣化診断システム

- 切り取り時期については、建物管理者に確認の上、決められた時期に切り取って下さい。詳しくはホームページをご覧ください。
- サンプルシートは、溝に沿って(200×600mm)切り取ってください。
- 切り取ったシートは、アーキヤマデ(株)までお送りください。

www.a-yamade.co.jp

劣化診断実施中!

下に貼り付いているシートは、防水シートの劣化を診断するシートです。モノを置いたり、塗装をしたりしないでください。



リベトルーフ注意書シート

メンテナンス用注意書き	
規格	800mm×595mm
色	#401 ライトグレー

下地処理塗材 ★ 使用量は目安であり、下地の条件により著しく変わる場合があります。



AYテックスA

薄塗りタイプの下地調整塗材(厚さ1.0mm程度)

容量(1セット)	パウダー-A	ポリマー-A	
	25kg/袋	4kg/缶	
配合比(重量比)	パウダー-A	ポリマー-A	水
	25kg(1袋)	4kg(1缶)	ハケ塗り 6~8ℓ コテ塗り 2.5~3.5ℓ
施工量の目安	厚さ0.5~0.7mm	30~40㎡/セット	
	厚さ1.0mm	20㎡/セット	
適応下地	コンクリート・モルタル・合成ゴム系シート・塩ビ系シート・ウレタン系塗膜・ALCパネル		

JAIA F☆☆☆☆認定取得



AYテックスB

厚塗りタイプの下地調整塗材(厚さ2.0~10.0mm程度)

容量(1セット)	パウダー-B	ポリマー-B	
	25kg/袋	2kg/缶	
配合比(重量比)	パウダー-B	ポリマー-B	水
	25kg(1袋)	2kg(1缶)	3ℓ
施工量の目安	厚さ2.0mm	厚さ5.0mm	厚さ10.0mm
	7.5㎡/セット	3㎡/セット	1.5㎡/セット
適応下地	砂付ルーフィング・コンクリート・モルタルなどの不陸調整		

JAIA F☆☆☆☆認定取得



AYテックス C-1

薄塗りタイプの下地調整塗材(厚さ0.5~1.0mm程度)

容量	12kg/袋	
配合比(重量比)	AYテックスC-1	水
	12kg(1袋)	コテ塗り 4.0~4.2ℓ ローラー・ハケ塗り 4.2~4.8ℓ
施工量の目安	厚さ0.5mm	20㎡/袋
	厚さ1.0mm	10㎡/袋
適応下地	コンクリート・モルタル・合成ゴム系シート・塩ビ系シート・ウレタン系塗膜など	

日本建築仕上材工業会 F☆☆☆☆認定取得



AYテックス C-2

薄塗りタイプの下地調整塗材(厚さ1.0~3.0mm程度)

容量	14kg/袋	
配合比(重量比)	AYテックスC-2	水
	14kg(1袋)	コテ塗り 2.8~3.0ℓ
施工量の目安	厚さ1.0mm	10㎡/袋
	厚さ2.0mm	5㎡/袋
	厚さ3.0mm	3.3㎡/袋
適応下地	コンクリート・モルタル・合成ゴム系シート・塩ビ系シート・ウレタン系塗膜など	

日本建築仕上材工業会 F☆☆☆☆認定取得



AYテックス CM-2

厚塗りタイプの下地調整塗材(厚さ3.0~10.0mm程度)

容量	20kg/袋	
配合比(重量比)	AYテックスCM-2	水
	20kg(1袋)	コテ塗り 2.6~3.1ℓ
施工量の目安	厚さ3.0mm	3.7㎡/袋
	厚さ5.0mm	2.2㎡/袋
	厚さ10.0mm	1.1㎡/袋
適応下地	コンクリート・モルタル・合成ゴム系シート・塩ビ系シート・ウレタン系塗膜など	

日本建築仕上材工業会 F☆☆☆☆認定取得



AYテックス EP

水性エポキシポリマーセメント系下地調整塗材(厚さ0.5mm程度)

容量	パウダー	主剤	硬化剤
	18kg/袋	3kg/袋	3kg/袋
	24kg/セット		
配合比(重量比)	パウダー	主剤	硬化剤
	18kg(1袋)	3kg(1袋)	3kg(1袋)
施工量の目安	厚さ0.5mm 24㎡/セット		
適応下地	砂付ルーフィング・コンクリート・モルタル・ウレタン系塗膜・ALCパネルなど		
備考	主剤と硬化剤は1組単位で梱包		

日本建築仕上材工業会 F☆☆☆☆認定取得



AYプライマー685

エチレン酢ビ系エマルジョンタイプ下地調整材

容量	18kg/缶		
配合比(重量比)	AYプライマー685	水	セメント
	1	2	2
塗布量の目安	セメントペースト塗布量		
	0.6kg/㎡		
施工量の目安	AYプライマー685必要量		
	0.12kg/㎡		
用途	120~150㎡/缶		
	ALCパネル専用		
備考	セメントは別途必要		

JAIA F☆☆☆☆認定取得

プライマー



AYプライマーRe

ウレタン系プライマー

成分	ウレタン系	
容量	17kg/缶	1kg/缶
施工量の目安	約85㎡/缶	約5㎡/缶
標準塗布量	0.1kg/㎡~0.2kg/㎡	
適用下地	既存のリベットルーフ 既存のPVC・TPO	

JSIA F☆☆☆☆認定取得
※既存防水層に塗布する際、必ず付着性の確認を行なってください。

防水材



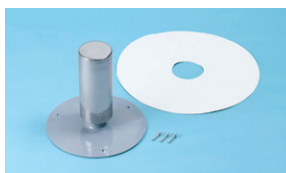
AYガード

ポリマーセメント系塗膜防水材

	ポリマー	パウダー
荷姿	18kg/缶	12kg/袋
主成分	EVAエマルジョン	セメント系既調合粉体
外観	乳白乳濁液	灰白色粉体
配合比(重量比)	ポリマー	パウダー
	3(18kg)	4(12kg×2袋=24kg)
標準使用量	1.5kg/㎡	

既存防水層撤去後のRC下地に対して防水材として使用します。
※下地調整、不陸調整はAYテックスシリーズを使用してください。
日本建築仕上材工業会 F☆☆☆☆認定取得

脱気システム

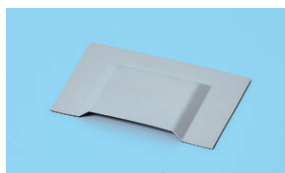


AYステンレス脱気筒

ステンレス製脱気筒

規格	高さ(mm)	直径(mm)
	200	φ220
設置の目安	50~100㎡程度/箇所	
梱包セット	脱気筒本体1個・パッチ用型紙1枚・固定用ビス(アルミ合金製径5mm 長さ25mm)	

積雪地域等で、特に根雪が残る地域においては脱気筒の設置はお薦めできません。

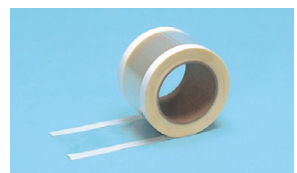


YK脱気ポケット

塩ビ製脱気ポケット

規格	本体(mm)	脱気口部(mm)
	縦110×横160	縦75×横80
色	ライトグレー#01、ライトグリーン#02*、グリーン#05*	
設置の目安	防水層立上り部 長さ10m間隔に1個程度	

*ライトグリーン#02、グリーン#05は現在庫がなく1次第、廃盤となります。



YK脱気テープ

通気テープ

規格	幅80mm×長さ20m 通気部幅54mm
----	-------------------------

エアードライシステム



AYソーラー換気ベース

ソーラーパネル付き自動換気装置

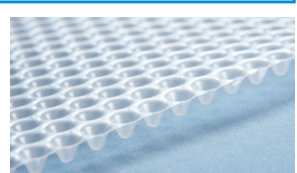
本体寸法	幅280mm×奥行280mm×高さ445mm
太陽光パネル寸法	幅335mm×奥行188mm×高さ16mm
本体材質	AES樹脂
太陽光パネル仕様	最大17V 6W 0.35A 電子回路設計
防水DCファン寸法	幅80mm×奥行80mm×高さ25mm
防水DCファン仕様	12V 1.2W
最大風量	0.65㎡/分
DCファン駆動寿命	40,000時間



AY吸気ベース

吸気装置

本体寸法	幅280mm×奥行280mm×高さ410mm
本体材質	AES樹脂



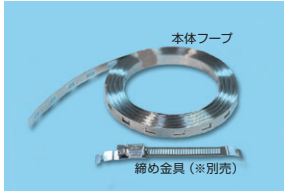
AYドライコーン

通気シート

規格	高さ4.8(±0.4)mm 幅1250mm 長さ30m巻
材質	ポリプロピレン製
耐面圧	98N/cm ²
熱伝導率	0.024 W/m・K

エアードライシステム用通気シート

役物



AYステンレスバンド フリーサイズ
ステンレス製バンド

厚さ	0.6mm
規格	幅13mm×10m巻
取付最小径	100mm

締め金具が別途必要です。



AYステンレスバンド 76φ
ステンレス製バンド

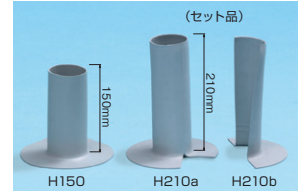
厚さ	0.6mm
取付可能径	29mm~76mm



AY丸環カバーセット **特注品**
丸環用塩ビ版

厚さ	3mm
丸環用シーリングホルダー	
厚さ	3mm

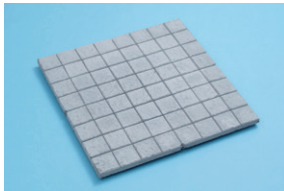
現場の丸環サイズに合わせた特注品となります。



AY支柱カバー

塩ビ成形品	
色	ライトグレー
内径	φ60.5
本体直径	φ160

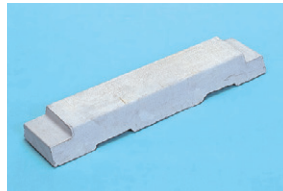
保護材



ループブロック **受注生産品** (納期要問い合わせ)
コンクリート成形ブロック

規格	厚さ(mm)	長さ(mm)	幅(mm)
	20	600	600
重量	16kg/枚		
表面	小たつき風		
単位重量	約4.4kg/m ²		
施工量の目安	2.8枚/m ²		

標準品連結タイプ
※断熱工法で使用する場合、AY/パネルV+断熱材を使用してください。

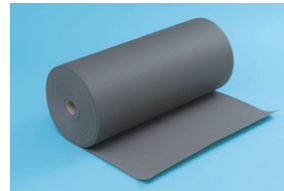


縁石ブロック **受注生産品** (納期要問い合わせ)
コンクリート成形ブロック末端用

規格	長さ(mm)	幅(下面)(mm)	高さ(mm)
	600	120	60
重量	8kg/本		



ステンレスビス+ナイロンプラグ
(納期約1ヶ月)
梱包 50本/袋



ループブロック用緩衝シート
ポリエチレンフォーム **受注生産品**

規格	厚さ(mm)	幅×長さ(m)
	3.05	1.0×48

リベットルーフとループブロックなどの緩衝のために使用。



タキボンド#607
ウレタン樹脂系一成分型耐水接着剤

容量	2kg/缶 10kg/缶 18kg/缶
施工量の目安	コンクリート系 (塩化ビニル防水) 下地の場合 45m ² /18kg 60m ² /18kg
外観	灰白色ペースト状
オープンタイム (20℃)	20~30分
貼付可能時間 (20℃)	40~50分

JIS A5536 F☆☆☆☆等級



コリドール JIS 認証品

防滑性ビニル床シート

種類	YRA	YNA	YMR	YLB	YCY	YMT YMX	YMJ
幅 (mm)	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820
	1,620	1,620	1,350	1,620			
長さ	1,350	1,350	1,350				
	1,250						
長さ	10m						
厚さ	2.5mm	2.0mm	5.0mm	2.9mm	5.0mm		

*性能によって価格が異なります。



●掲載色は一部です。
●詳しくはコリドールカタログをご覧ください。



タキシル#600

ウレタン樹脂系シーリング材

容量	320ml/本
色	コリドール全色
施工量の目安	20m/本 (カートリッジ入り)
外観	ペースト状
梱包	2本入り



エポシルPLUS

エポキシ樹脂系シーリング材

容量 (2kg)	主剤 1kg/缶	硬化剤 1kg/缶
色	YMT, YMX, YMJ対応色のみ (カラマスターの添加により着色)	
施工量の目安	50~60m ² /2kgセット	
配合比 (重量比)	主剤 1	硬化剤 1
	外観 主剤: 白色ペースト状 硬化剤: 薄黄白色ペースト状	

コリドール末端部及び継ぎ目の処理用
JAIA F☆☆☆☆認定取得



AYハイコート700N **受注生産品**

アクリルシリコン系塗料

容量	主剤 14kg/缶	硬化剤 2kg/缶	希釈剤 16.0/缶
配合比 (10:1:0.5)	主剤 1缶	硬化剤 1缶	希釈剤 約0.5缶
	色 ライトグレー#01, ライトグリーン#02, グレー#03, グリーン#05, スカイグレー#06		
施工量の目安	80m ² /セット (ローラー2回塗り)		
塗布量の目安	約0.2kg/m ² (ローラー2回塗り)		
主成分	アクリルシリコン樹脂		

※塗布量の目安は、希釈剤を含まない数値です (希釈剤を含む場合、約0.3kg/m²となります)。
塗り替え時に使用する「AYプライマー-PV」があります。



AYコート **受注生産品**

アクリル系エマルジョン塗料

容量	20kg/缶
色	ライトグレー#01, ライトグリーン#02, グレー#03, グリーン#05, スカイグレー#06
施工量の目安	65m ² /缶 (ローラー2回塗り)
塗布量の目安	約0.3kg/m ² (ローラー2回塗り)
エマルジョンタイプの珪砂入り保護材 ※珪砂無しもご用意できます。	



AYコート タッチアップ用 **受注生産品**

アクリル系エマルジョン塗料

容量	1kg/缶
色	ライトグレー#01, ライトグリーン#02, グレー#03, グリーン#05, スカイグレー#06
珪砂なし	



AYプライマーS

ウレタン系プライマー

成分	ウレタン系	
容量	15kg/缶	
施工量の目安	150m ² /缶	
既存のリベットルーフにAYコートを塗布する場合のプライマー		
適用下地	プライマー	標準塗布量
新設のリベットルーフ	—	—
既存のリベットルーフ	AYプライマー-S	0.10kg/m ²

保護材

高反射塗料



クッションマット **受注生産品**

弾性保護仕上材

厚み	7/10/15mm
幅	1m
長さ	5m
単位重量	約8kg/m ² (t=10)

色 5色(レンガ、グリーン、グレー、ブラウン、ブラック)
 ※厚さ15mm品は、1ロットにつき40本以上の発注が必要です。
 ※施工中や施工後に、紫外線の影響で黄色く変色する事がありますが、除々に落ち着き安定します。変色による物性の低下はありません。



クッションボンドUR-1 **受注生産品**

ウレタン系接着剤

容量	5kg/缶
施工量の目安	8~10m ² /缶
使用量の目安	500g~600g/m ² (専用クシゴテ使用)

JAIA F☆☆☆☆認定取得



AXトップCOOL **受注生産品**

アクリルウレタン樹脂系トップコート

容量	主剤	硬化剤
	3kg/缶	15kg/缶
配合比(重量比)	主剤	硬化剤
	1	5
色	グレー、ライトグレー、ライトグリーン、ライトブルー、ホワイト	
施工量の目安	60m ² /セット(2回塗り)	

※主剤:1kg/缶、硬化剤:5kg/缶のセットも用意しています。
 ※AXトップCOOLのプライマーは、AXプライマー塩ビ用(P.56)を使用してください。
 ※AXトップCOOLの希釈剤は、AXトップ用希釈材(P.56)を使用してください。
 ※上記の施工量の目安は、リベット用防水シートに塗布する場合の数値
 グリーン購入法適合商品



AXトップ1eco(弱溶剤) **受注生産品**

環境対応アクリルウレタン樹脂系トップコート 高反射タイプ

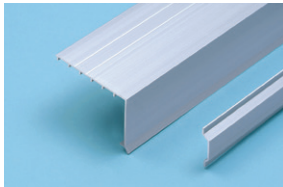
容量	主剤	硬化剤
	6kg/缶	9kg/缶
配合比(重量比)	主剤	硬化剤
	2	3
希釈率	無希釈	
色*	パールライト、ライトグリーン	
可使用時間	2時間以内(23℃)	

※リベット用COOLの近似色となります。グリーン購入法適合商品

日本建築仕上材工業会 F☆☆☆☆認定取得

金物/水切/笠木関連

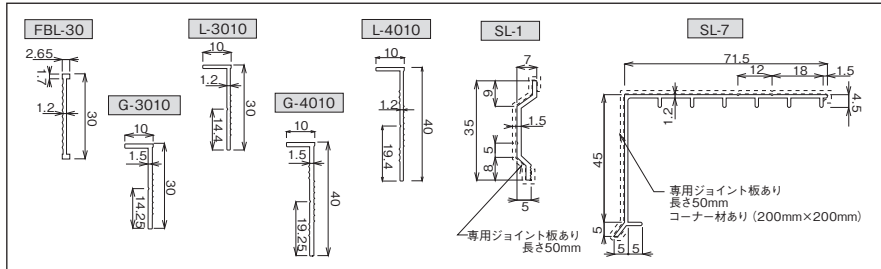
* 詳細については、「パラトップシリーズカタログ」をご覧ください。



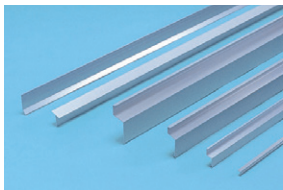
YK押え金物

アルミ製押出成形材

長さ	2,000mm
----	---------



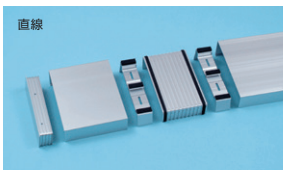
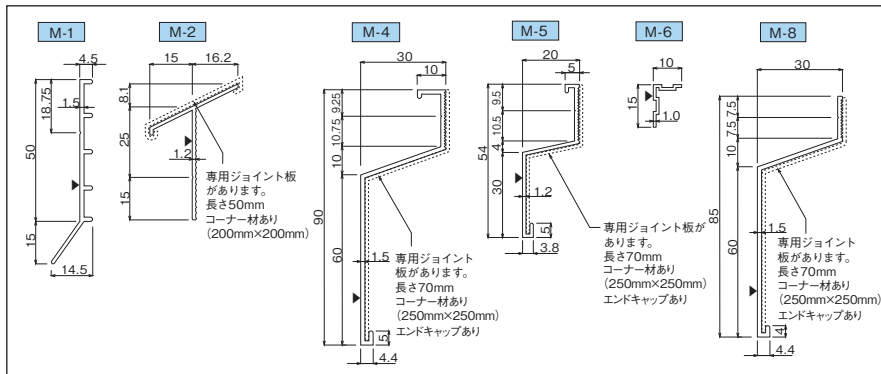
▼印方向は、金物取り付け表面を示す。



パラトップ水切

アルミ製押出成形材

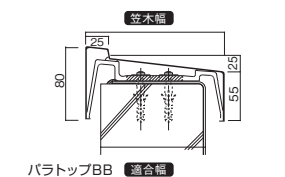
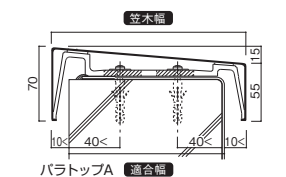
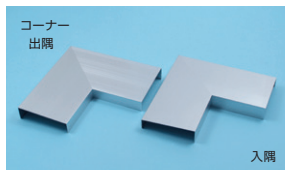
長さ	2,000mm
----	---------



パラトップ笠木A

アルミ笠木

色	シルバー/ダークブロンズ/ブラック/ステンカラー
---	--------------------------

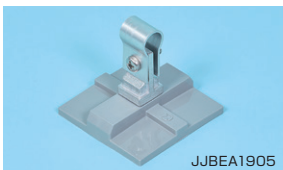


AYビスキャップ

樹脂成形品	
色	ライトグレー
材質	AES樹脂
梱包	4,200個/ケース 350個/箱×12箱

アンカー頭部のシーリングを保護します。
 ※パラトップ水切M-5、M-6、M-8には使用できません。

避雷導体取付金具



AY避雷導体セット

避雷導体取付金具

	品番	使用鬼然線	導線取付部 口径
導線取付金物 アルミ	JJBEA1905	2.0×19	φ13.0
	JJBEA1906	2.0×25	φ14.5
導線取付金物 銅	JJBDA2212	2.0×13	φ11.0
	JJBDA2213	2.0×19	φ13.0

※設置箇所は必ず増張りを行い、FLディスク、FL銅板、接着剤のいずれかを用いて、防水層と下地を固定してください。



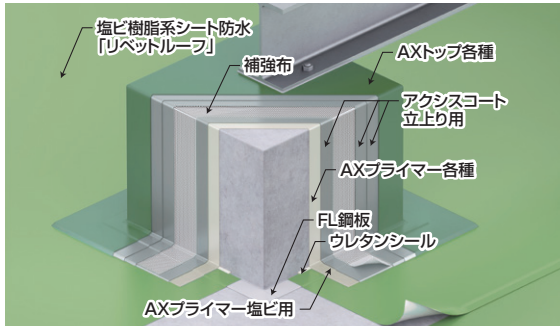
《旧仕様》AY避雷導体セット 連結ディスクPVC

※連結ディスクPVCは別売です。

※連結ディスクPVCについて、現在在庫がなくなり次第、廃番となります。廃番後、AY避雷導体セットは新仕様での提供となります。

塩ビシート複合法

システム記号	平均塗膜厚
AX-2P	2.0mm

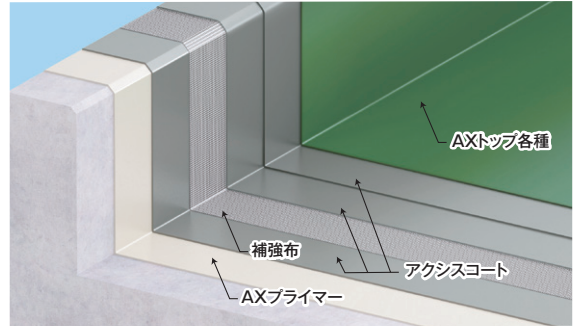


工程順	製品名称	塗布量	備考
1	AXプライマー塩ビ用	0.1~0.2kg/m ²	下地:リベットルーフ
	AXプライマー	0.2kg/m ²	下地:コンクリート
2	アクシスコート 立上り用	0.4kg/m ²	
3	補強布	—	用途に応じて選択可能
4	アクシスコート立上り用	1.2kg/m ²	
5	アクシスコート立上り用	1.0kg/m ²	
6	AXトップ	0.2kg/m ²	下地:リベットルーフ*
		0.2kg/m ²	下地:コンクリート

*上塗りは2回塗りとなる場合があります。

密着補強布工法(平場部)

システム記号	平均塗膜厚	公共建築工事標準仕様書仕様(改修含む)	JASS 8仕様
AX-2	3.0mm	X-2	L-UFS



工程順	製品名称	塗布量	備考
1	AXプライマー	0.2kg/m ²	
2	アクシスコート	0.4kg/m ²	
3	補強布	—	
4	アクシスコート	2.0kg/m ²	用途に応じて選択可能
5	アクシスコート	1.5kg/m ²	
6	AXトップ	0.2kg/m ²	機能に応じて別のトップコートを選択可能



アクシスコート立上り用

ウレタン系塗膜防水		
容量	主剤	硬化剤
荷容	6kg/缶 (主剤0kg・硬化剤12kg)	12kg/缶
配合比(重量比)	主剤	硬化剤
	1	2
硬化物比重	1.3	
色	グレー	

JPMA F☆☆☆☆認定取得



AXトッップCOOL ●受注生産品

アクリルウレタン樹脂系トッップコート		
容量	主剤	硬化剤
荷容	3kg/缶	15kg/缶
配合比(重量比)	主剤	硬化剤
	1	5
色	グレー、ライトグレー、ライトグリーン、ライトブルー、ホワイト ※特注色不可	

主剤:1kg/缶 硬化剤:5kg/缶のセットも用意しています。



AXトッップ水性 ●低臭タイプ

水性アクリルウレタン樹脂系トッップコート		
容量	主剤	硬化剤
荷容	1kg/缶	10kg/缶
配合比(重量比)	主剤	硬化剤
	1	10
色	グレー、シルバーグレー、グリーン	

JPMA F☆☆☆☆認定取得



AXトッップ

アクリルウレタン樹脂系トッップコート		
容量	主剤	硬化剤
荷容	3kg/缶	15kg/缶
配合比(重量比)	主剤	硬化剤
	1	5
色	グレー、シルバーグレー、グリーン	

主剤:1kg/缶 硬化剤:5kg/缶のセットも用意しています。
JPMA F☆☆☆☆認定取得



AXプライマー塩ビ用

湿気硬化型1液ウレタン樹脂系プライマー	
容量	12kg/缶
用途	塩ビシート用
施工量の目安	60~120m ² /缶

JPMA F☆☆☆☆認定取得
1kg缶も用意しています。 ●受注生産品



AXプライマー

湿気硬化型1液ウレタン樹脂系プライマー	
容量	16kg/缶
用途	コンクリート・モルタル下地用
施工量の目安	4kg缶も用意しています。

JPMA F☆☆☆☆認定取得



AX希釈剤エコタイプ(希釈・洗浄用シンナー)

容量	16ℓ/缶
----	-------



AXトッップ用希釈剤(希釈・洗浄用シンナー)

容量	16ℓ/缶
----	-------

4ℓ缶も用意しています。



ウレタンシール

ウレタン系不定形シール材	
容量	320mℓ/本
色	グレー
施工量の目安	10mm×10mm 3m
梱包	10本/箱

*プライマーとハケは別売となります。



プライマー ●受注生産品

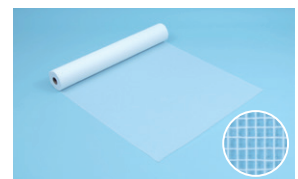
ウレタン樹脂系プライマー	
容量	500mℓ/缶
用途	ウレタンシール用プライマー

JSIA F☆☆☆☆



AXガラスクロス(ガラス繊維織布)

規格	幅1.04m×長さ100m/巻
用途	網目状のガラス繊維補強布です。防水材補強布として使用します。(平場・立上り部兼用)

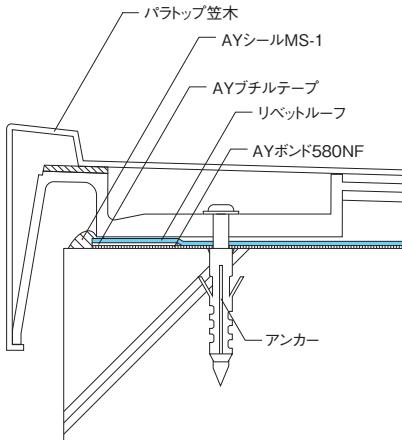


AXソフトクロス(合成繊維織布)

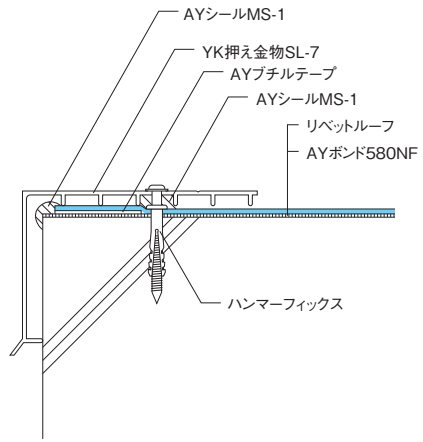
規格	幅1.0m×長さ50m/巻
用途	ポリエステル繊維の防水材用補強布です。下地の凹凸になじみやすく、施工も容易です。(平場・立上り部兼用)

●各ページで紹介している納まりは、一例です。下地、その他の状況によって納まりの検討が必要です。また、各図はカタログ用に作成された、製品・部材の構成を示したイメージ図例です。実際の各種製図データとは異なります。

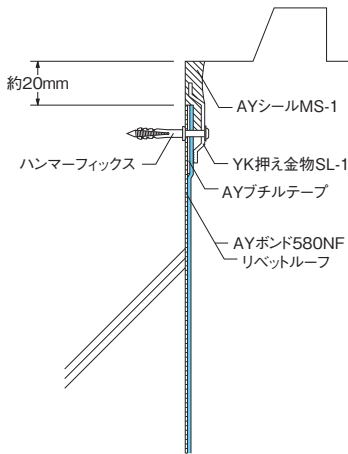
笠木部の例



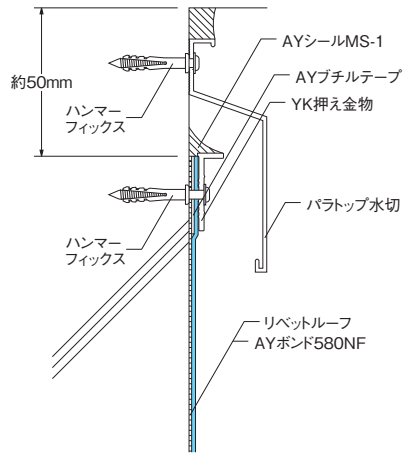
天端部の例



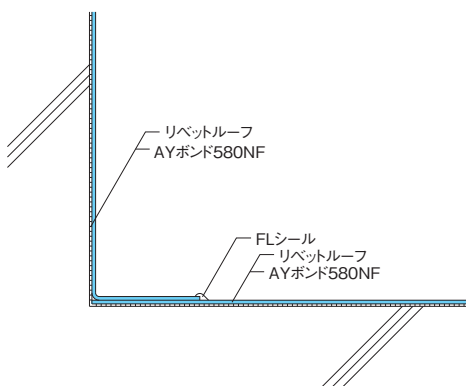
あご下部の例



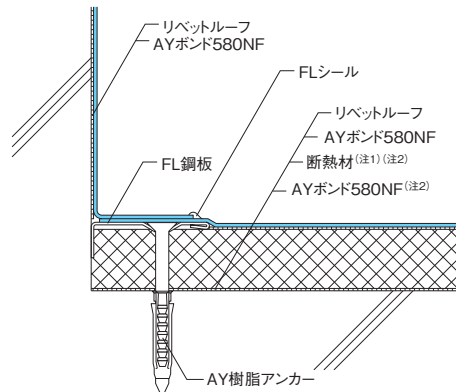
壁 取り合い部の例



入隅・平場部(接着工法)の例



入隅・平場部(接着断熱工法)の例

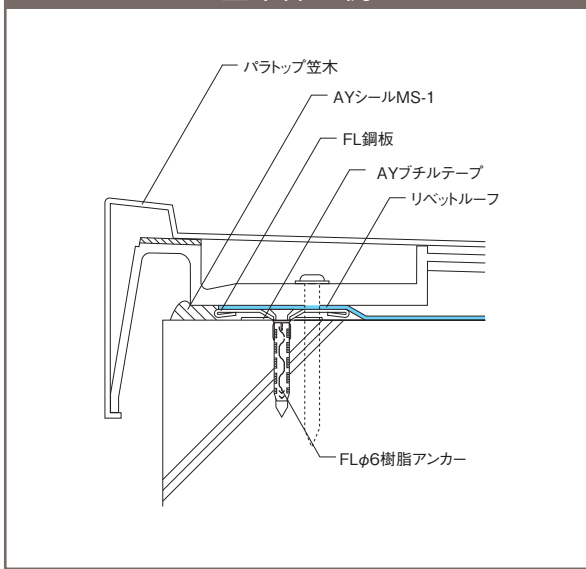


(注1) 断熱材にポリエチレンフォームを使用する場合は、ポリエチレンフォームの両面にAYボンド500NFの塗布が必要です。

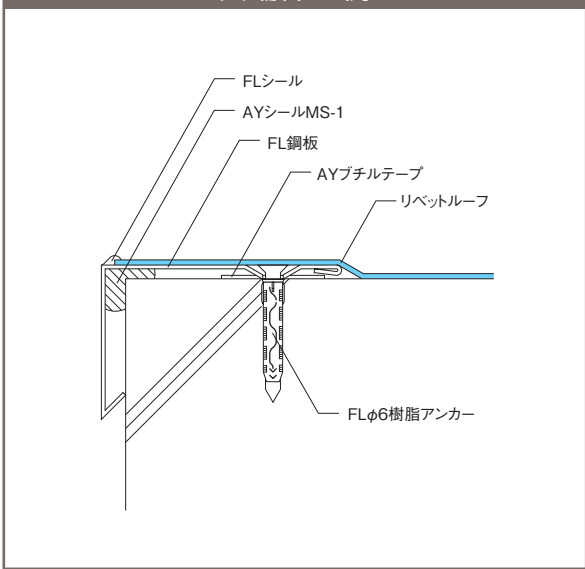
(注2) 断熱材にアキレスボードGFを使用する場合は、下地面への接着剤としてネダジャンボを使用してください。



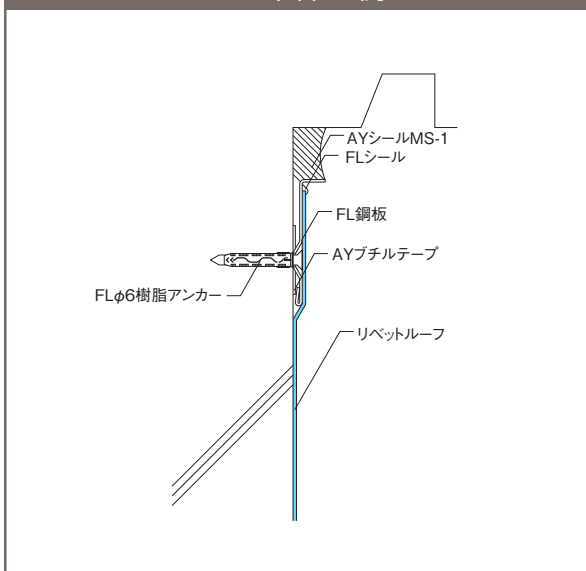
笠木部の例



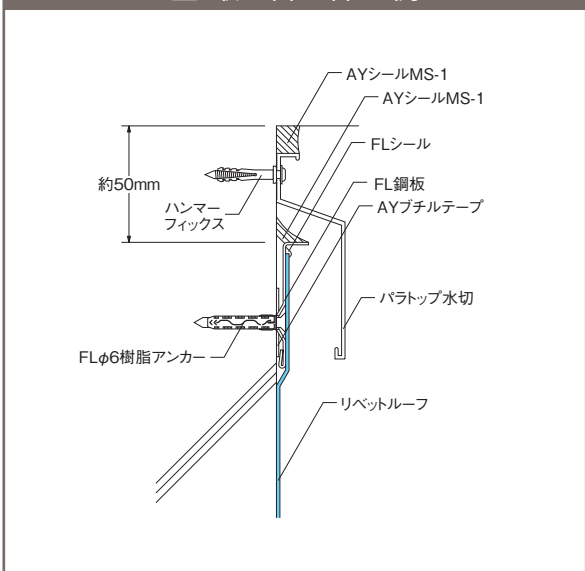
天端部の例



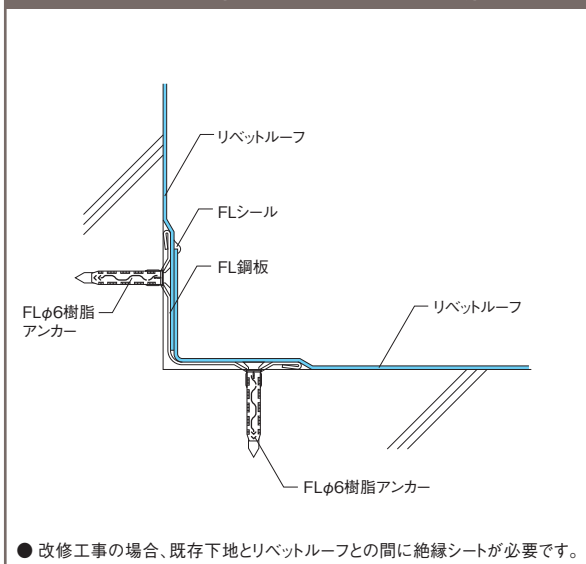
あご下部の例



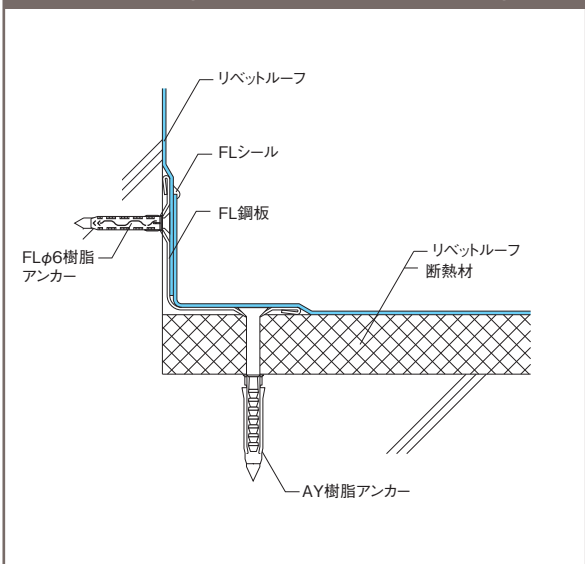
壁 取り合い部の例



入隅・平場部(アンカー固定工法)の例

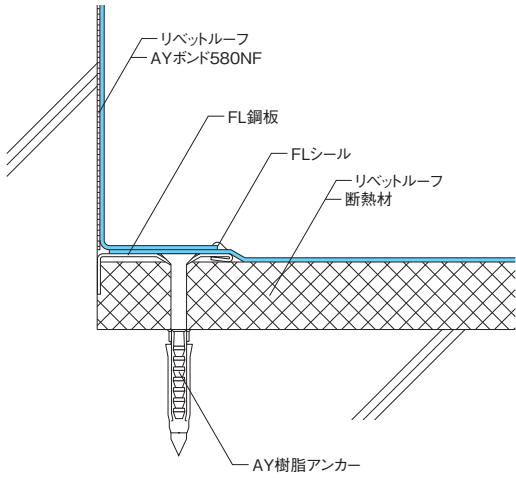


入隅・平場部(アンカー固定断熱工法)の例

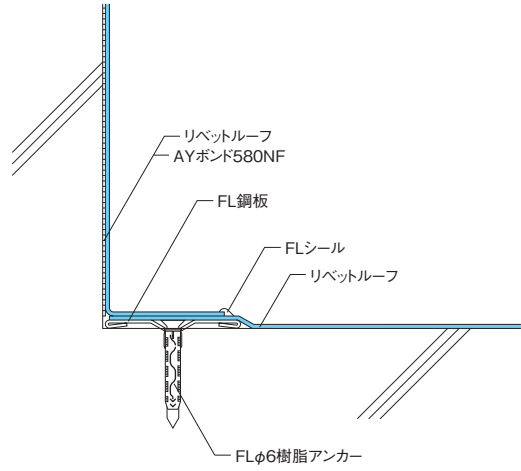


● 改修工事の場合、既存下地とリベットルーフとの間に絶縁シートが必要です。

アンカー固定断熱工法(立上り接着)の例

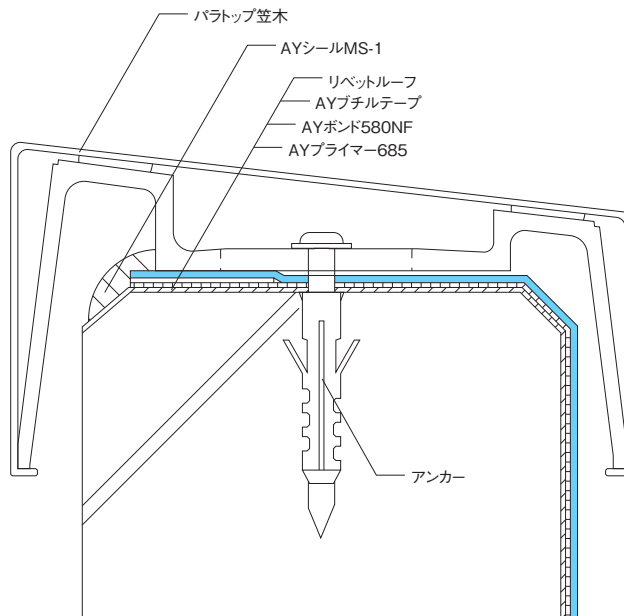


アンカー固定工法(立上り接着)の例

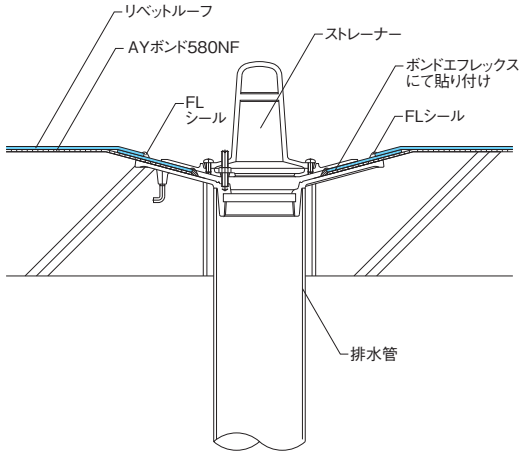


● 改修工事の場合、既存下地とリベットルーフとの間に絶縁シートが必要です。

ALC下地納まり 立上り接着の例

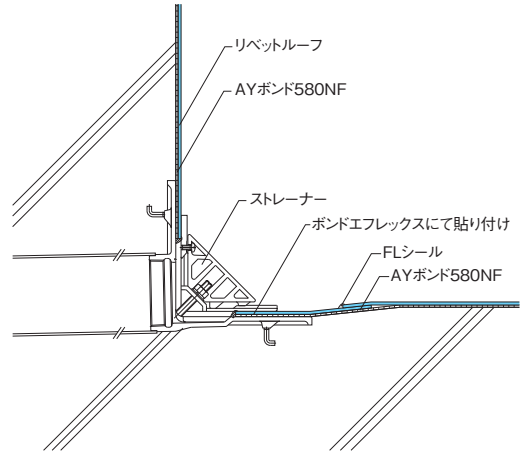


縦型ドレン新築納まりの例



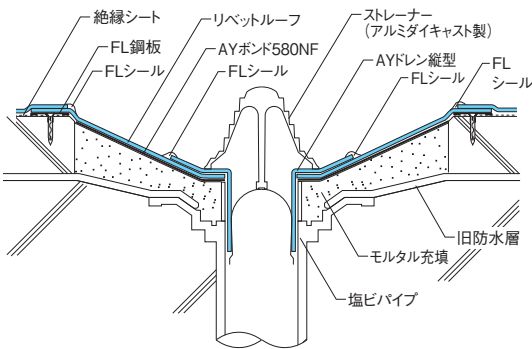
- 防水性能の向上のため、鏝の広いドレンの採用を推奨します。(防水層張掛け幅100mmタイプのドレンを推奨します。)

横型ドレン新築納まりの例



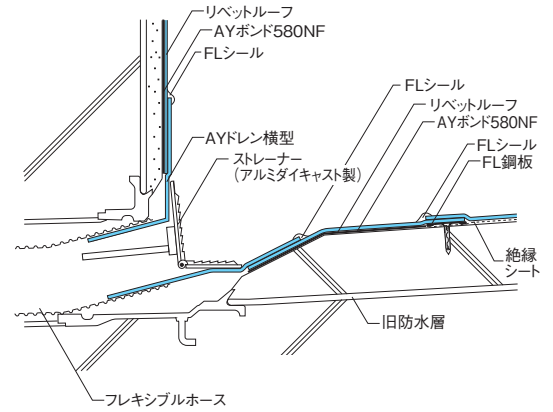
- 防水性能の向上のため、鏝の広いドレンの採用を推奨します。(防水層張掛け幅100mmタイプのドレンを推奨します。)

縦型ドレン改修納まりの例 1



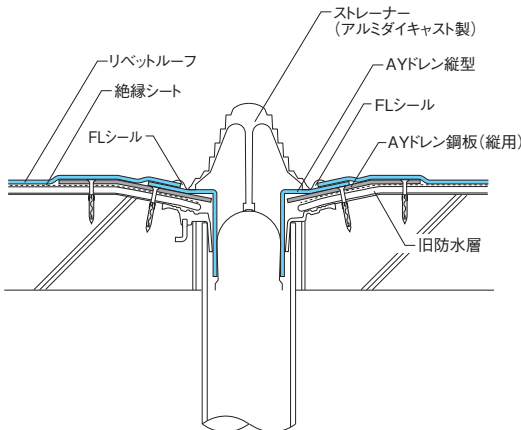
- AYドレンを「後付け」で納める場合。

横型ドレン改修納まりの例 1



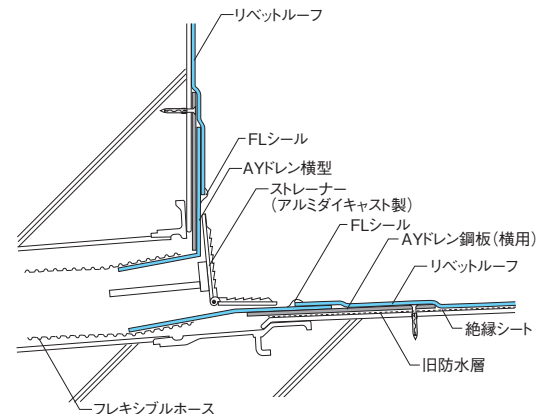
- AYドレンを「後付け」で納める場合。

縦型ドレン改修納まりの例 2



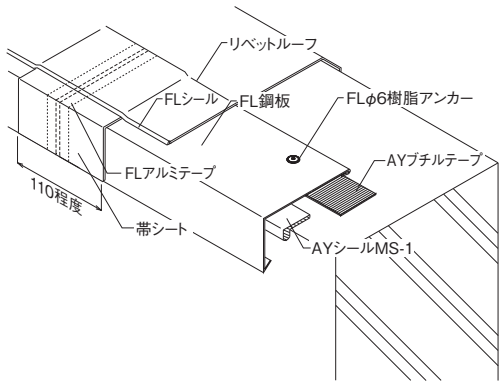
- AYドレンを「先付け」で納める場合。

横型ドレン改修納まりの例 2



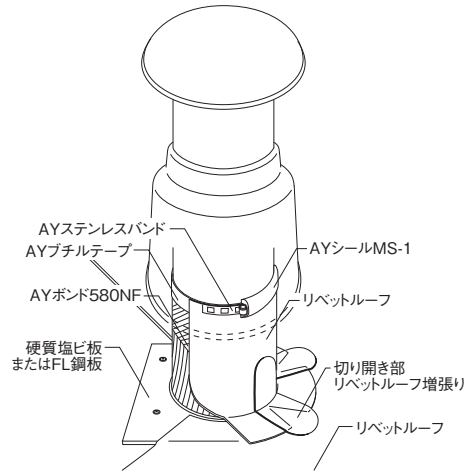
- AYドレンを「先付け」で納める場合。

天端納まり 立上りアンカー固定イメージ

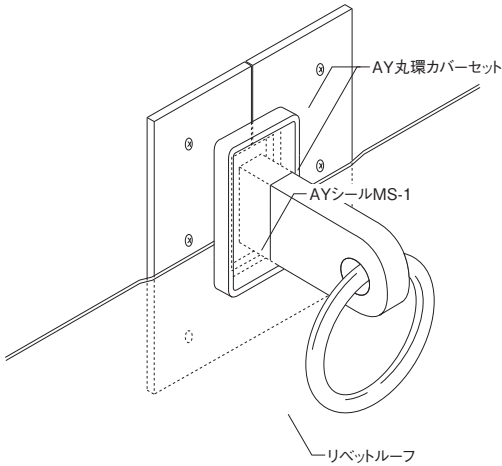


● 改修工事の場合、既存下地とリベットルーフとの間に絶縁シートが必要です。

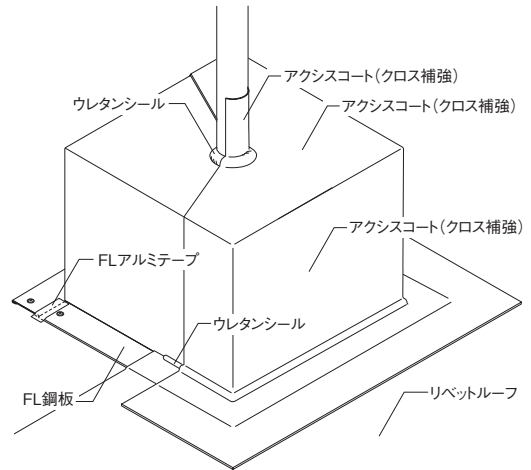
臭気筒廻り納まりイメージ



丸環納まり イメージ

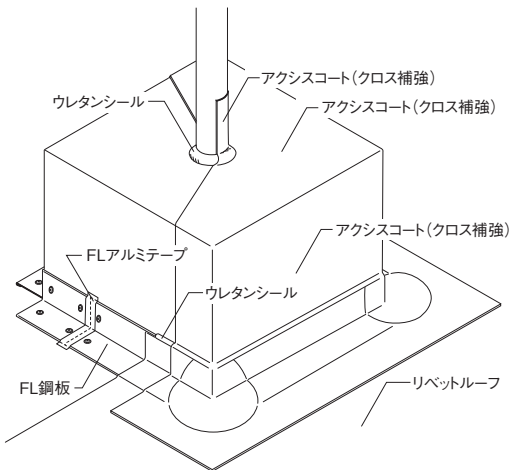


架台廻り納まりイメージ 1



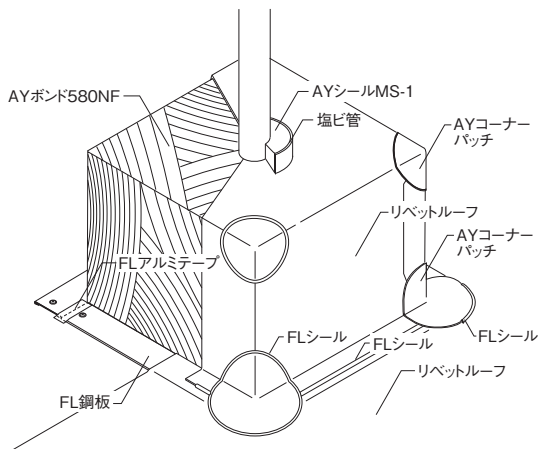
※ 各下地に適合したプライマー塗布が必要です。
※ 入隅部にコーナー用補強布が必要です。

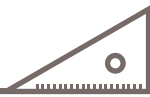
架台廻り納まりイメージ 2



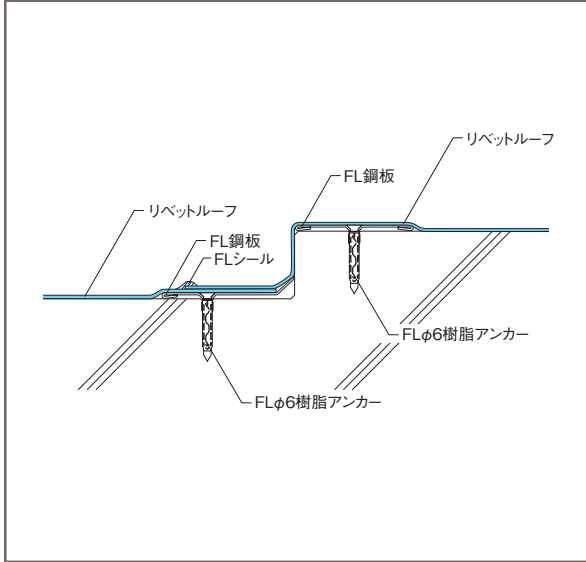
※ 各下地に適合したプライマー塗布が必要です。

架台廻り納まりイメージ 3

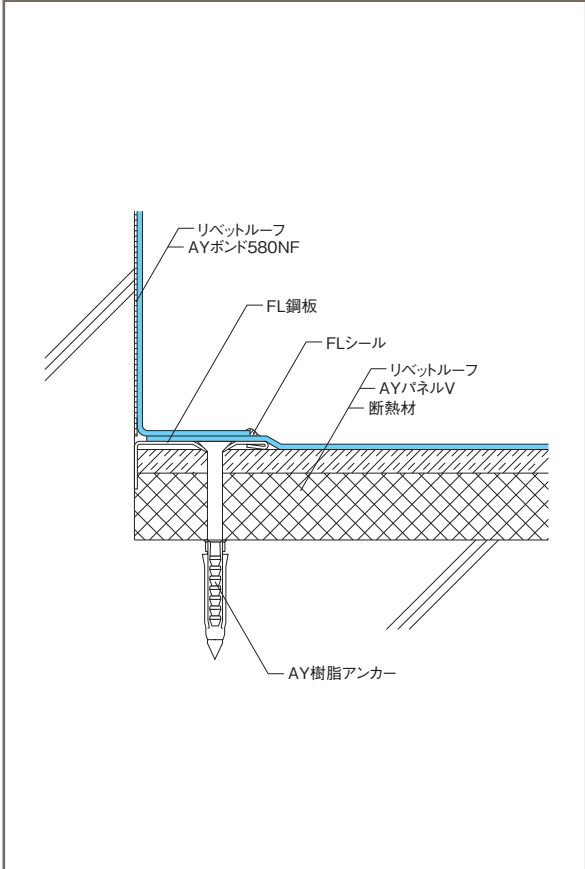




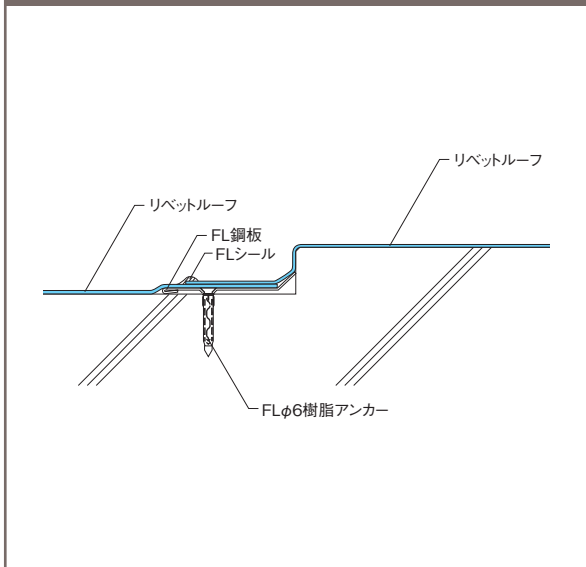
側溝部納まりの例 1



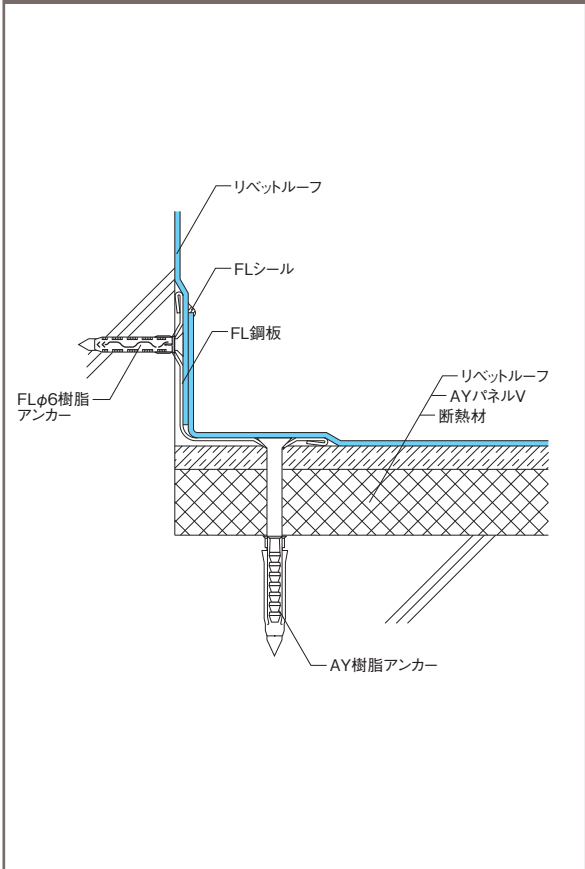
AYパネルV仕様立上り接着工法の例



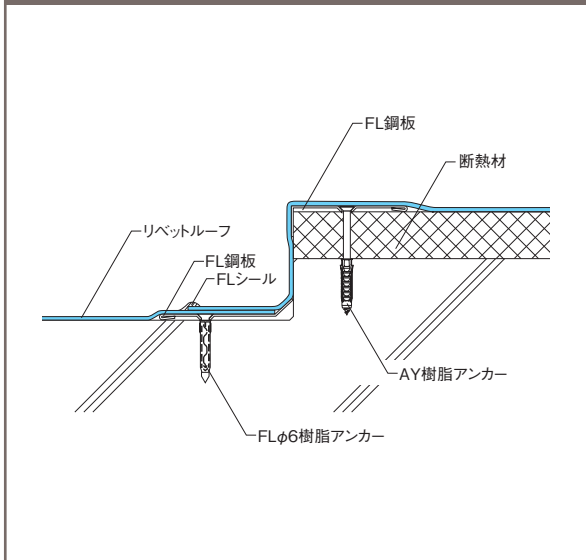
側溝部納まりの例 2

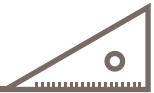


AYパネルV仕様立上りアンカー固定工法の例

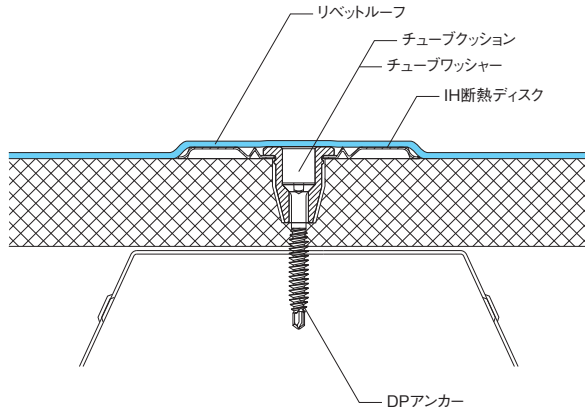


側溝部納まりの例 3



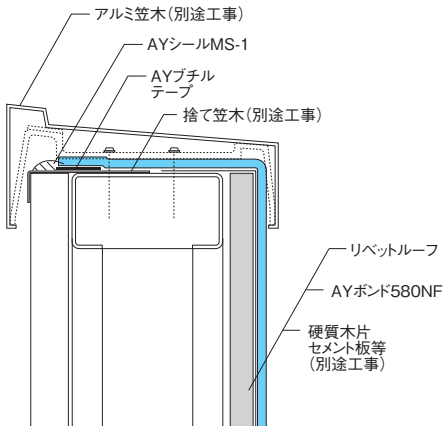


IH断熱ディスク納まり例



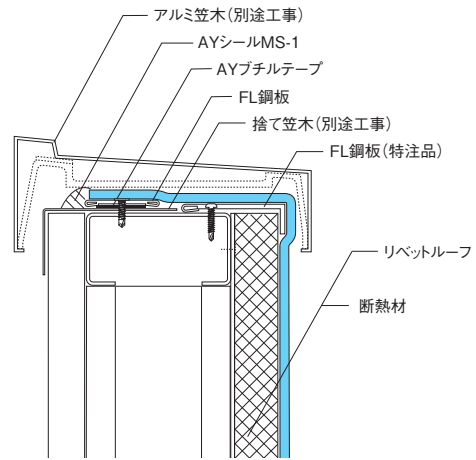
※ チューブワッシャーとDPアンカーの長さは採用する断熱材の厚さによって変わります。

天端部納まりの例 1



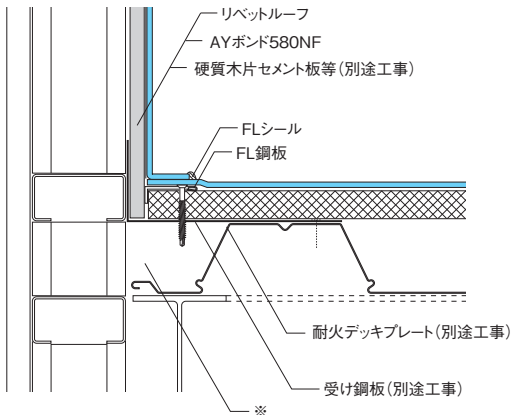
※ 捨て笠木には裏打ちシールが必要です。(別途工事)

天端部納まりの例 2



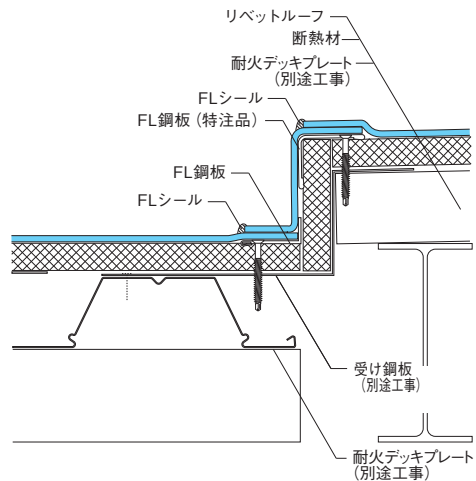
※ 捨て笠木には裏打ちシールが必要です。(別途工事)

入り隅部納まりの例

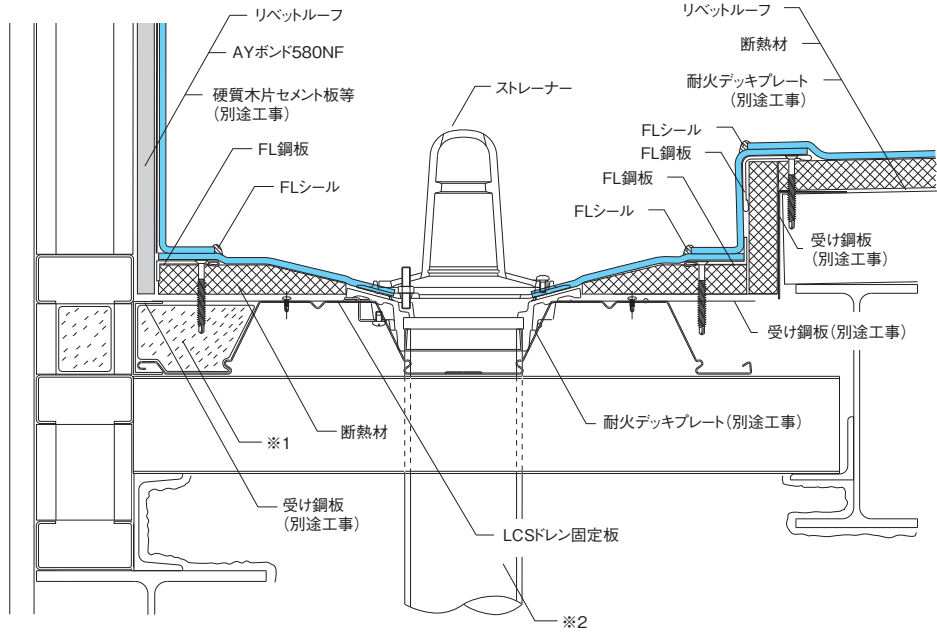


※ デッキ端部、突合わせ部などには、遮炎性を満たす処置が必要です。(別途工事)

段差部納まりの例

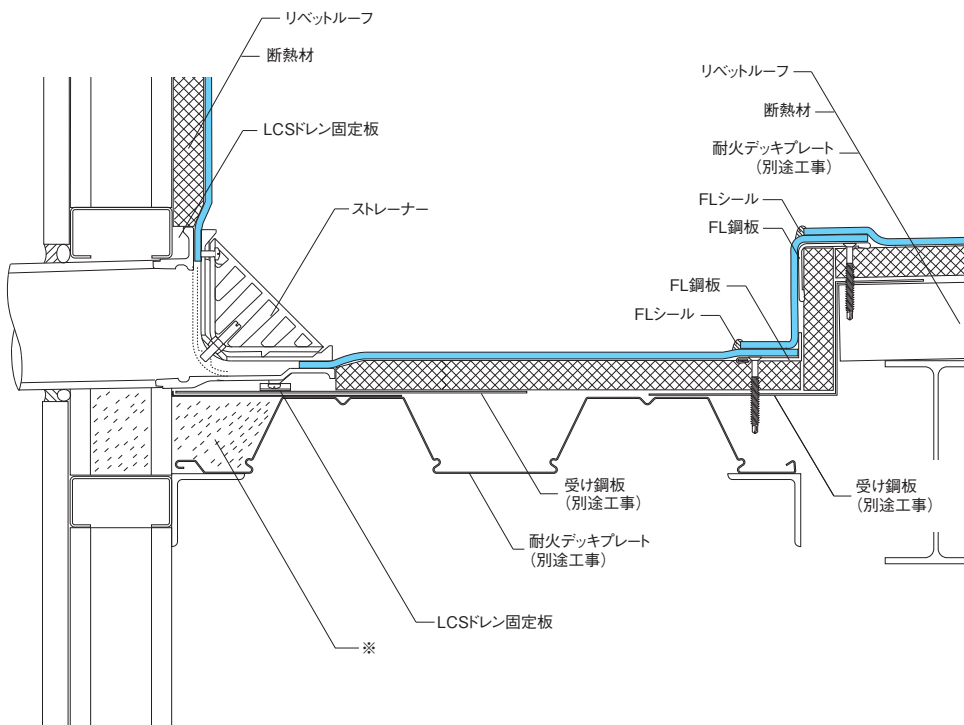


縦型ドレン部納まりの例



※1 デッキ端部、突合わせ部などには、遮炎性を満たす処置が必要です。(別途工事)
 ※2 立管が室内になる場合、銅管等の結露防止対策を検討してください。

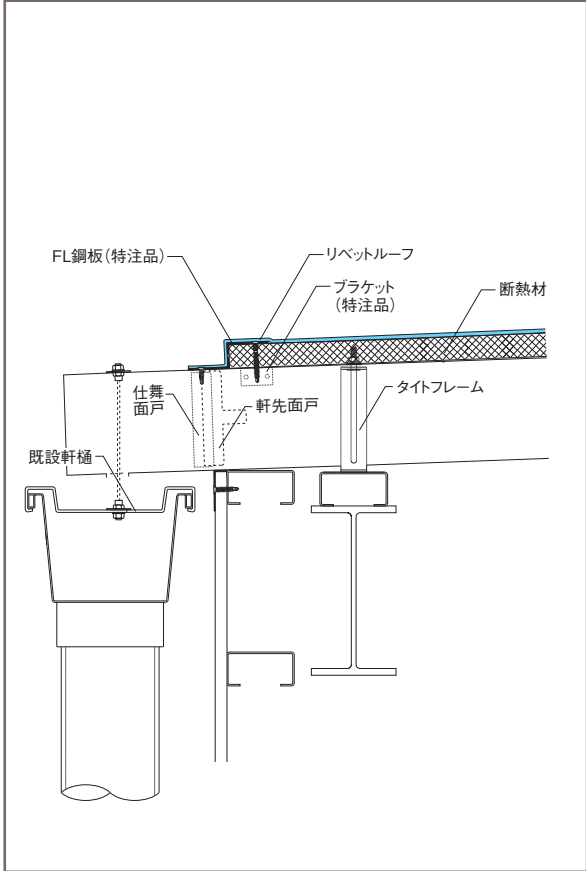
横型ドレン部納まりの例



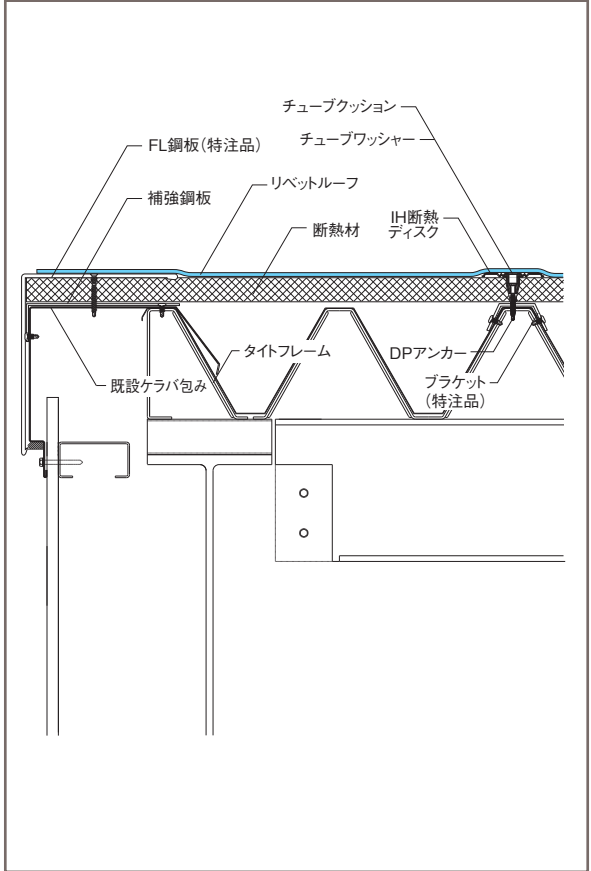
※ デッキ端部、突合わせ部などには、遮炎性を満たす処置が必要です。(別途工事)



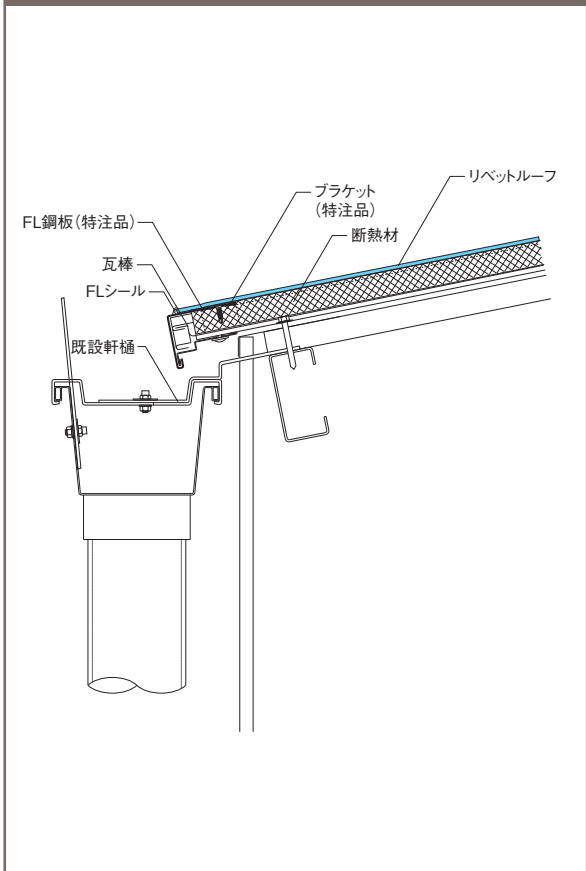
折板の改修 軒先部納まりの例



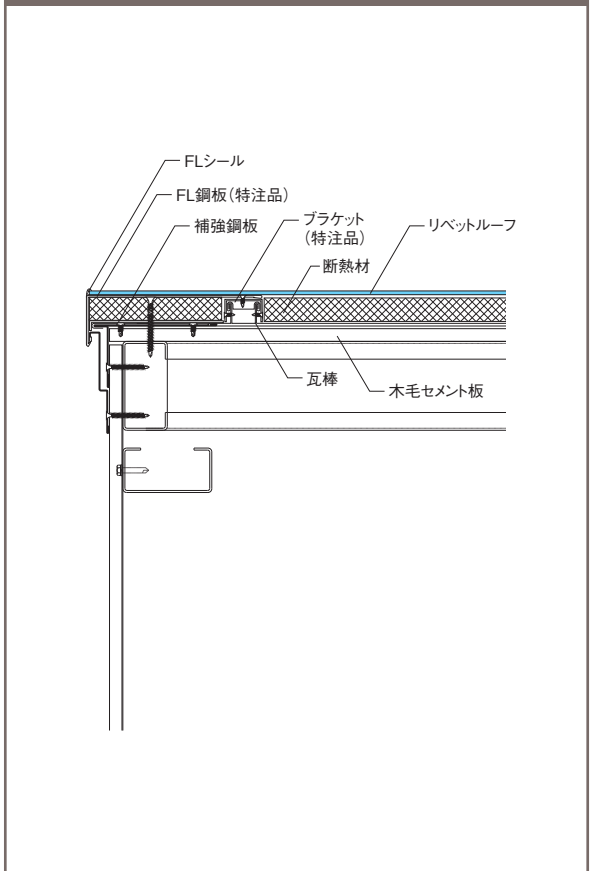
折板の改修 ケラバ部納まりの例



瓦棒の改修 軒先部納まりの例

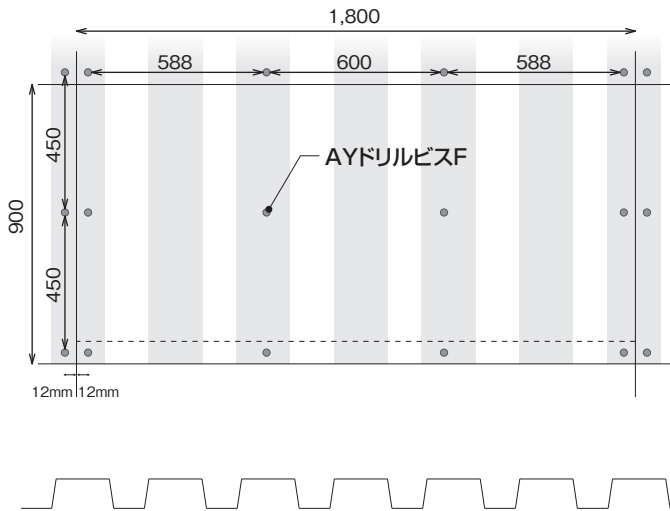


瓦棒の改修 ケラバ部納まりの例



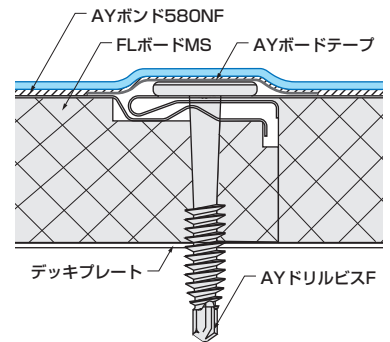
AYドリルビスFの固定ピッチの例

〈標準〉



カタログ掲載P23のシステムにおける標準的な固定ピッチの例です。
実際の施工場所における固定ピッチ詳細についてはお問い合わせください。

FLボードMSの接合部イメージ

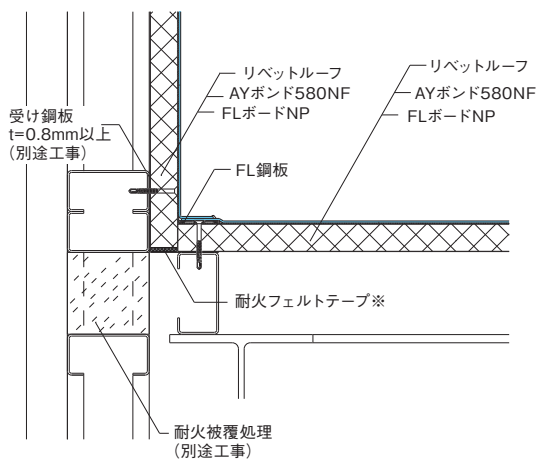


AYドリルビスFを用いてFLボードMSを固定した後、断熱材の継ぎ目部分に(AYドリルビスFを覆うように)AYボードテープを貼付けます。その後に、AYボンド580NFを塗布し、リベットルーフを敷設します。

※改修における固定ピッチはお問い合わせください。

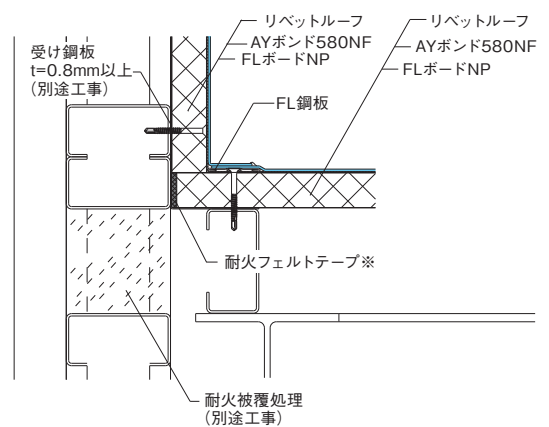
耐火断熱パネル下地防水工法

NPシステム入隅部納まりイメージ1



※結露対策のため、耐火フェルトテープを設置

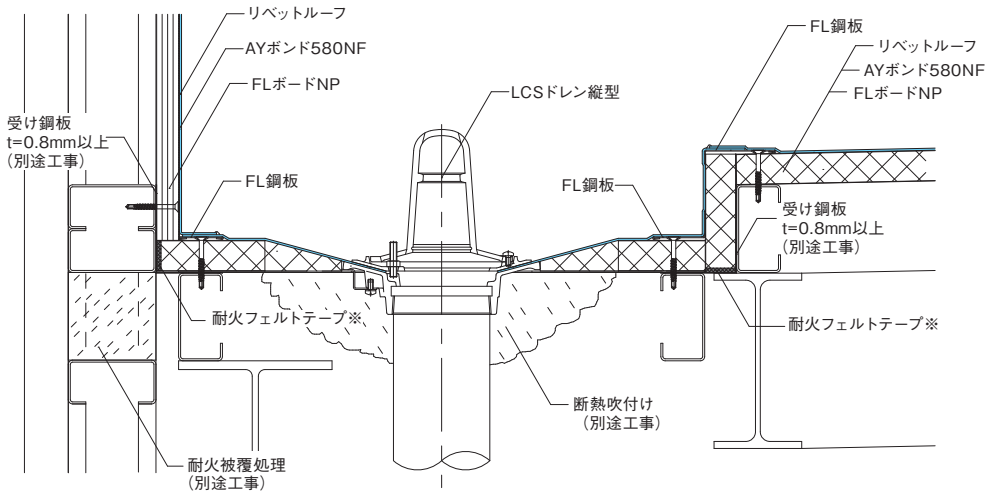
NPシステム入隅部納まりイメージ2



※結露対策のため、耐火フェルトテープを設置

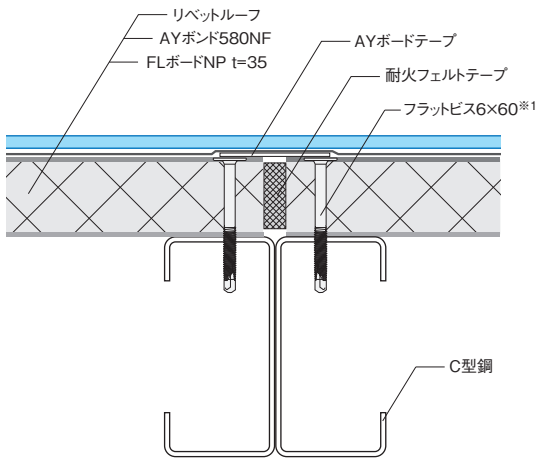


NPシステム縦ドレン部納まりイメージ



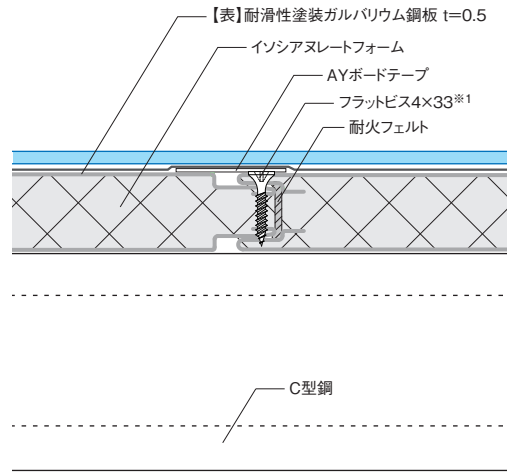
※結露対策のため、耐火フェルトテープを設置

FLボードNP(またはNC)ジョイント部(短手方向)イメージ



※1: FLボードNP(またはNC)の厚さが35mmの場合。

FLボードNP(またはNC)ジョイント部(長手方向)イメージ



※1: FLボードNP(またはNC)の厚さが35mmの場合。

国交省仕様の防水<改修>工事分類

公共建築改修工事標準仕様書（令和4年版より抜粋）

既存防水層	既存防水層と保護層の撤去/非撤去	新設防水層	国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書仕様			リベツルーフ対応工法	掲載ページ
			工法の種類 (工法の記号)		種別		
保護アスファルト 防水工法 	保護層及び 防水層 非撤去	合成高分子 ルーフィング シート防水工法	POS工法	接着工法	S-F2	非歩行/歩行・接着工法 ^{(注1)(注2)} F-N15 F-SGM15 F-COOL15 F-HP15	P17
				機械的固定工法	S-M2	非歩行/歩行・アンカー固定工法 ^(注1) MIH-SGM15 MIH-COOL15 MIH-SW15 MIH-HP15	P 9
			POSII工法	接着工法	SI-F2	非歩行・接着断熱工法 F-SGM15E F-SGM15GF F-COOL15E F-COOL15GF F-HP15E F-HP15GF	P15 P16
				機械的固定工法	SI-M2	非歩行・アンカー固定断熱工法 MIH-SGM15NU/S MIH-SW15NU/S MIH-COOL15NU/S MIH-HP15NU/S	P 7 P 8
露出アスファルト 防水工法 	露出防水層 非撤去		M4S工法	S-M2		非歩行/歩行・アンカー固定工法 ^(注1) MIH-SGM15 MIH-COOL15 MIH-SW15 MIH-HP15	P 9
			M4SI工法	SI-M2		非歩行・アンカー固定断熱工法 MIH-SGM15NU/S MIH-SW15NU/S MIH-COOL15NU/S MIH-HP15NU/S	P 7 P 8
合成高分子ルーフィング シート防水工法 	露出防水層 撤去		S3S工法	S-F2		非歩行/歩行・接着工法 ^{(注1)(注2)} F-N15 F-SGM15 F-COOL15 F-HP15	P17
			S3SI工法	SI-F2		非歩行・接着断熱工法 F-SGM15E F-SGM15GF F-COOL15E F-COOL15GF F-HP15E F-HP15GF	P15 P16
	露出防水層 非撤去	S4S工法	接着工法	S-F2		—	—
			機械的固定工法	S-M2		非歩行/歩行・アンカー固定工法 ^(注1) MIH-SGM15 MIH-COOL15 MIH-SW15 MIH-HP15	P 9
S4SI工法	接着工法	SI-F2		—	—		
	機械的固定工法	SI-M2		非歩行・アンカー固定断熱工法 MIH-SGM15NU/S MIH-SW15NU/S MIH-COOL15NU/S MIH-HP15NU/S	P 7 P 8		

※シートの厚さは特記仕様書、設計図面に従います。指定がない場合接着工法・機械的固定工法ともに厚さ1.5mmのシートを使用します。

(注1) 特記があれば厚さ2.0mmのシートを用いて歩行仕様とする事が可能です。

(注2) AYボンド800を使用した場合、S-F2相当となります。

S 4 S 工法

- ① ② ③ — 新規防水工法の種別による区分
 — 既存の保護層及び防水層の撤去・非撤去による区分
 — 既存防水工法の区分

- ① 既存防水工法の区分
 P : 保護アスファルト防水工法 ※1
 M : 露出アスファルト防水工法 ※1
 S : 合成高分子系ルーフィングシート防水工法

※1 改質アスファルトシート防水工法を含む

- ② 既存の保護層及び防水層の撤去・非撤去による区分
 3 : 露出防水層撤去
 4 : 露出防水層非撤去
 0 : 保護層及び防水層非撤去

- ③ 新規防水工法の種別による区分
 S : 合成高分子系ルーフィングシート防水工法
 SI : 合成高分子系ルーフィングシート防水断熱工法

※立上り部は、接着工法で改修の場合、既存防水層は撤去する。機械的固定工法による改修の場合、既存防水層の撤去の要否は特記による。特記がなければ、ルーフィング類製造所の仕様による。

国土交通省 公共建築工事(改修を含む)標準仕様書との対応

〈合成高分子系ルーフィングシート防水〉 リベットルーフシリーズは左記防水の種類に含まれます。

1. 工法、種別及び工程

機械的固定工法

[非断熱工法]

工法	機械的固定工法		工法	非歩行/歩行・アンカー固定工法		(掲載) P9・10
種別	S-M2		種別	MIH-SGM15 MIH-SW15	MIH-COOL15 MIH-HP15	
工程	材料・工法	使用量	工程	材料・工法		使用量
1	—	—	1	—		—
2	(絶縁用シート敷設) ※改修の場合	—	2	(絶縁シート) ※改修の場合		—
3	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート (1.5mm)の固定金具による固定	—	3	リベットルーフ SGM/SW/COOL/HP (1.5mmまたは2.0mm)		—
4	—	—	4	—		—

● ALCパネル下地の場合は、機械的固定工法は適用しない。● 特記により歩行仕様とする場合シートの厚みは2.0mmとする。

[断熱工法]

工法	機械的固定工法		工法	非歩行アンカー固定断熱工法		(掲載) P7・8
種別	SI-M2		種別	MIH-SGM15NU MIH-SW15NU MIH-COOL15NU MIH-HP15NU	MIH-SGM15S MIH-SW15S MIH-COOL15S MIH-HP15S	
工程	材料・工法	使用量	工程	材料・工法		使用量
1	—	—	1	—		—
2	断熱材 (注1)	—	2	FLボードNU	FLボードS	—
3	可塑性移行防止用シート敷設 (注2)	—	3	可塑性移行防止層(面材)付きのため 可塑性移行防止用シートは不要		—
4	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート (1.5mm)の固定金具による固定	—	4	リベットルーフ SGM/SW/COOL/HP (1.5mmまたは2.0mm)		—

建築工事監理指針 令和四年版

9章4節 合成高分子系ルーフィングシート防水 9.4.4施工(断熱材の敷設)種別SI-M2で(中略)可塑性移行防止層を面材として張り合わせたポリスチレンフォーム断熱材を使用する場合は、可塑性移行防止用シートを省くことができる。この場合の断熱材は、ルーフィングシートの製造所の仕様による。

(注1) SI-M2の場合の防湿フィルムの設置は特記による。

(注2) SI-M2の場合で、断熱材が硬質ウレタンフォーム断熱材を用いる場合は、工程3を行わない。

(注3) 工程2の断熱材張付けに用いる接着剤の使用量は、ルーフィングシートの製造所の仕様による。ただし、改修の場合に於いては、SI-F2にのみ適用される。

● ALCパネル下地の場合は、機械的固定工法は適用しない。

2. 材料

● ルーフィングシートは、JIS A 6008(合成高分子系ルーフィングシート)により、種類および厚さは特記による。

▶ リベットルーフシリーズはJIS A 6008に適合しています。機械的固定工法・接着工法ともに特記があれば2.0mmのシートも使用可能です。

● 可塑性移行防止用シートおよび絶縁シートの材質は、特記による。特記がなければ、発泡ポリエチレンシートとする。

▶ 絶縁シート(本ページおよび右ページ記載)は、ポリエチレン繊維補強発泡シートです(P39参照)。

● プライマー、層間接着用プライマー、増張りシート、成形役物、接着剤、シール材、絶縁用テープ、防湿用フィルム、成形緩衝材等は、ルーフィングシート製造所の指定する製品とする。

● 固定金具の材質、形状及び寸法は、特記による。特記がなければ、防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面又は両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のものとする。

▶ IHディスク、FL鋼板などリベットルーフ防水システムに用いる固定金具は上記仕様に適合しています(P39以降参照)。

● 断熱工法に用いる断熱材は、次による。

① 機械的固定工法の場合は、JIS A9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材とし、種類及び厚さは、特記による。ただし、硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号の場合は、透湿係数を除くJIS A9521の規格に準ずるものとし、ポリエチレンフォーム断熱材は適用しない。

特記仕様書、設計図面などをご確認のうえ仕様選定を行ってください。

接着工法

[非断熱工法]

工法	接着工法		工法	非歩行/歩行・接着工法		(掲載)
種別	S-F2		種別	F-N15 F-SGM15	F-COOL15 F-HP15	P17
工程	材料・工法	使用量	工程	材料・工法		使用量
1	(プライマー塗り) ※ALCパネル下地の場合	(0.3kg/㎡)	1	(AYプライマー685にセメントを混合したセメントペースト) ※ALCパネル下地の場合		(0.6kg/㎡) ※セメントペースト
2	接着剤塗布	0.4kg/㎡	2	AYボンド580NF	リベットルーフ ナイン/SGM/COOL/HP (1.5mmまたは2.0mm) ※ALCパネルの場合「リベットルーフナイン」は不可。	下地塗布 0.25kg/㎡ シート裏面塗布 0.25kg/㎡
3	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート (1.5mm)張付け	—	3	リベットルーフ ナイン/SGM/COOL/HP (1.5mmまたは2.0mm) ※ALCパネルの場合「リベットルーフナイン」は不可。		—
4	—	—	4	—		—

● S4S工法で既存防水層の表面に層間プライマーを塗布した場合は、工程1を省略する。(改修の場合) ● 特記により歩行仕様とする場合シートの厚みは2.0mmとする。

[断熱工法]

工法	接着工法		工法	非歩行接着断熱工法			
種別	SI-F2		種別	F-SGM15E F-COOL15E F-HP15E	(掲載) P15	F-SGM15GF F-COOL15GF F-HP15GF	(掲載) P16
工程	材料・工法	使用量	工程	材料・工法	使用量	材料・工法	使用量
1	(プライマー塗り) ※ALCパネル下地の場合	(0.3kg/㎡)	1	(AYプライマー685にセメントを混合したセメントペースト) ※ALCパネル下地の場合	(0.6kg/㎡) ※セメントペースト	— ※ALCパネル下地の場合是对応不可	—
2	接着剤/断熱材 (注3)	—	2	AYボンド580NF(下地)/ AYボンド500NF(断熱材)/ ポリエチレンフォーム	下地塗布 0.25kg/㎡ 断熱材表面塗布 0.25kg/㎡	ネダジャンボ/ アキレスボードGF	断熱材表面塗布 0.233kg/㎡
3	接着剤塗布	0.4kg/㎡	3	AYボンド500NF(断熱材)/ AYボンド580NF(シート)	断熱材表面塗布 0.25kg/㎡ シート裏面塗布 0.25kg/㎡	AYボンド580NF(断熱材)/ AYボンド580NF(シート)	断熱材表面塗布 0.25kg/㎡ シート裏面塗布 0.25kg/㎡
4	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート (1.5mm)張付け	—	4	リベットルーフ SGM/COOL/HP (1.5mmまたは2.0mm)	—	リベットルーフ SGM/COOL/HP (1.5mmまたは2.0mm)	—
5	—	—	5	—	—	—	—

● S4SI工法で既存防水層の表面に層間プライマーを塗布した場合は、工程1を省略する。(改修の場合) ● 特記があれば厚さ2.0mmのシートを採用できます。ただし、歩行仕様にはなりません。

② 接着工法の場合は、JIS A9521に基づく発泡プラスチック断熱材とし、種類及び厚さは、特記による。ただし、硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号の場合は、透湿係数を除くJIS A9521の規格に準ずるものとし、ポリエチレンフォーム断熱材の場合は、密度及び熱伝導率が、JIS A9521の規格に準ずるものとする。

- ▶ 「FLボードNU」…「JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 A」。
- 「FLボードS」…「JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A」に上下クラフト紙を貼り合わせ。
- 「ポリスチレンフォーム(3種)」…「JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A」。
- 「アキレスボードGF」…「JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材3種1号 D」相当。

[各仕様書の対応でのご注意事項]

- 「国土交通省 公共建築工事標準仕様書」仕様と、「国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書」仕様における工法の種別や工程は、重複しています。そのため両者を一元化して掲載しています。
- ※ただし、それぞれの仕様特有の内容については表内などに注記を設けております。ご確認ください。

〈参照した仕様書の詳細〉	国土交通省 公共建築工事標準仕様書仕様(建築工事編)	令和4年版
	国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書仕様(建築工事編)	令和4年版

- 表の欄外に記載している「S4SI工法」などの詳細については、別途P68をご確認ください。

日本建築学会 JASS8仕様との対応

〈 合成高分子系シート防水工事 〉 リベットルーフシリーズは左記防水の種類に含まれます。

機械的固定工法

[非断熱工法]

種別	S-PM		種別	MIH-SGM15 MIH-SW15 MIH-COOL15 MIH-HP15		(掲載) P9-10
工法	機械的固定仕様		工法	非歩行アンカー固定工法		
部位	平場(RC・PCa下地) (勾配1/50~1/20)	立上り(RC下地)	部位	平場(RC・PCa下地) (勾配1/50~1/20)	立上り(RC下地)	
工程	塩化ビニル樹脂系シート厚さ 1.5mmの固定金具による固定	塩化ビニル樹脂系シート厚さ 1.5mmの固定金具による固定	工程	リベットルーフ各種の FL鋼板・IHディスクなどによる固定	リベットルーフ各種の FL鋼板などによる固定	

[断熱工法]

種別	S-PMT		種別	MIH-SGM15NU/S MIH-SW15NU/S MIH-COOL15NU/S MIH-HP15NU/S		(掲載) P7-8
工法	断熱機械的固定仕様		工法	非歩行アンカー固定工法		
部位	平場(RC・PCa下地) (勾配1/50~1/20)	立上り(RC下地)	部位	平場(RC・PCa下地) (勾配1/50~1/20)	立上り(RC下地)	
工程	断熱材の敷き並べ	塩化ビニル樹脂系シート厚さ 1.5mmの固定金具による固定	工程	FLボードNU/FLボードSの敷き並べ	リベットルーフ各種の FL鋼板などによる固定	
2	可塑性移行防止用シートの敷き並べ	—	2	可塑性移行防止機能(面材)付きのため 可塑性移行防止用シート不要	—	
3	塩化ビニル樹脂系シート厚さ 1.5mmの固定金具による固定	—	3	リベットルーフ各種の FL鋼板・IHディスクなどによる固定	—	

- 断熱材、可塑性移行防止用シートの敷き並べおよび固定方法は、防水材製造所の指定による。ただし、硬質ポリウレタンフォームまたは可塑性移行防止用シート付きポリスチレンフォームの場合は、可塑性移行防止用シートの敷き並べは行わない。
- 「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令における算出方法等に係る事項(平成28年国土交通省告示265号、最終改正 令和元年11月15日国土交通省告示第783号)」の別表10の地域1、地域2、地域3および地域4においては、工程1「断熱材の敷き並べ」に先立ち、防湿用フィルムを敷き並べる。
- 厚さ2.0mmのシートを使用しても歩行仕様にはなりません。

[S-PM, S-PMT共通の注記]

- 立上りの下地をPCa部材とする場合はスラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理および増強りは特記による。● 使用するシートの厚さは、特記がない場合、1.5mmとする。※厚さ2.0mmのシートも使用可能です。● 出入隅角は、シート施工後、成形物を張り付け、その端部は、液状シール材を用いて処理する。● 立上りおよび立下りを接着工法とする場合は、特記による。● 防水層の立上りおよび立下りの末端は固定金具に固定し、不定形シール材を用いて処理する。
- ALCパネル下地への適用は、特記による。● シートの固定方法は、防水材製造所の指定による。その場合の固定金具の個数は、設計風圧力に基づいて決定する。

金属下地の場合(断熱仕様・機械的固定工法)

種別	参考となる仕様(2) 面材固定防水工事		種別	MIHFD-SW15NU/S MIHFD-COOL15NU/S MIHFD-HP15NU		(掲載) P19-20
工法	合成高分子系シート防水工法・ 金属下地断熱機械的固定仕様		工法	LCS工法(非歩行アンカー固定断熱工法)		
部位	平場(金属下地) (勾配1/50~1/20)	立上り (耐火野地板または金属被覆断熱板)	部位	平場(金属下地) (勾配1/50~1/20)	立上り (耐火野地板または金属被覆断熱板)	
工程	断熱材の敷き並べ	—	工程	FLボードNU/FLボードSの敷き並べ	—	
2	塩化ビニル樹脂系シートの 固定金具による固定	塩化ビニル樹脂系シートの 固定金具による固定	2	リベットルーフ各種の FL鋼板・IHディスクなどによる固定	リベットルーフ各種の FL鋼板・IHディスクなどによる固定	

- 適用する金属下地は屋根30分耐火構造大臣認定品とし、その厚さは1.0mm以上のデッキ鋼製床板およびフラットデッキ板とする。
- 使用する合成高分子系シートの種類は均質または複合シートとし、その厚さは特記のない場合は、塩化ビニル樹脂系シートは1.5mmとする。※厚さ2.0mmのシートも使用可能です。
- 立上りおよび立下りを接着工法とする場合は、特記による。立上りを接着仕様とする場合は、プライマー塗布量(0.3kg/m²)および接着剤塗布量(0.4kg/m²)とする。ただし、塩化ビニル樹脂系シートの場合、プライマー塗りは行わない。なお、立上りを断熱仕様とする場合は、特記とする。
- 出隅角・入隅角はシートの張付け後に成形物を張り付け、その端部は、液状シール材を用いて処理する。
- 断熱工法の場合、シートの固定に先立ち断熱材を固定する。
 - (1) 塩化ビニル樹脂系シートの場合、断熱材の表面に可塑性移行防止層がない場合は、断熱材の上に可塑性移行防止用シートを敷き並べる。
 - (2) 断熱材の材質は、ポリスチレンフォーム、フェールフォームまたは硬質ウレタンフォームとし、その厚さは特記による。
 - (3) 断熱材の敷き並べおよび固定方法は特記による。
- 防水層の立上りおよび立下りの末端は、押え金物または固定金具で固定し、不定形シール材を用いて処理する。
- 脱気装置の設置および種類は、特記による。

特記仕様書、設計図面などをご確認のうえ仕様選定を行ってください。

接着工法

[非断熱工法]

種別	S-PF			種別	F-N15 F-COOL15	F-SGM15 F-HP15	(掲載) P17
工法	接着仕様			工法	非歩行接着工法		
部位 工程	平場(RC・PCa下地) (勾配1/50~1/20)	平場(ALC下地) (勾配1/50~1/20)	立上り(RC下地)	部位 工程	平場(RC・PCa下地) (勾配1/50~1/20)	平場(ALC下地) (勾配1/50~1/20)	立上り(RC下地)
1	接着剤塗り 下地面・シート面 [0.4kg/㎡]	プライマー塗り [0.3kg/㎡]	接着剤塗り 下地面・シート面 [0.4kg/㎡]	1	AYボンド580NF 下地面[0.25kg/㎡] シート面[0.25kg/㎡]	AYプライマー685に セメントを混合した セメントペースト [0.6kg/㎡]	AYボンド580NF 下地面[0.25kg/㎡] シート面[0.25kg/㎡]
2	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ1.5mm張付け	ALCパネル 短辺接合部に 絶縁用テープ張付け (幅50mm程度)	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ1.5mm張付け	2	リベトルーフ各種 (1.5mmまたは2.0mm) 張付け	PPジョイントテープ (幅50mm)	リベトルーフ各種 (1.5mmまたは2.0mm) 張付け
3	——	接着剤塗り 下地面・シート面 [0.4kg/㎡]	——	3	——	AYボンド580NF 下地面[0.25kg/㎡] シート面[0.25kg/㎡]	——
4	——	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ1.5mm張付け	——	4	——	リベトルーフ各種 (1.5mmまたは2.0mm) 張付け ※リベトルーフラインは不可	——

● 平場のPCa部材の接合部には目地処理を行う。その方法は特記による。 ● 接着剤は合成ゴム系、エポキシ樹脂系およびポリウレタン系とする。平場にエポキシ樹脂系の接着剤を用いる場合、その使用量は下地面のみに0.4kg/㎡、ポリウレタン系接着剤を用いる場合、その使用量は下地面のみに0.35kg/㎡とする。 ● 合成ゴム系接着剤は下地側およびシート側の両面に、エポキシ樹脂系接着剤およびポリウレタン系接着剤は下地面のみに塗布する。接着剤の使用量は、防水材製造所の指定による。

[断熱工法]

種別	S-PFT			種別	F-SGM15E F-HP15E	F-COOL15E	(掲載) P15
工法	断熱接着仕様			工法	非歩行接着断熱工法		
部位 工程	平場(RC・PCa下地) (勾配1/50~1/20)	平場(ALC下地) (勾配1/50~1/20)	立上り(RC下地)	部位 工程	平場(RC・PCa下地) (勾配1/50~1/20)	平場(ALC下地) (勾配1/50~1/20)	立上り(RC下地)
1	接着剤塗り 下地面・断熱材裏面 [0.4kg/㎡]	プライマー塗り [0.3kg/㎡]	接着剤塗り 下地面・シート面 [0.4kg/㎡]	1	AYボンド580NF 下地面[0.25kg/㎡]	AYプライマー685に セメントを混合した セメントペースト [0.6kg/㎡]	AYボンド580NF 下地面[0.25kg/㎡] シート面[0.25kg/㎡]
2	断熱材張付け	接着剤塗り 下地面・断熱材裏面 [0.4kg/㎡]	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ1.5mm張付け	2	ポリエチレンフォーム AYボンド500NF 断熱材下地側[0.25kg/㎡] 断熱材シート側[0.25kg/㎡]	AYボンド580NF 下地面[0.25kg/㎡]	リベトルーフ各種 (1.5mmまたは2.0mm) 張付け
3	断熱材の 固定金具による 固定(立上り際)	断熱材張付け	——	3	FL鋼板による固定 (立上り際)	ポリエチレンフォーム AYボンド500NF 断熱材下地側[0.25kg/㎡] 断熱材シート側[0.25kg/㎡]	——
4	接着剤塗り 断熱材表面・シート面 [0.4kg/㎡]	断熱材の 固定金具による 固定(立上り際)	——	4	AYボンド580NF シート面[0.25kg/㎡]	FL鋼板による固定 (立上り際)	——
5	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ1.5mm張付け	接着剤塗り 断熱材表面・シート面 [0.4kg/㎡]	——	5	リベトルーフ各種 (1.5mmまたは2.0mm) 張付け	AYボンド580NF シート面[0.25kg/㎡]	——
6	——	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ1.5mm張付け	——	6	——	リベトルーフ各種 (1.5mmまたは2.0mm) 張付け	——

● 接着剤は、合成ゴム系とする。 ● 合成ゴム系接着剤は、下地側および断熱材側の両面、断熱材側およびシート側の両面、立上りの下地側およびシート側の両面に塗布する。特記により、両面に接着処理された断熱材を使用する場合は、断熱材側には接着剤を塗布しない。接着剤の使用量は、防水材製造所の指定による。 ● 断熱材の材質はポリエチレンフォームとし、その厚さは特記による。張付け方法は、防水材製造所の指定による。 ● 厚さ2.0mmのシートを使用しても歩行仕様にはなりません。

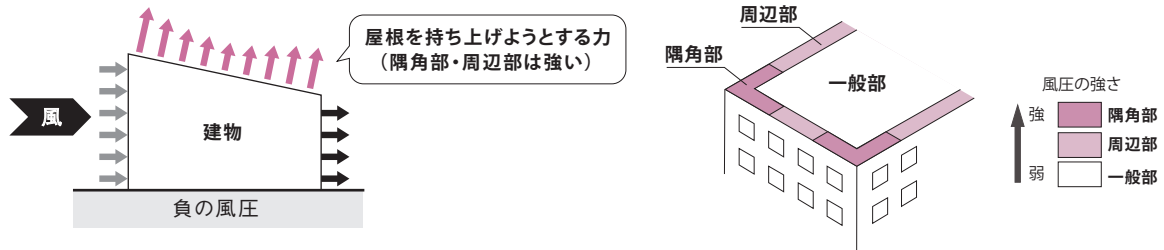
[S-PF、S-PFT共通の注記]

● 立上りの下地をPCa部材またはALC/ホルタルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。接合部には絶縁処理または増張りを施す。その方法は特記による。 ● 使用するシートの種別は、均質または複合シートとする。種類の指定は、特記による。
● シート施工後、出隅角(立上り出隅の下端)および入隅角(立上り入隅の下端)には成形役物を張り付け、その端部は液状シール材を用いて処理する。 ● 防水層立上りの末端は、押し金物で固定し、シール材を用いて処理する。

風圧について

屋根に生じる風圧について

風が吹くと、屋根を持ち上げようとする力(負圧)が働きます。強風で瓦が飛ばされたり、防水層がめくれ上がるのは、負圧による現象です。屋根面は「一般部」「周辺部」「隅角部」で、風圧力が異なります。それぞれの部分で防水層の適切な固定強度が必要です。



風圧力とシート固定力の計算について

屋根にかかる風圧力は、法令によって定められた計算方法に則って計算を行います。防水層の施工にあたっては、算定された風圧力を上回る固定力で、屋根面へ固定することが求められます。

単位面積あたり
**シート
固定力**
(N/m²)

>

◆風圧力計算式(法令に基づき算定)

W = q × C_f

風圧力 (N/m²) 速度圧 (N/m²) ピーク風力係数

【ピーク風力係数の算定方法詳細】

C_f = C_{pe} - C_{pi}

ピーク風力係数 ピーク外圧係数 ピーク内圧係数

告示1458号で、計算時に採用すべき数値が定められています。
建物の種類や屋根形状で数値が異なるため、告示を参照ください。

【速度圧の算定方法詳細】

q = 0.6 × E_r × V_o²

速度圧 (N/m²) 平均風速の高さ方向の分布を表す係数 地域における基準風速 (m/s)

地域における基準風速について

V_o → 法令により地域ごとの数値が定まる (告示1454号)

※地域ごとの基準風速は後半ページに一覧表を掲載しています。

平均風速の高さ方向の分布を表す係数の算出方法

地表面粗度区分	Z _b (m)	Z _G (m)	α
I	5	250	0.10
II	5	350	0.15
III	5	450	0.20
IV	10	550	0.27

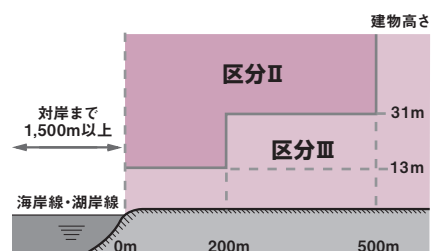
※Z_b、Z_G、αは左表に掲載した数値。地表面粗度区分により決まります。
※地表面粗度区分がIVの場合、IIIの数値を用いて算出。(告示1458号1の1)

- 建築基準法20条で規定される「構造耐力」 ●建築基準法施行令第82条の5で規定される「屋根ふき材等の構造計算」
 - 建築基準法施行令第87条で規定される「風圧力」 ●上記の法令を受けて、建設省告示1454号及び1458号で規定される計算方法で風圧力を算定
- ※ヘリコプター気流の影響など、外的要因による強風が想定される耐風圧設計についてはご相談ください。

地表面粗度区分について

上記計算式中で使用する数値の多くは、「地表面粗度区分」によって定まります。建設地の地形や周辺環境によって建物に吹く風の影響を考慮し、地域を区分化したものが「地表面粗度区分」です。

地表面粗度区分	
I	極めて平坦で障害物がないものとして特定行政庁が規則で定める区域
II	地表面粗度区分I若しくはIVの区域以外の区域のうち、海岸線若しくは湖岸線(対岸までの距離が1500メートル以上のものに限る。以下同じ。)までの距離が500メートル以内の地域(建築物の高さが13メートル以下である場合又は当該海岸線若しくは湖岸線からの距離が200メートルを超え、かつ、建築物の高さが31メートル以下である場合を除く。)又は当該地域以外の地域のうち、極めて平坦で障害物が散在しているものとして特定行政庁が規則で定める区域
III	地表面粗度区分I、II又はIVの区域以外の区域
IV	都市化が極めて著しいものとして特定行政庁が規則で定める区域



※建設地の地表面粗度区分については、特定行政庁に確認してください

シート固定力の考え方・基準について

■IHディスクの固定強度～最も厳しい数値をもとに算定～

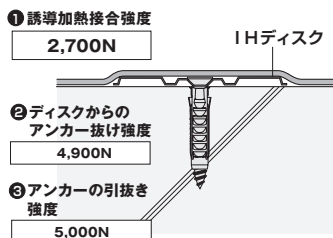
RC下地の場合

リベットルーフ防水アンカー固定工法は、風圧力に耐える強度設計を行い、IHディスクの固定強度を計算します。①②③の最も低い強度をIHディスク部の固定強度としています。

※アンカーの引抜き強度は、コンクリート下地にAY樹脂アンカーを使用した場合の試験値です。

※実現場での引抜き強度試験が必要です。

※2,700N/箇所を下まわる場合は、その値をIHディスク部の固定強度とし再検討する必要があります。



LCS工法の場合

LCS工法（アンカー固定工法）では、①②③のうち、最も低い強度をIH断熱ディスク部の固定強度としています。

①誘導加熱接合強度

2,700N

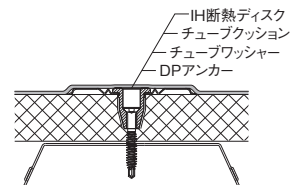
②IH断熱ディスクからのチューブワッシャー嵌合時の抜け強度

4,400N

※チューブワッシャーからのDPアンカーの抜け強度は5,100N/箇所

③DPアンカーの引抜き強度

デッキプレート厚さ $t=1.0$ の場合 2,900N
デッキプレート厚さ $t=1.2$ の場合 3,200N



※実現場での引抜き強度試験が必要です。
※2,700N/箇所を下まわる場合は、その値をIH断熱ディスク部の固定強度とし再検討する必要があります。

■シート全体の固定力 ～建物高さ・基準風速・粗度区分・建物の下地による仕様設定～

固定力の検証では、風圧力の計算で用いる「建物高さ」「基準風速」「粗度区分」「建物の下地」の種類が重要です。そこで、これらをもとに防水仕様ごとに「標準仕様」「強風仕様」「超高層仕様」のシート固定における仕様を設定しています。

- ① 建物の下地
- ② 粗度区分
- ③ 建物高さ
- ④ 基準風速

標準仕様

強風仕様

超高層仕様

① 建物の下地

建物の下地に応じて適切なシート固定工法を設定しています。

RC下地
アンカー固定工法/アンカー固定断熱工法 (非歩行仕様・歩行仕様)

ALC下地
アンカー固定工法

金属下地
LCS工法 LCS-R工法

② 粗度区分

地表面粗度区分Ⅰ
地表面粗度区分Ⅱ
地表面粗度区分Ⅲ
地表面粗度区分Ⅳ

法令に基づく分類によってカテゴリーを4つに区分しています。

③ 建物高さ

45m < H
38m < H ≤ 45m
28m < H ≤ 38m
20m < H ≤ 28m
H ≤ 20m

勾配屋根やポルト状の屋根の場合は、建物の高さと軒の高さの平均値を建物高さとし、5つのカテゴリーに区分しています。

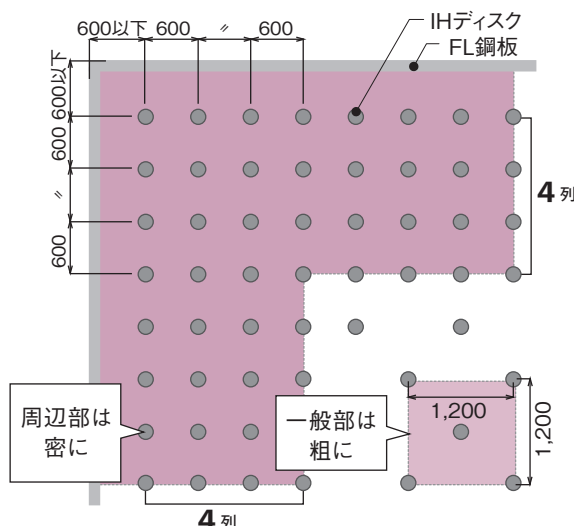
④ 基準風速

32m/s以下
34m/s
36m/s
38m/s
40m/s以上

建築基準法に準拠し基準風速を5つのカテゴリーに区分しています。

■ディスク割付例

(RC下地、非断熱仕様)	
標準仕様	
工法	アンカー固定工法
システム記号	MIH-SGM15
使用シート	リベットルーフSGM
屋根の短辺長さが 18m 未満の場合、 周辺部ディスクが密の列数は 4列 になります。	
【建築物モデル】 地表面粗度区分:Ⅲ 基準風速:34m/s 屋根形状:陸屋根 ($\theta < 10^\circ$) 下地:RC 高さ:16m (屋根面) 短辺:13.5m 長辺:26.5m	



※屋根面の短辺長さによっては、周辺部でディスクが密の列数が異なります。

耐風圧仕様〔適応シート・ディスク割付例〕

RC_{下地} 非断熱仕様・アンカー固定工法

粗度区分Ⅲ

基準風速 建物高さ	32m/s以下	34m/s	36m/s	38m/s	40m/s以上
45m<H	超高層仕様 (詳細はお問い合わせください)				個別対応 (詳細はお問い合わせください)
38m<H≤45m	強風仕様				
28m<H≤38m	標準仕様				
20m<H≤28m	標準仕様				
H≤20m	標準仕様				

粗度区分Ⅱ

基準風速 建物高さ	32m/s以下	34m/s	36m/s	38m/s	40m/s以上
45m<H	超高層仕様 (詳細はお問い合わせください)				個別対応 (詳細はお問い合わせください)
38m<H≤45m	強風仕様				
28m<H≤38m	強風仕様				
20m<H≤28m	強風仕様				
H≤20m	強風仕様				

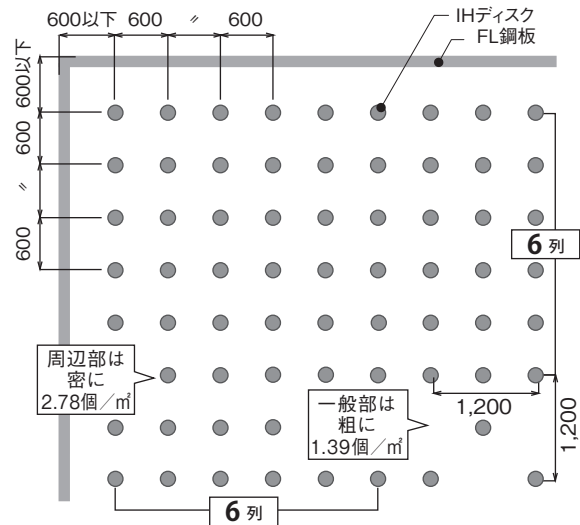
標準仕様 適応シート・ディスク割付例



- ・SGM (1.5mm/2.0mm)
- ・SW (1.5mm/2.0mm)
- ・COOL (1.5mm/2.0mm)
- ・HP (1.5mm/2.0mm)

屋根の短辺長さが**18m**以上の場合、
周辺部ディスクが密の列数は**6**列になります。

上記は陸屋根(θ<10°)、屋根短辺長さが18m以上の場合。
屋根形状や屋根短辺長さが異なる場合は、ディスク配置が
変わる場合があります。



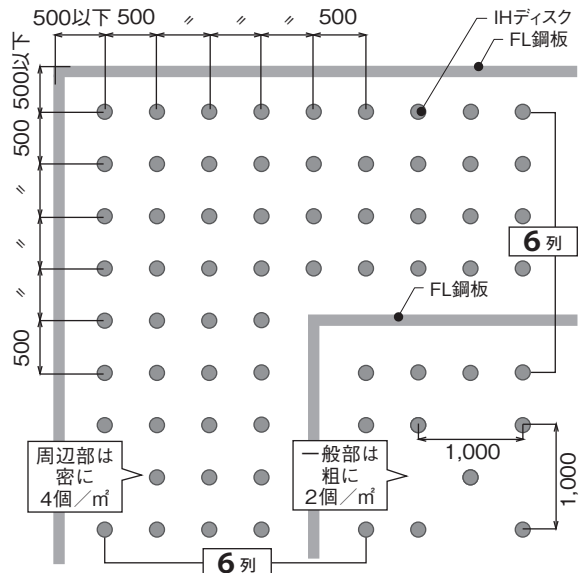
強風仕様 適応シート・ディスク割付例



- ・SW (1.5mm/2.0mm)
- ・COOL (1.5mm/2.0mm)
- ・HP (1.5mm/2.0mm)

屋根の短辺長さにかかわらず、周辺部ディスクが
密の列数は**6**列(FL鋼板を含む)になります。

上記は陸屋根(θ<10°)の場合。屋根形状が異なる場合は、
ディスク配置が変わる場合があります。



RC_{下地} 断熱仕様・アンカー固定工法 (非歩行)

粗度区分Ⅲ

基準風速 建物高さ	32m/s以下	34m/s	36m/s	38m/s	40m/s 以上
45m<H	超高層仕様 (詳細はお問い合わせください)				個別対応 (詳細はお問い合わせください)
38m<H≤45m	標準仕様				
28m<H≤38m					
20m<H≤28m					
H≤20m					

粗度区分Ⅱ

基準風速 建物高さ	32m/s以下	34m/s	36m/s	38m/s	40m/s 以上
45m<H	超高層仕様 (詳細はお問い合わせください)				個別対応 (詳細はお問い合わせください)
38m<H≤45m	強風仕様				
28m<H≤38m	標準仕様				
20m<H≤28m					
H≤20m					

標準仕様 適応シート・ディスク割付例

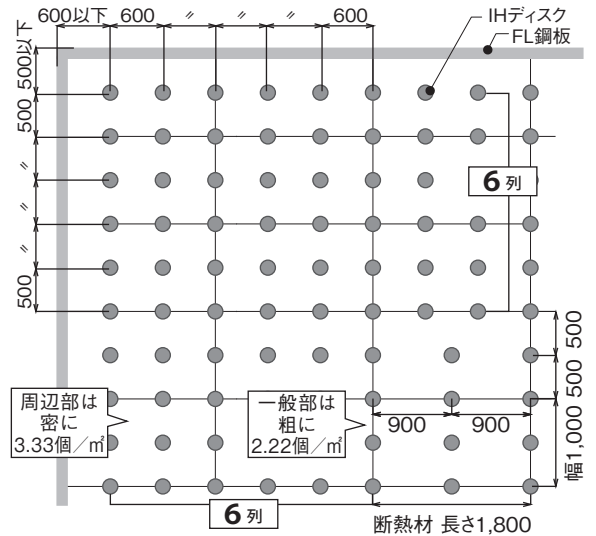


- ・SGM (1.5mm/2.0mm) ・SW (1.5mm/2.0mm)
- ・COOL (1.5mm/2.0mm) ・HP (1.5mm/2.0mm)



- ・FLボードNU ・FLボードS

上記は陸屋根 ($\theta < 10^\circ$) の場合です。屋根形状や屋根短辺長さ、断熱材の種類やサイズなどが異なる場合は、ディスク配置が変わる場合があります。



強風仕様 適応シート・ディスク割付例

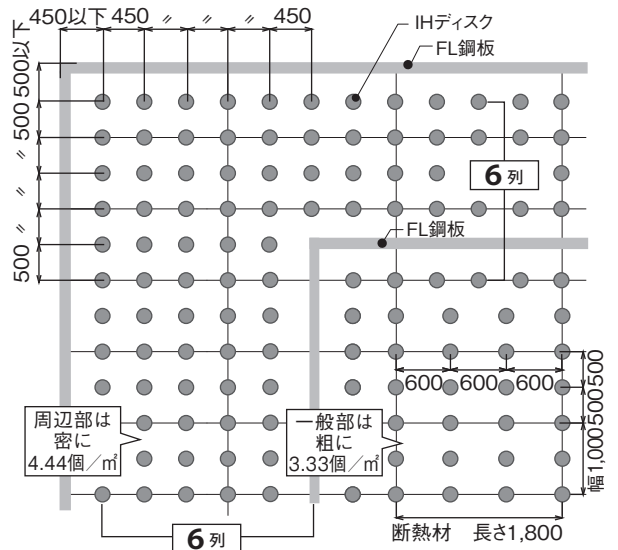


- ・SW (1.5mm/2.0mm)
- ・COOL (1.5mm/2.0mm) ・HP (1.5mm/2.0mm)



- ・FLボードNU ・FLボードS

上記は陸屋根 ($\theta < 10^\circ$) の場合です。屋根形状や屋根短辺長さ、断熱材の種類やサイズなどが異なる場合は、ディスク配置が変わる場合があります。



RC以外の下地や、異なる歩行用途における耐風圧仕様などについては、別途ご用意しております耐風圧ガイドブックをご参照ください。

金属_{下地} 断熱仕様・LCS工法 / LCS接着工法

粗度区分Ⅲ

基準風速 建物高さ	32m/s以下	34m/s	36m/s	38m/s	40m/s 以上
45m<H	超高層仕様 (詳細はお問い合わせください)				
38m<H≤45m	強風仕様 ^{※1}				
28m<H≤38m	標準仕様				
20m<H≤28m	標準仕様				
H≤20m	標準仕様				

18m以下

個別対応
(ご対応ください)

粗度区分Ⅱ

基準風速 建物高さ	32m/s以下	34m/s	36m/s	38m/s	40m/s 以上
45m<H	超高層仕様 (詳細はお問い合わせください)				
38m<H≤45m	強風仕様 ^{※1}				
28m<H≤38m	強風仕様 ^{※1}				
20m<H≤28m	強風仕様 ^{※1}				
H≤20m	強風仕様 ^{※1}				

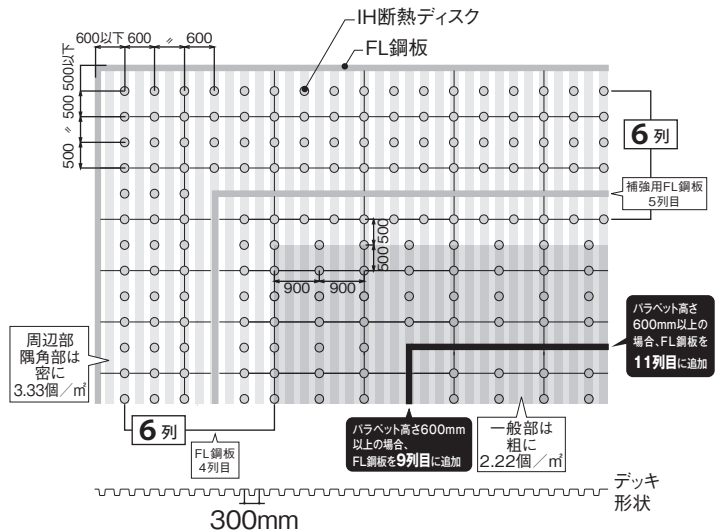
個別対応
(詳細はお問い合わせください)

※1 FLボードMSを使用した接着工法
※固定ピッチについては、お問い合わせください。

標準仕様 適応シート・ディスク割付例

- 適応シート**
- ・SW (1.5mm/2.0mm)
 - ・COOL (1.5mm/2.0mm)
 - ・HP (1.5mm/2.0mm)
- 断熱材**
- ・FLボードNU
 - ・FLボードS

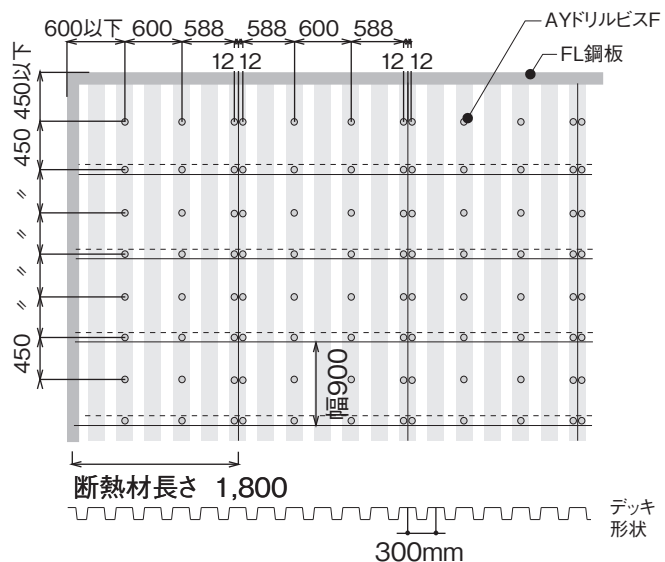
上記は陸屋根 ($\theta < 10^\circ$) の場合です。屋根形状や屋根短辺長さ、断熱材の種類やサイズなどが異なる場合は、ディスク配置が変わる場合があります。



強風仕様1 適応シート・取り付けビス割付例

- 適応シート**
- ・SGM (1.5mm/2.0mm)
 - ・COOL (1.5mm/2.0mm)
 - ・HP (1.5mm/2.0mm)
- 断熱材**
- ・FLボードMS

上記は陸屋根 ($\theta < 10^\circ$) の場合です。屋根形状や屋根短辺長さ、断熱材の種類やサイズなどが異なる場合は、ビスの固定ピッチが変わる場合があります。



強風仕様2 適応シート・取り付けビス割付例

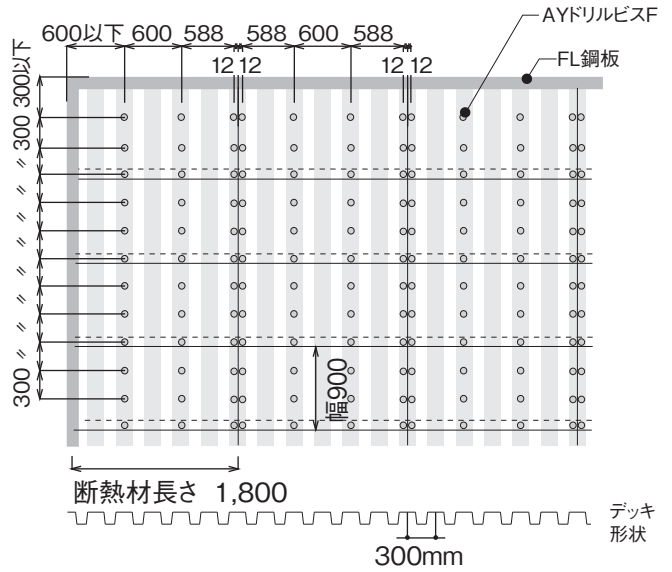


- SGM (1.5mm/2.0mm)
- COOL (1.5mm/2.0mm)
- HP (1.5mm/2.0mm)



- FLボードMS

上記は陸屋根 ($\theta < 10^\circ$) の場合です。屋根形状や屋根短辺長さ、断熱材の種類やサイズなどが異なる場合は、ビスの固定ピッチが変わる場合があります。



耐火

防火に関連する法・令・告示

【告示1365号】

- 第1 建築基準法施行令第136号の2の2各号に掲げる技術的基準に適合する屋根の構造方法は、次に定めるものとする。
- 一 不燃材料で造るか、又はふくこと。
 - 二 屋根を準耐火構造（屋外に面する部分を準不燃材料で造ったものに限る。）とすること。
 - 三 屋根を耐火構造（屋外に面する部分を準不燃材料で造ったもので、かつ、その勾配が水平面から30°以内のものに限る。）の屋外面に断熱材（ポリエチレンフォーム、ポリスチレンフォーム、硬質ポリウレタンフォームその他これらに類する材料を用いたもので、その厚さの合計が50mm以下のものに限る。）及び防水材（アスファルト防水工法、改質アスファルトシート防水工法、塩化ビニル樹脂系シート防水工法、ゴム系シート防水工法、又は塗膜防水工法を用いたものに限る。）を張ったものとする。
- 第2 令第136条の2の2第一号に掲げる技術的基準に適合する屋根の構造方法は、第1に定めるもののほか、難燃材料で造るか、又はふくこととする。



防水層：アスファルト防水工法、改質アスファルトシート防水工法、**塩化ビニル樹脂系シート防水工法「リベットルーフ」**、ゴム系シート防水工法、又は塗膜防水工法

断熱材：ポリエチレンフォーム、ポリスチレンフォーム、硬質ポリウレタンフォームその他これらに類する材料を用いたもので、その厚さの合計が**50mm以下**のものに限る。

耐火構造：施行令107条の技術的基準に適合し大臣の認定をうけた構造方法または、告示1399号の大臣が定めた構造方法。

（施行令107条の基準・・・屋根に求められる30分間の耐火性能：非損傷性・遮炎性）

- ・ 通常の火災による火熱が30分間加えられた場合に、構造耐力上支障のある変形、溶融、破壊その他の損傷を生じないもの。
- ・ 通常の火災による火熱が30分間加えられた場合に、屋外に火災を出す原因となるき裂その他の損傷を生じないもの。

（告示1399号第5条・・・屋根の耐火構造における技術的基準）

RC、PC、PCa、ALCパネル下地など

- ・ 鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・ 鉄材によって補強されたコンクリートブロック造、れんが造または石造
- ・ 鉄網コンクリートもしくは鉄網モルタルでふいたものまたは鉄網コンクリート、鉄網モルタル、鉄材で補強されたガラスブロックもしくは網入りガラスで造られたもの
- ・ 鉄筋コンクリート製パネルで厚さ4cm以上のもの
- ・ 軽量気泡コンクリートパネル
- ・ 下地を木材または鉄材で造り、かつ、その屋内側の部分または直下の天井に防火被覆（強化せつこうボードを2枚以上張ったもので、その厚さの合計が27mm以上のものに限る）が設けられたもの

屋根勾配30°以下



上記の条件に適合しない場合、防水システムについて個別の飛び火認定番号を取得する必要が生じます。

個別の飛び火認定取得状況（表中記載の数値などは各飛び火認定の内容です）

○コンクリート下地の飛び火認定番号

対応下地	RC・PC・PCa						
下地の詳細	厚さ50mm以上（飛び火認定上の数値です。別途アンカー穿孔上必要な厚さを確認してください。）						
工法種別	非歩行・アンカー固定断熱工法		歩行・アンカー固定断熱工法		歩行・接着断熱工法		非歩行・接着断熱工法
仕様記号	MIH-SGM15NU	MIH-SGM15S	MIH-SGM20SV	MIH-SGM20NUV	F-SGM20SV	F-SGM20NUV	F-SGM15/20GF
	MIH-SW15NU	MIH-SW15S	MIH-SW20SV	MIH-SW20NUV	F-COOL20SV	F-COOL20NUV	F-COOL15/20GF
	MIH-COOL15NU	MIH-COOL15S	MIH-COOL20SV	MIH-COOL20NUV	F-HP20SV	F-HP20NUV	F-HP15/20GF
	MIH-HP15/20NU	MIH-HP15/20S	MIH-HP20SV	MIH-HP20NUV			
飛び火認定番号	DR-1949(3)	DR-1819-1	DR-1964(2)	DR-1968(2)	DR-1964(2)	DR-1968(2)	DR-1918
対応するリベットルーフ	SGM/SW/COOL/HP	SGM/SW/COOL/HP	SGM/SW/COOL/HP	SGM/SW/COOL/HP	SGM/COOL/HP	SGM/COOL/HP	SGM/COOL/HP
リベットルーフの厚さ	1.5または2.0	1.5または2.0	1.5または2.0	1.5または2.0	1.5または2.0	1.5または2.0	1.5または2.0
補強材その他	-	絶縁シートGP必要	AYパネルV	AYパネルV	AYパネルV	AYパネルV	-
断熱材の種類	FLボードNU	FLボードS	ポリスチレンフォーム3種	FLボードNU	ポリスチレンフォーム3種	FLボードNU	アキレスボードGF
断熱材の厚み	25~150mm	25~150mm	25~150mm	25~150mm	25~150mm	25~150mm	50~150mm(3枚重ね以下)
コリドール追加	-	-	対応可	対応可	対応可	対応可	-

耐火

○金属下地の飛び火認定番号

対応下地	金属下地			
下地の詳細	デッキプレート (厚さ0.8mm以上/高さ25mm以上/ 断面係数9.75cm ² /m以上)	フラットデッキプレート (厚さ0.8mm以上/高さ25mm以上/ 断面係数6.17cm ² /m以上)	デッキプレート (厚さ0.8mm以上/高さ25mm以上/ 断面係数9.75cm ² /m以上)	フラットデッキプレート (厚さ0.8mm以上/高さ25mm以上/ 断面係数6.17cm ² /m以上)
下地の注意点	下地となるデッキプレートの材質詳細についてはお問い合わせください。 また、上記は飛び火認定上の数値です。別途、防水システムにおける適否をご確認ください。			
工法種別	LCS工法(アンカー固定断熱工法)		LCS接着工法(MS仕様)	
仕様記号	MIHFD-SW15NU MIHFD-COOL15NU MIHFD-HP15NU		FFD-SGM15MS FFD-COOL15MS FFD-HP15MS	
飛び火認定番号	DR-1884-1		DR-1623-1	
対応するリペトルーフ	SW/COOL/HP		SGM/COOL/HP	
リペトルーフの厚さ	1.5または2.0		1.5または2.0	
断熱材の種類	飛び火認定上のシート厚です。			
断熱材の厚み	FLボードNU 25~150mm		FLボードMS 25~150mm	
コリドール追加	飛び火認定上の数値です。別途アンカー選定表をご確認ください。			

○木・ボード下地の飛び火認定番号

対応下地	木・ボード下地				
下地の詳細	普通合板(厚さ12mm以上)、構造用合板(厚さ12mm以上)、硬質木毛セメント板(厚さ15mm以上)、硬質木片セメント板(厚さ12mm以上)、普通木毛セメント板(厚さ15mm以上)、普通木片セメント板(厚さ30mm以上)など※ 支持材(木製)30×30mm以上、間隔:1000mm以下(鋼製)□:60×30×10×1.6mm以上、□:13×13×1.6mm以上、間隔:1000mm以下				
下地の注意点	上記の下地材質の適否は飛び火認定番号により異なります。詳細についてはお問い合わせください。 また、上記は飛び火認定上の数値です。別途、防水システムにおける適否をご確認ください。				
工法種別	非歩行/歩行・アンカー固定工法	非歩行・アンカー固定断熱工法		歩行・アンカー固定断熱工法	
仕様記号	MIHW-SGM15/20 MIHW-SW15/20 MIHW-COOL15/20 MIHW-HP15/20	MIHW-SGM15/20S MIHW-SW15/20S MIHW-COOL15/20S MIHW-HP15/20S	MIHW-SGM15/20NU MIHW-SW15/20NU MIHW-COOL15/20NU MIHW-HP15/20NU	MIHW-SGM20SV MIHW-SW20SV MIHW-COOL20SV MIHW-HP20SV	MIHW-SGM20NUV MIHW-SW20NUV MIHW-COOL20NUV MIHW-HP20NUV
飛び火認定番号	DR-1934(2)	DR-0243-1 絶縁シートGP必要	DR-1949(1)	DR-1964(1)	DR-1968(1)
対応するリペトルーフ	SGM/SW/COOL/HP	SGM/SW/COOL/HP	SGM/SW/COOL/HP	SGM/SW/COOL/HP	SGM/SW/COOL/HP
リペトルーフの厚さ	1.5または2.0	1.5または2.0	1.5または2.0	1.5または2.0	1.5または2.0
補強材その他	-	絶縁シートGP必要	-	AYパネルV	AYパネルV
断熱材の種類	-	FLボードS 20~150mm	FLボードNU 20~150mm	ポリスチレンフォーム3種 25~150mm	FLボードNU 25~150mm
断熱材の厚み	-	飛び火認定上の数値です。別途アンカー選定表をご確認ください。			
コリドール追加	対応可(DR-1934(1))	-	-	対応可	対応可

対応下地	木・ボード下地		
下地の詳細	普通合板(厚さ12mm以上)、構造用合板(厚さ12mm以上)、硬質木毛セメント板(厚さ15mm以上)、硬質木片セメント板(厚さ12mm以上)、普通木毛セメント板(厚さ15mm以上)、普通木片セメント板(厚さ30mm以上)など※ 支持材(木製)30×30mm以上、間隔:1000mm以下(鋼製)□:60×30×10×1.6mm以上、□:13×13×1.6mm以上、間隔:1000mm以下		
下地の注意点	上記の下地材質の適否は飛び火認定番号により異なります。詳細についてはお問い合わせください。 また、上記は飛び火認定上の数値です。別途、防水システムにおける適否をご確認ください。		
工法種別	非歩行/歩行・接着工法	歩行/接着断熱工法	
仕様記号	FW-SGM15/20 FW-COOL15/20 FW-HP15/20	FW-SGM20SV FW-COOL20SV FW-HP20SV	FW-SGM20NUV FW-COOL20NUV FW-HP20NUV
飛び火認定番号	DR-1934(2)	DR-1964(1)	DR-1968(1)
対応するリペトルーフ	SGM/COOL/HP	SGM/COOL/HP	SGM/COOL/HP
リペトルーフの厚さ	1.5または2.0	1.5または2.0	1.5または2.0
補強材その他	-	AYパネルV	AYパネルV
断熱材の種類	-	ポリスチレンフォーム3種 25~150mm	FLボードNU 25~150mm
断熱材の厚み	-	飛び火認定上の数値です。別途アンカー選定表をご確認ください。	
コリドール追加	対応可(DR-1934(1))	対応可	対応可

●飛び火認定の要、不要については、当該地域の建築主事にお問い合わせください。●上記表の下地条件等については、抜粋している部分もあるため、詳細は認定書をご確認ください。●上記数値は、認定取得のための最低数値であり、実際の建物の構造や施工条件によって変わります。●表面材を用いた場合に使用する飛び火認定書についてはお問い合わせください。●記載内容は飛び火認定書上の内容です。各防水システムとの適否詳細はお問い合わせください。●野地板の種類、厚さについての詳細はお問い合わせください。●表記の厚さは、飛び火認定書上の数値です。弊社のビス規格(対応できる取付け物厚など)、使用可能な断熱材の厚さをご確認ください。

アンカー固定工法



1 絶縁シートの敷き込み（新築工事では省略可）



2 FL鋼板の取付け



3 IHディスクの仮置き



4 IHディスクの固定
（原則的にはその日のうちにリベットルーフを敷設できる範囲にすること）



5 リベットルーフの敷設



6 FL鋼板とリベットルーフの溶着接合



7 リベットルーフ相互の溶融着接合



8 リベットルーフとIHディスクの誘導加熱接合



9 完成

接着工法



1 リベットルーフの墨出し



2 下地面への接着剤塗布



3 リベットルーフ裏面への墨出し



4 リベットルーフ裏面への接着剤の塗布



5 リベットルーフの貼り込み



6 リベットルーフ相互の溶融着接合



7 リベットルーフ接合端部のシール処理



8 完成

LCS工法



1 断熱材の敷設、断熱材目地部にAYボードテープ貼付け



2 FL鋼板の取付け



3 IH断熱ディスクの固定



4 固定後チューブクッションを挿入する
(原則的にはその日のうちにリベットルーフを敷設できる範囲にすること)



5 リベットルーフの敷設



6 FL鋼板とリベットルーフの溶着接合



7 FL鋼板とリベットルーフの溶着接合



8 リベットルーフ相互の熔融着接合

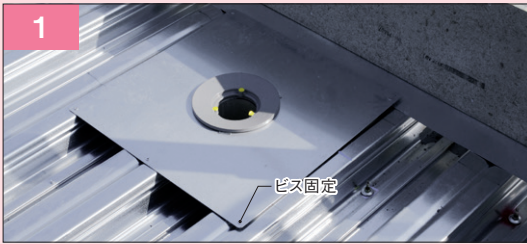


9 IHディスクの誘導加熱接合



10 完成

●LCSドレンの設置(縦型の場合)



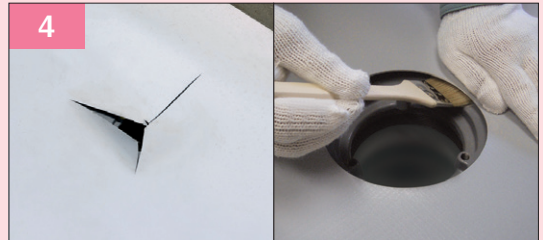
ドレン本体を設置



周辺断熱材の加工



周辺断熱材の勾配調整し、ALジョイントテープ処理する



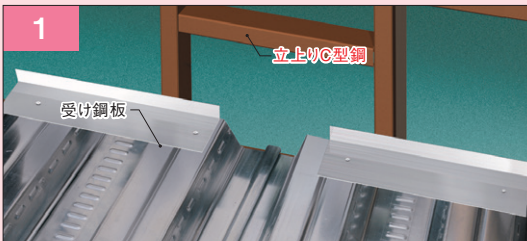
リベットルーフを敷設して、LCSドレンと接合する。



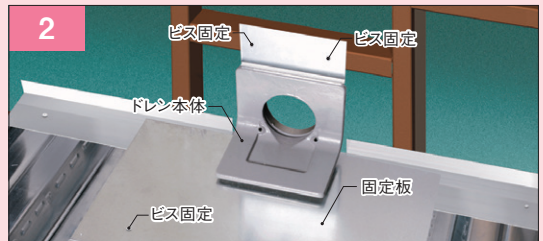
完成

※LCSドレン設置位置に母屋補強されている事をご確認ください。

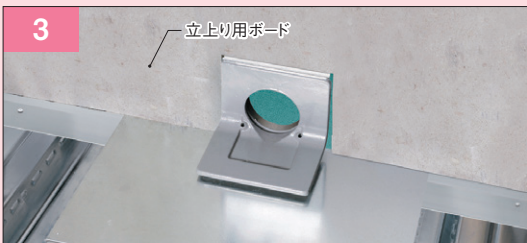
●LCSドレンの設置(横型の場合)



受け鋼板および立上りC型鋼の設置



ドレン本体を設置(固定板一体型)



立上り用ボードの設置



断熱材の設置



LCSドレンとリベットルーフの接合



完成

IH誘導加熱接合

●IH誘導加熱装置 (EM-6)



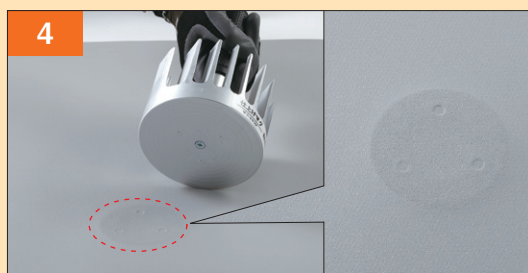
1 IHディスク上にIHジョインターをセットして、位置検知センサーが全点灯した事を確認する。



2 両手で加熱スイッチを押して加熱する。(接合に最適な温度になると、機械が自動停止します)



3 加熱後すぐに、仕上げマグを置いて初期放熱します。この間に、次のIHディスクを加熱しておきます



4 仕上げ工程が完了したら、○型の刻印がつきます。
※IHシリコンパッドを用いた場合は刻印は付きません。この場合は、IHディスクの輪郭が見えるかどうかで判断します。

●IH誘導加熱装置 (EM-5)



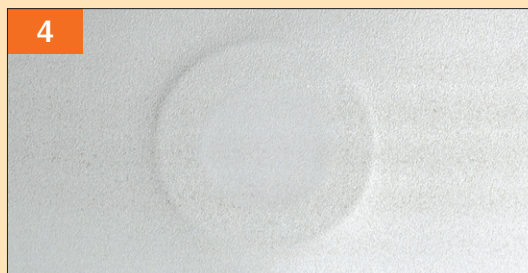
1 IHディスクの位置を確認



2 加熱ホルダーをセットし、加熱ボタンを押して加熱



3 加熱後すぐIHシリコンパッドで圧着



4 接合完了 (目視確認)

リベットルーフ
防水工事
保証書

リベットルーフ防水工事保証書

No. _____

_____ 殿 令和 年 月 日

工事名称 _____

施工箇所・面積 _____

防水仕様 _____

所在地 _____

保証期間 令和 年 月 日 から 年間

上記のリベットルーフ防水工事について、保証期間内に防水工事上の契約不適合に起因する漏水事故が生じた場合は、防水層に限り補修致します。但し、本書に記載した「保証の対象外となる事項」に該当、及び「維持管理のお願い」が履行されていない場合は保証の対象外となります。

元請業者 _____

防水施工業者 [責任範囲: 防水工事の施工] _____

防水材料製造業者 [責任範囲: 標準防水仕様及び防水材料の品質] _____

大阪府吹田市江の木町24番10号
アーキヤマデ株式会社 代表取締役 山出 敬太郎

保証の対象外となる事項

以下の項目に依り発生した防水層の不具合、及び防水機能が保たれている場合は本保証書による保証の対象外となります。保証の対象外となる事例（但し、これらの事例に保証の対象外となる事項が限定されるものではありません。）

【防水材料】

・リベットルーフ及びアクセスコート標準防水材料以外の使用

【天災】

・地震、台風、噴火、津波、落雷、雹（ひょう）による防水層の損傷
・異常気象による防水層の不具合

【突発的な原因】

・偶発的な飛来物及び落下物による防水層の損傷
・事故、火災、その他人為的な破壊行為による防水層の損傷

【間接的な原因】

・防水下地（RC、ALCパネル、デッキプレート、折板等）のひび割れ、動き、振動、取付不良による防水層の損傷

【異常な外力】

・建築基準法に定められた基準を上回る、強風による防水層の損傷
・防水層上への重量物の設置による防水層の損傷（仮置きを含む）
・建物内部からの空気圧による防水層の損傷
・異常な集光による防水層の不具合

【維持管理の不備】

・本書記載の「維持管理のお願い」が遵守されなかったことに起因する防水層の損傷
・排水口（排水溝）の目詰まりによる雨水のあふれ出し
・換気口から飛散した油、化学物質の付着による防水層の損傷
・保護材が無い仕様における多人数による歩行、頻繁な歩行による防水層の損傷
・器物による防水層の損傷
・動物、昆虫、植物による防水層の損傷
・つらの落下、雪下ろし時の防水層の損傷
・カビ、苔の発生による防水層の損傷

【防水機能が保たれているもの】

・防水層に発生したふくれ及びしわ
・経年による防水層の変退色、汚れ
・下地勾配の不備及びシート接合部の段差による防水層上の水溜まり

【その他】

・建物の管理者が防水層の定期点検時に、異常現象に気がつきながら放置した場合
・本保証書の対象防水層を、本保証書の発行者以外の者が、発行者に無断で補修した場合
・非歩行仕様での歩行用途や引き渡し後の工事（設備、緑化、太陽光など）による防水層の不具合
・防水層末端部のシーリング材の劣化に起因する不具合
・施工時の技術水準では予測できない原因による不具合
・建築の構造上、設計上の欠陥に起因する場合

*本保証書の保証範囲は防水シートに発生した不具合の復旧に限定され、記載の無い事項は施主と元請業者との工事請負契約書に依るものとします。

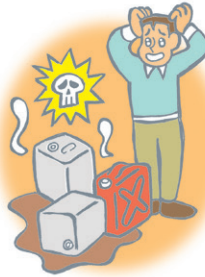
維持管理事項

リベトルーフ防水の機能を長期にわたり維持するためには、使用上のご注意を守って頂くことが必要不可欠です。建物の管理者は次の項目に従ってリベトルーフ防水の維持管理を実施してください。

- 排水溝や排水口まわりを定期的に清掃し、土や落ち葉などのゴミを取り除いてください。



- 防水層の上で、油・酸などの薬品、ガソリン、塗料、溶剤等をこぼすと、防水層を変色・膨潤させることがあるので、これらを用いた作業を行わないでください。



- 次の事項を参考に、防水層を定期的に点検してください。梅雨前、降雪の前後、台風の通過後等には必ず点検を実施してください。

- ・防水シートの末端部のシール材にはく離やひび割れが生じていないか。
- ・防水シートを張り付けたパイプや手すりがかびていないか。
- ・防水シートに傷がついていないか。
- ・防水シートに異常な現象が発生していないか。

- 防水層の上で、重量物を引きずったり、鋭利なものなど損傷を与えるものを落とさないでください。

- 清掃や雪下ろしをする際に、鋭利な道具を使用しないでください。



- 点検時等に異常を発見した場合、及び漏水が発生した場合は、ただちに元請業者へご連絡ください。異常の発生を連絡せず放置した場合は、本保証書による保証の対象外となりますのでご注意ください。



- 洗剤で洗浄する際は、中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジ等を用いて汚れとともに洗剤成分を十分に洗い流してください。

- リベトルーフ露出仕様の場合、防水層の点検や設備のメンテナンスなどで歩行する際は、特定少数の人に限定してください。また、歩行の際には静かに歩き、防水層を傷付けないようご注意ください。

- 増改築や引き渡し後の工事（設備、緑化、太陽光など）をされる際は元請業者にご連絡ください。

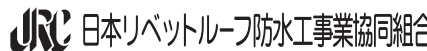


- AXトップ、AXトップCOOL、AXトップ水性を使用している場合、保証開始から5年程度でトップコート塗り替えを推奨致します。

※トップコートの塗り替えは有償となります。

※海岸地域や工業地帯など環境条件の厳しい場所では塗り替えが必要となる時期が早まる場合があります。

- 防水層の上でタバコのみ消し、花火等の火気の使用は、防水層が焦げたり、溶けたりする恐れがあります。本保証書の対象外となりますので、ご注意ください。



アークヤマデ株式会社 本社 / 大阪府吹田市江の木町24-10
東京支店 / 東京都墨田区堤通1-19-9 (リバーサイド隅田・セントラルタワー)

仙台営業所	〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡5-1-35(三共仙台東ビル)	TEL.022-291-0877 FAX.022-297-4009
埼玉営業所	〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-263(Y.S.Tビル)	TEL.048-641-4720 FAX.048-641-4721
東京営業所	〒131-0034 東京都墨田区堤通1-19-9(リバーサイド隅田・セントラルタワー)	TEL.03-6657-1511 FAX.03-6657-0317
千葉営業所	〒131-0034 東京都墨田区堤通1-19-9(リバーサイド隅田・セントラルタワー)	TEL.03-6657-1512 FAX.03-6657-0317
横浜営業所	〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町6-84-2(大樹生命横浜桜木町ビル)	TEL.045-661-3563 FAX.045-661-3562
名古屋営業所	〒465-0025 愛知県名古屋市中区上社5-103	TEL.052-715-6320 FAX.052-715-6323
大阪営業所	〒564-0053 大阪府吹田市江の木町24-10	TEL.06-6385-1261 FAX.06-6337-0192
神戸営業所	〒564-0053 大阪府吹田市江の木町24-10	TEL.06-6385-2789 FAX.06-6338-6110
広島営業所	〒733-0035 広島県広島市西区南観音8-6-8	TEL.082-503-5153 FAX.082-233-0183
福岡営業所	〒812-0004 福岡県福岡市博多区榎田2-1-12	TEL.092-472-9611 FAX.092-472-9717

設計お問い合わせ窓口	設計推進本部 東日本設計推進課 TEL.03-6657-1563 FAX.03-6657-0429
	設計推進本部 西日本設計推進課 TEL.06-6385-8545 FAX.06-6337-0192

【ホームページ】 https://www.a-yamade.co.jp	【お問い合わせメールアドレス】 customer@a-yamade.co.jp
--	--



アークヤマデは、Fun to Shareに賛同しています。



エコアクション21
認証番号 0000999

この印刷物は、再生紙及び、環境保全のためアロマフリー型植物油インキを使用しています。



弊社は40年の実績を誇るシート防水材料の優良メーカーの団体である当工業会の加盟会社です

本カタログ掲載内容は2024年6月時点での情報に基づきます。各製品の仕様・規格、法令などの内容が変更される場合があります。本カタログの内容の一部あるいは全部を無断で転載、複写複製(方法のいかんにかかわらず)することを禁じます。



本カタログ掲載の製品写真は、印刷物のため実際の色とは多少異なっています。

No.1228 2024.6 20000S